

第九部
年
表

年表

縄文時代

石郷遺跡・七社遺跡・前原遺跡（以上吉野町）、南洲神社遺跡（上竜尾町）、丸岡遺跡（坂元町）、大竜小学校遺跡・若宮神社遺跡・福昌寺遺跡（以上池之上町）、春日町遺跡（春日町）
木方暮遺跡（田上町）、塔之原遺跡・三重野遺跡（以上五力別府町）、須々原遺跡・平川遺跡（以上平川町）、草野貝塚・光山貝塚（以上下福元町）

弥生時代

石郷遺跡・雀方宮遺跡（以上吉野町）、大竜遺跡（上竜尾町）
玉里遺跡（玉里町）、一ノ宮住居址（郡元町）、県立医大住居址（鴨池町）、唐湊遺跡（田上町）、甲突川川底遺跡（永吉町）、笹貫遺跡（宇宿町）、高見遺跡・堂園遺跡・薬師堂遺跡・不動寺遺跡・北麓遺跡（以上上福元町）、慈眼寺遺跡、坂之上東前遺跡（以上下福元町）、和田玉林遺跡（和田町）

欽明天皇元年（五四〇）三月隼人は衆を率いて上京する

推古天皇四年（六一六）三月・五月・七月の各月に掖玖人上京する

舒明天皇元年（六二九）四月朝廷は田部連を掖玖に遣わす

舒明天皇二年（六三〇）九月田部連等は掖玖より帰京する

舒明天皇三年（六三一）一〇月掖玖人が上京する

天武天皇一年（六八二）七月三日隼人多く上京して方物を貢する、この日大隅隼人と阿多隼人とは朝廷で天覽相撲を行い、大隅隼人がこれに勝つ

天武天皇一四年（六八五）六月二〇日大隅直等に姓を賜い、忌寸となす

持統天皇元年（六八七）七月九日隼人大隅阿多魁帥等三三七人を賞す

持統天皇三年（六八九）一月九日筑紫大宰粟田真人は、隼人一七四人等を朝廷に献上する

持統天皇六年（六九二）閏五月一五日筑紫大宰率河内王等に詔して、大隅と阿多に仏教を伝えさせる

文武天皇二年（六九八）四月一三日文忌寸博士等八人を南島に遣わす

文武天皇三年（六九九）七月一九日多櫛・夜久・菴美・度感等の人が朝廷に方物を献上する

文武天皇四年（七〇〇）六月三日薩末比売・衣評督衣君県等が刑部真木等を掠めたため、筑紫惣領に勅して、これを討たせる

大宝二年（七〇二）八月一日薩摩の多櫛が朝廷の命に逆うにより兵を派して討つ、遂に戸をしらべて吏を置く、〇一〇月三日唱

文武天皇三年（六九九）七月一九日多櫛・夜久・菴美・度感等の人が朝廷に方物を献上する

更（はやひと、薩摩国）の国司等は国内要害の地に柵を建てて
戌を置き守らんことを申請して許可される

和銅二年（七〇九）六月二十八日大宰率以下の事力を半減する、但

し薩摩多禰両国司及び国師の僧等はこれを減じない 一〇月二
六日薩摩隼人郡司以下一八八人が入朝する

和銅六年（七一一）四月三日日向国肝坏・贈於、大隅・始羅四郡
を割いて、初めて大隅国を置く

和銅七年（七一四）三月一五日豊前の国民二〇〇戸を移して、隼
人の民を勸導させる

霊龜二年（七一六）五月一六日薩摩大隅二国の貢隼人の八年制を
改めて六年交替を請うて許される

養老元年（七一七）四月二五日大隅薩摩の隼人等は元正天皇の御
前で風俗歌舞を奏する

養老四年（七二〇）二月二十九日大宰府は隼人が反して大隅国守陽
侯史麻呂を殺したことを朝廷に奏上する

養老七年（七二三）五月一七日大隅薩摩両国の隼人六二四人を朝
廷に献上する

天平元年（七二九）六月二一日薩摩の隼人等が調物を朝廷に献上
する

天平二年（七三〇）三月七日大宰府は大隅薩摩両国の百姓に班田
収授を未だ実施しないことを朝廷に申請して認可される

天平七年（七三五）七月二六日大隅薩摩両国の隼人二九六八人入朝

して調物を朝廷に献上する
天平一二年（七四〇）九月三日大宰少式藤原広嗣は拳兵内乱を起
し、十月隼人の軍を先鋒となす

天平一五年（七四三）七月三日聖武天皇は石原の宮で隼人等に饗
を賜い、曾乃君・前君等の位を進めらる

天平一七年（七四五）一月二七日大隅薩摩両国の公廩を各四方
束と定める

天平勝宝元年（七四九）八月二一日大隅薩摩両国の隼人等は調物
を朝廷に献上し、土風の歌舞を奏する

天平宝字七年（七六三）一月一七日聖武天皇は五位以上の文武官
及び外国の使節に隼人等の樂を聴かしめられる

天平宝字八年（七六四）一月二日大隅薩摩両国の境で大噴火が起り
鹿兒島信爾村の海に三島が生じ、民家六二区と八〇余人が埋没

する
神護景雲三年（七六九）九月二五日僧道鏡は和氣清麻呂を大隅に
配流する 〇一月二六日称徳天皇の御前で、大隅薩摩の隼人

は俗伎を奏し、薩摩公等に位階を加えられる

宝龜七年（七七六）二月八日大隅薩摩の隼人は光仁天皇の御前で
俗伎を奏し、一〇日大住忌寸等に位階を加えられる

宝龜九年（七七八）一月一〇日遣唐第四船薩摩国甌島郡に帰り
一三日第二船は出水郡に到る

延暦二年（七八三）一月二八日桓武天皇は大隅薩摩の隼人等に朝

堂で饗を賜い、位階を進めらる

延暦四年(七八五) 一二月日向国の百姓課役を避けるために薩摩

に逃入する者多し

延暦十一年(七九二) 八月二〇日隼人の調を嚴重に徴収すること

を命じる

延暦十九年(八〇〇) 一二月七日大隅薩摩両国百姓の墾田を収め

て口分田を授ける

延暦二十二年(八〇二) 六月一二日大宰府に命じ隼人を進めること

停める、隼人の交替上京の制断絶する

延暦二十四年(八〇五) 一月一五日永く大替隼人の風俗歌舞を停め

る

大同二年(八〇七) 一〇月二四日壹岐・多櫛両国で校出した隠田

一四〇町を島司に賜い、公麻田・郡司職田以外は百姓の口分田

に班授する

大同三年(八〇八) 一月二〇日隼人司を衛門府に併する〇八月衛

門府の廃止により、再び隼人司を置き、兵部省に属する

天長元年(八二四) 九月三日多櫛島を停めて大隅国に隸属させ、

能満を馭護に、益救を熊毛に合せて二郡とする

仁寿二年(八五二) 六月薩摩国書生、雑色の官粮絶乏する、剩田

を佃つて、その料物に充てる

貞観二年(八六〇) 三月二〇日薩摩国従五位上開闢神を従四位下

に、従五位下志奈毛神・白羽火雷神・智賀尾神・賀紫久利神・

鹿兒島神を従五位上に、正六位上伊爾色神を従五位下に昇す

貞観十五年(八七三) 是歳天長元年より五〇年間大隅国正税返却

帳による勘出穀額は、二五一万余束に達する

安和二年(九六九) 八月伴兼行鹿兒島郡神食に入部するとい

長徳三年(九九七) 一〇月一日大宰府は南蛮賊が管内の諸国に乱

入して、人物を掠奪した由を一条天皇に奏上する

寛仁四年(一〇二〇) 閏一二月大宰府は南蛮賊が薩摩を掠めた由

を奏する、これを討つ

治安元年(一〇二二) 三月税所篤如は正八幡宮并に霧島宮司職に

補任さる

万寿三年(一〇二六) 一月此頃大宰大監平季基が島津庄を開発す

る

長元九年(一〇三六) 九月伴兼貞を肝付郡弁濟使に任じる

寛治元年(一〇八七) 是歳、大隅正八幡宮執印僧行賢は、父惟宗

某の大隅任国に従つて下向する

康和二年(一一〇〇) 是歳、太秦元平は牛屎院司職に補せらる

天永元年(一一一〇) 一月大隅正八幡宮執印僧行賢は吉田院を買

得して源為重に譲る

保安二年(一一二二) 六月一日大隅正八幡宮政所は、建部頼清

に禰寝院南保村を領知させる

保延元年(一一三五) 保延年間阿多郡司平四郎忠景勢威を振う〇

保延年間より 深川院・財部院・多禰島は島津庄の新立庄となつ

て、国務に従わない

久安二年（一一四六） 一月薩摩大介藤原某は、僧永修の妨害を停

止し、安楽寺に国分寺を沙汰させる

久安三年（一一四七） 二月九日入来院弁済使別当伴信房は、薩摩

郡内山田村と車内の地頭職を確認される

承安二年（一一七二） 二月八日満家院領主入道西念は所領を子

息大藏義平等三人に譲る

安元元年（一一七五） 八月右近衛府は、薩摩国衙に牒して、相撲

人太秦元光所領の田畠を安堵させる ○一二月勾当僧安兼は、百

引村弁済使となる

寿永二年（一一八三） 八月八日島津庄別当伴信明は、薩摩郡山田

村に対する郡弁済使兼宗の押領を訴えて、前越中守平盛俊の裁

決を受ける

文治元年（一一八五） 八月島津忠久は島津庄下司職に補任される

○一二月諸国守護地頭設置勅許

文治三年（一一八七） 九月源頼朝は島津庄目代島津忠久を押領使

として島津庄々務を沙汰せしむ

文治四年（一一八八） 五月天野遠景等貴海島を平定する

文治五年（一一八九） 七月源頼朝は奥州藤原泰衡を追討し、島津

忠久に令して島津庄内武勇の輩を参着せしむ、鹿兒島郡司の惟

宗康友等従軍す

建久八年（一一九七） 六月薩・隅・日三州の凶田帳成る○一二月

三日源頼朝は島津忠久を薩摩大隅両国家人の奉行人に補任す

○一二月二四日 島津忠久は内裏大番役の勤仕を薩摩国地頭御家
人二四名に伝える、その中に鹿兒島郡司の名もあり

建久九年（一一九八） 二月二日鎌倉幕府は島津忠久に満家院郡

司名田等の知行を令す ○九月頼朝は平忠重の鹿兒島郡司復職を

約す

建仁元年（一二〇一） 一月幕府は鹿兒島郡司・弁済使職を惟宗

康友に与える

建仁三年（一二〇三） 九月島津忠久は比企能員の変に坐して薩隅

日三国守護職を改易される ○一二月九日鹿兒島郡司・弁済使職

の事につき、守護所をして両方の理非を尋問せしむ

元久元年（一二〇四） 一〇月一七日幕府は大隅正八幡宮寺領帖佐

郷・荒田庄・万得名の地頭を停む

建保元年（一二一一） 七月忠久は島津庄薩摩方地頭職に還補さる

建保三年（一二一五） 一月忠久は薩摩国御家人に明年の内裏大

番役を催促する

建保六年（一二一八） 九月僧永金は満家院内に厚智山平等王院を

建て、観音阿弥陀等七体を安置す

承久三年（一二二一） 五月承久の乱起り、惟宗康友は関東方に、

平忠重は官軍方に属す

安貞元年（一二二七） 一〇月幕府は島津忠時の薩摩守護職及びそ

の他所領を安堵す ○一二月幕府は御家人鹿兒島小太郎康弘の訴

うる郡司職の事につき忠重・忠光の召喚を守護に指令する

貞永元年（一二三二） 閏九月幕府は矢上盛澄と惟宗康兼との鹿兒

島郡司職に関する対決のため召喚を令す

天福元年（一二三三） 六月幕府盛澄の遅参を戒める。

嘉禎元年（一二三五） 九月幕府は鹿兒島郡司職については、盛澄

と康兼との召決により裁断すべきことを令す

仁治元年（一二四〇） 七月鹿兒島小太郎康弘は鹿兒島郡司職のこ

とにつき越訴する

宝治元年（一二四七） 三月菩薩房は満家院内比志島等五か名を子

栄尊に譲る ○八月比志島名主栄尊は守護島津忠時の安堵状を受

く ○一〇月右所領知行承認の関東御教書が出される

建長五年（一二五三） 七月比志島名主栄尊は比志島など五か所の

名主職を嫡子祐範に譲る

正嘉元年（一二五七） 八月祐範は守護島津忠時の安堵状を受く

弘長元年（一二六一） 四月六波羅探題は鹿兒島中務次郎康邦と矢

上盛澄後家との相論の鹿兒島郡司並弁済使両職の事について召

進のところ、後家不参につき督促する

弘長三年（一二六三） 九月幕府は矢上盛澄後家に代理の参向を命

ず

文永二年（一二六五） 六月島津忠時は長子久経に薩摩国守護職並

に薩摩郡以下の地頭職を譲る

文永四年（一二六七） 一二月島津久長は満家院・伊集院・給黎院

類娃郡・和泉庄地頭職を領す

文永五年（一二六八） 一二月島津忠時は久経に鹿兒島郡地頭職を

譲る

文永六年（一二六九） 一〇月鎌倉幕府は島津久経の所領（鹿兒島

郡地頭職）を安堵する

文永一一年（一二七四） 一〇月蒙古軍来寇

文永一二年（一二七五） 四月比志島祐範は比志島堀内以下箇島の

万雑公事免除につき収納使地頭代の外題安堵を求む

建治三年（一二七七） 一月島津久経は比志島祐範の比志島・西俣

・河田・前田四か名分の管崎石築地役覆勘状を出す

弘安二年（一二七九） 五月一〇日龜山上皇院宣により鹿兒島・莫

裨・薩摩郡等を新田宮造管に当てらる

弘安四年（一二八一） 六月元軍壹岐島来寇につき、比志島時範等

これを邀え撃つ

弘安七年（一二八四） 閏四月淨光明寺創建

弘安八年（一二八五） 一〇月満家院惣地頭島津長久は、同院郡司

職以下の事につき税所篤秀と相論す

弘安九年（一二八六） 閏一二月蒙古合戦恩賞鹿兒島郡司職矢上泰

継跡十分一宛を筑後国御家人田尻種直子息等に配分する

正応元年（一二八八） 六月満家院郡司職以下のことにつき長久と

篤秀和与する

正応四年（一二九一） 五月大隅国住人吉原俊平は比志島忠範と比

志島西侯以下村々に關し相論す

正応六年（一二九三） 四月二日北条兼時は島津忠宗に石築地薩

摩国分破損箇所を通告する、荒田庄分鹿兒島東方分あり

正安元年（一二九六） 八月比志島忠範は比志島以下五六か名を嫡子

義範に譲る

文保元年（一二一七） 七月薩摩国御家人交名注進、鹿兒島郡滿家

院分あり

文保二年（一二一八） 三月島津忠宗は諸子に所領を分与す、嫡子

貞久は薩摩国守護職・鹿兒島郡同永吉地頭職を譲りうける

元応元年（一二一九） 二月五日島津忠宗は鹿兒島の東福寺に禁制

を令す

元応二年（一二二〇） 八月三日沙弥阿妙は、鹿兒島郡長谷場村内

田圃を字乙房丸に譲る

元亨三年（一二三三） 四月二日藤原時義は下大隅郡南方内野里

村々弁済使職を龜寿に譲る ○二月一日島津貞久は、重ねて

東福寺に禁制を令す

元亨四年（一二三四） 一月比志島忠範は正中の変により博多に

参着する ○一月二十九日鎮西探題は島津道慶と石谷道有の境論

を裁許す

嘉暦二年（一二三七） 六月一〇日伊集院忠国は比志島忠範との訴

論を止む ○閏九月二〇日鎮西探題は薩摩国雜掌明尊の訴により

伊敷村名主四郎入道の国檢を打止め濟物を抑留する事を停めさ

せる ○閏九月比志島義範は滿家院雜掌の比志島名年貢抑留の
掠訴を却けることを訴う

建武元年（一二三四） 四月島津貞久は大隅国守護職に補任さる

建武二年（一二三五） 三月内裏大番・陣中の条制を定む、初めて

勤番に入る薩摩の地頭・御家人大隅次郎三郎以下一三人と、その

中に鹿兒島郡司一族矢上左衛門二郎、比志島義範あり

延元元年（一二三六） 三月足利尊氏は島津貞久に薩隅警固を命ず

建武三年（一二三七） 五月湊川の戦、比志島義範戦死

延元二年（一二三九） 三月矢上高澄は宮方三條奉季に属す○九月

建武四年（一二四〇） 三條奉季市来城来援・比志島義範経戦死 ○一〇月矢上高澄は比志

島城を襲う

延元四年（一二四一） 八月三保高城陥落、宮方肝付兼重漸く遁れ

る

延元五年（一二四二） 八月禰寝氏等は東福寺城を攻め、島津資忠

・資久等は催馬楽城を攻める

興国三年（一二四三） 四月東福寺城・尾頭小城陥り、肝付兼重等

遁走する

興国四年（一二四四） 五月征西將軍懷良親王薩摩津に着く、つ

いで谷山城に入る

興国五年（一二四五）

興国六年（一二四六）

興国七年（一二四七）

興国四年 (一三三三) 一月矢上氏の拠る催馬楽城陥落

正平一三年 (一三五八) 四月島津氏久は鹿児島諏訪社に立願する

興国六年 (一三四五) 八月畠山直顕の軍勢は鹿児島谷峯城を陥れる。

正平一四年 (一三五九) 一〇月島津氏久は日向に入り、相良定頼と国合に戦い利あらず。

正平二年 (一三四七) 五月矢上一族中村覚純は浜崎城に官方の軍を導入する。〇六月官方は熊野水軍と合して東福寺城を攻撃する

正平一五年 (一三六〇) 島津氏再び武家方となる

和泉実忠は浜崎城を奪回し、島津貞久は官方の本拠地谷山を攻撃、勝敗決せず、この時牛下の戦あり。〇一月懐良親王海路肥後に赴く。

正平一八年 (一三六三) 四月島津貞久は死去に先だち、師久(総州家)に薩摩国守護職以下、氏久(奥州家)に大隅国守護職以下

正平五年 (一三五〇) 八月伊集院忠国は郡山頼平を郡山城に攻めて陥る

正平一五年 (一三六六) 三月島津師久は薩摩国守護職などを伊久に譲る

正平七年 (一三五二) 九月足利尊氏は島津師久・氏久に命じ、直冬党を討たせる

建徳二年 (一三七二) 二月今川了俊は京を発し、鎮西に向う

正平九年 (一三五四) 五月鎮西管領一色範氏は島津貞久に鹿児島郡々司職等を宛行う

文中元年 (一三七七) 六月高江郷峯城を強攻し、官方渋谷重門戦

正平一〇年 (一三五五) 一月島津師久は危急を京都に訴う

死 〇島津氏久は志布志より鹿児島に入り、進んで碓山城の師久を救護する

正平一一年 (一三五六) 九月島津氏久は三条泰季に降り、比志島範平らと加治木岩屋城を攻める

天授元年 (一三七五) 八月島津氏久は水島にて今川了俊に会す、了俊少少冬資を誘殺するに及び、怒って帰国する

正平一二年 (一三五七) 二月官方榎井頼仲が大慈寺に自刃する

延文一四年 (一三五九) 一〇月島津氏久は日向に入り、相良定頼と国合に戦い利あらず。

延文一五年 (一三六〇) 島津氏再び武家方となる

康安元年 (一三六一) 四月島津貞久は斯波氏経に半済の権限を与えたることの非を幕府に訴う

延文一六年 (一三六一) 四月島津貞久は斯波氏経に半済の権限を

康安二年 (一三六二) 四月島津貞久は死去に先だち、師久(総州家)に薩摩国守護職以下、氏久(奥州家)に大隅国守護職以下

天授二年（一三三七） 五月今川滿範は薩・隅日の大将となる

永和二年（一三七八） ○八月幕府は氏久の大隅守護職、伊久の薩摩守護職を奪い、了俊に与える

天授三年（一三三七） 三月島津氏久は今川滿範と日向筑原に戦う

元中元年（一三八四） 一月征西將軍宮は牛屎元息に令旨を与え、至徳元年（一三八四） 一月征西將軍宮は牛屎元息に令旨を与え、

鹿兒島院郡司分他を給与す

元中四年（一三八七） 閏五月島津氏久歿す、元久相続する

嘉慶元年（一三九二） 九月一七日幕府は島津元久に命じて、相国

明德三年（一三九二） 寺領三俣院・穆佐院を押領する高木久家を討たせる

明德四年（一三九三） 四月二八日島津元久は禰寝久清に高木久家を討つために都城への参集を命じる

応永元年（一三九四） 八月一六日今川了俊は幕府に両島津討伐の教書を出させて、薩隅の地頭御家人に通達する ○是歳島津元久は鹿兒島に福昌寺を創建し、石屋真梁を開山とする

応永二年（一三九五） 一月島津元久は鹿兒島郡長谷場村門前の水田を福昌寺に寄進する ○八月一六日大友親世は島津伊久に今川

了俊の九州退去を報じる

応永三年（一三九六） 四月一九日九州探題渋川滿頼は博多より兩

島津氏を招く

応永四年（一三九七） 四月島津元久は福昌寺制規を定める

応永六年（一三九九） 二月島津元久は父氏久と母崇欽禪尼のために菩提料所を福昌寺に寄進する

応永七年（一四〇〇） 一二月六日島津元久は鹿兒島郡坂本内中箇一か所を福昌寺に寄進する

応永八年（一四〇一） 四月二三日島津元久は鶴田氏救援のため、市来忠家を攻める

応永一〇年（一四〇三） 一月二九日島津元久は渋谷重頼に鹿兒島郡武村と揖宿郡成河村を宛行う

応永一一年（一四〇四） 六月二九日幕府は島津元久を日向・大隅の守護職に補任する

応永一二年（一四〇五） 三月五日島津元久は河上三郎左衛門尉に鹿兒島郡河上村を宛行う

応永一三年（一四〇六） 一月島津元久・久豊父子は同集庵に鹿兒島郡の水田二町三段を寄進する

応永一四年（一四〇七） 四月六日島津伊久は平佐城で歿する

応永一六年（一四〇九） 九月一〇日幕府は島津元久を薩摩の守護職に補任する

応永一八年（一四一一） 七月渋谷重頼は島津元久に反し、伊集院頼久の清敷を攻略、元久病氣のため、鹿兒島に帰る ○八月六日元久清水城で歿する、四九才

応永一九年（一四一二） 二月一五日島津久豊は比志島久範に満家院油須木村を宛行う ○九月二五日都於郡の伊東祐立は穆佐院に

侵入し、島津久豊は破れて末吉に退く、高木匡家戦死、その子二郎三郎に鹿兒島永吉村一二町を宛行う

応永二〇年（一四二三） 一月二日島津久豊は菱刈討伐のため

吉田に進む留守中に、伊集院頼久が清水城を攻略する、久豊は頼久を原良に破って鹿兒島を回復する

応永二二年（一四一五） 二月島津久豊は島津久世を鹿兒島千手

堂坊に囲み、河辺を求め

応永二三年（一四一六） 一月三日久世は鹿兒島千手堂坊で自刃、

殉死一人

応永二四年（一四一七） 九月一日島津久豊は河辺松尾城に兵を

置く、伊集院頼久が大いに久豊方を破る、頼久に谷山・給黎を与えて和する、頼久は谷山に拠って、鹿兒島を求め、久豊は

谷山に頼久を降す

応永二八年（一四二二） 八月二日島津忠国は隈之城に忠朝を攻め

て降す、忠朝鹿兒島に移る

応永二九年（一四二三） 二月島津久豊は山門院に島津守久を攻

めて、肥前に奔らせる、薩摩を大略平定する

応永三一年（一四二四） 一月島津久豊は加江田城を攻略し、伊東

氏と和する

応永三二年（一四二五） 一月二日久豊歿する、五一才〇八月二

八日幕府は島津忠国を薩隅日三州の守護職に補任する

永享二年（一四三〇） 一月一日島津忠国は真幸院徳満城に島津

久林を殺す、総州家断絶

永享四年（一四三二） 是頃国一揆激しく、島津忠国は鹿兒島より

末吉に移り、弟好久（用久）に守護職を代行させる

永享一年（一四三九） 二月一八日持久（好久または用久と称す）

は母寿山久公大姉の菩提料として、慧燈院に鹿兒島郡坂本之内山下水田三段を寄進する ○六月持久は諏訪社に鹿兒島郡上伊敷

流田之内門田三段を寄進する

嘉吉元年（一四四一） 九月島津忠国は鹿兒島に帰って、弟持久を

追放する、持久は谷山城に拠って反する ○二月二日幕府は

樺山・禰寝・吉田・野辺諸氏に命じて、忠国を援け、持久とそ

の与党を討たせる

嘉吉二年（一四四二） 一月二五日幕府は渋谷・吉田諸氏に持久及

び市来・高木諸氏の討伐を命じる

起請文を送る

文安元年（一四四四） 一月一四日日向の伊東祐堯は樺山孝久に

起請文を送る

文安二年（一四四五） 一〇月三日島津忠国は禰寝重清に起請文を

送り、持久討伐を謀る

文安三年（一四四六） 九月二六日樺山・新納・禰寝・肝付諸氏等

は島津忠国と起請文を交換して、盟約を結ぶ

文安五年（一四四八） 九月島津忠国は三俣院に行き、和田正存を誘って、高木是家・殖家父子を殺す、忠国は伊東祐堯と会盟す

る

宝徳二年（一四五〇） 二月二四日忠国は伊集院熙久を攻めて肥後へ走らせる ○一〇月二八日幕府は島津忠国に渡唐船の硫黄の上納を命じる

宝徳三年（一四五二） 是歳幕府は僧允澎を入明させる、勘合船一

艘の内五号船に忠国の参加を許したが中止する

長祿三年（一四五九） 二月三日島津立久は比志島義重に帖佐の平

山氏を討たせる ○是歳、蒲生宣清を給黎に移す

寛正元年（一四六〇） 四月一六日島津立久は鹿兒島の諏訪社に別

府村河俣名高倉門八段余を寄進する

寛正三年（一四六二） 是歳、立久は市来久家を討つて亡ぼす○一

月一九日立久は市来に竜雲寺を建てて

寛正六年（一四六五） 是歳、島津立久は諏訪社御佐山祭の夫役を

鹿兒島・谷山二四村に分つて七番となす

文明三年（一四七二） 九月二日桜島黒神村に大噴火が起る、惨

状甚し ○一一月五日幕府は島津立久に琉球渡海船の統制を命じ

る

文明六年（一四七四） 四月一日立久歿する、四三才、竜雲寺に葬

る

文明八年（一四七六） 三月島津国久（加世田領主・島津季久（帖

佐領主）は、島津忠昌に反し、季久の兵は鹿兒島に迫る、忠昌

は伊集院内城に移る ○五月二八日島津友久（田布施領主）は国

久を誘つて、田布施に反する、忠昌は伊集院・伊作の兵をもつ

てこれを攻める ○九月一、二日桜島大噴火、大隅方東西二里余の海中を埋める

文明九年（一四七七） 四月一六日国久・季久ともに降り、鹿兒島

で忠昌に会見する

文明一〇年（一四七八） 四月桂庵は鹿兒島に至り、忠昌に見える

文明一一年（一四七九） 二月忠昌は桂樹院を立野に建てて桂庵を

置く

文明一二年（一四八〇） 二月一日幕府は島津忠昌に琉球の来貢

を催促させる ○四月五日伊作久逸は国老平田兼宗・村田経安に

起請文を送り、忠昌の補佐を誓う ○一〇月二〇日新納忠統等六

名は忠昌と起請文を交換する

文明一三年（一四八二） 六月二六日幕府は島津忠昌に物を求める

○六月桂庵は国老伊地知重貞と 朱子の大学章句を鹿兒島で板行

する ○八月二日忠昌は入来院重聡・肝付兼連と起請文を交換

する

文明一七年（一四八五） 一月島津忠昌は渋谷氏の南下を慮つて、

夫人を伊集院に移す ○五月三日島津忠廉は与党の入来院氏等と

共に鹿兒島に至り、島津忠昌に降る ○七月二日島津久逸降つて

忠昌に見える、久逸を伊作に移す ○九月祁答院氏も忠昌に降る

明応元年（一四九二） 是歳、大学章句を再刊する

明応五年（一四九六） 二月島津忠昌は加治木久平を阿多に移す

○四月幕府は明より帰航三艘の一を忠昌に配分する ○是歳、忠

昌は府外に興国寺を建立する

文龜二年（一五〇二） 是歳、桂庵は伊敷村の東帰庵に移る

永正三年（一五〇六） 是歳、肝付兼久は高山に拠つて島津忠昌に

反する、新納忠武は志布志より之に応じる

永正五年（一五〇八） 二月一五日忠昌自刃する、四六才〇六月一

五日桂庵歿する、八二才

永正九年（一五一一） 是歳、島津忠良は伊作家及び相州家を併せ

て田布施に居る

永正一一年（一五一一） 五月五日島津忠良の子貴久は田布施に生

まる、幼名虎寿丸

永正一二年（一五一一） 六月島津忠治は大興寺を建つ

永正一三年（一五二六） 三月二八日備中の人三宅国秀は琉球を取

らんと欲し、坊津に泊す ○六月一日島津忠隆は三宅国秀を伐ち

之を殺す

永正一六年（一五二九） 四月四日島津忠隆卒す（二三歳）、弟勝

久襲封

大永元年（一五二二） 是歳、琉球紋船到来

大永二年（一五二三） 八月五日島津勝久は本田兼親と盟約す

大永六年（一五二六） 一月二七月島津勝久は養子虎寿丸を元服

させ、貴久の名を与う、

大永七年（一五二七） 四月一五日島津貴久は守護職をつぎ、清水

城に居る ○六月島津勝久は、島津実久と通ず

享祿二年（一五二九） 是歳、島津忠朝らは鹿兒島に会し事を議す
るも、勝久は要を得ず

天文二年（一五三三） 二月九日島津貴久の子義久生まる○八月島

津勝久は兵を出し、貴久を討たんとす

天文三年（一五三四） 九月二六日三宅国秀の党類が再度琉球征討

を計画す ○一〇月二五日川上昌久らは、勝久の寵臣末弘忠重を

谷山皇徳寺に殺す

天文四年（一五三五） 四月三日島津勝久は川上昌久を大興寺に誅

す、島津実久も勝久と離る ○七月二三日島津義弘生まる○八月

島津実久が鹿兒島に島津勝久を攻め、村市煙焼すること七日に

及ぶ ○九月三〇日実久は勝久の軍を破り、鹿兒島に入る

天文五年（一五三六） 三月七日島津忠良・貴久父子は、伊集院城

を攻む

天文六年（一五三七） 一月一一日本田氏の兵が、鹿兒島を侵し、

福昌寺以下寺社を破壊す ○二月島津忠良は鹿兒島に迫る、実久

敗れて川辺に走る ○三月二日島津忠良は実久と紫原に戦う

天文八年（一五三九） 一月一日島津忠良・貴久父子は、加世田城

を陥る ○三月一三日貴久は実久の軍を紫原に破る○八月二九日

貴久は市来本城を陥る ○是歳、貴久は福昌寺を修復し、宇宿村

を料所とす

天文一一年（一五四二） 一月一三日島津貴久は本田董親と盟約

す

天文二年(一五四三) 八月二十五日ポルトガル船種子島に漂着し鉄砲を伝う

天文四年(一五四五) 三月一八日島津忠広らは伊集院にて島津

貴久に会い、守護を仰ぐ。○是歳、忠良の伊呂波歌成る

天文五年(一五四六) 是歳、ポルトガル船三艘島津領に来たる

天文一七年(一五四八) 一月四日日本田董親再び叛く、のち敗れて

庄内に走る

天文一八年(一五四九) 七月二日フランシスコ・ザビエル鹿児島

島に来たる○一月二四日肝付兼演は島津貴久に降る○二月

一日肝付氏は 蒲生氏と共に清水城に来たり貴久に降る、祁答

院・入来院・東郷諸氏も遣使謝罪す

天文一九年(一五五〇) 八月フランシスコ・ザビエル鹿児島を去

る ○二月一九日島津貴久は伊集院より鹿児島の内城に移る

天文二一年(一五五二) 八月島津貴久は大友宗麟に書を送り、隣

交を修む

天文二二年(一五五三) 七月二日島津実久は出水に卒す

天文二三年(一五五四) 一月二日島津貴久はその子義久・義弘と

共に、岩剣城を総攻撃して城兵潰走す

弘治二年(一五五六) 是歳、伊集院莊厳寺を鹿児島島に移し大乘院

と称す

弘治三年(一五五七) 是歳、島津貴久は南林寺を鹿児島島に創建す

永祿二年(一五五九) 四月九日島津貴久は琉球王尚元の音信に答

う

永祿三年(一五六〇) 一〇月四日將軍足利義輝は島津・伊東両氏

の調停をはかったが、遂に成らず

永祿四年(一五六一) 五月一四日肝付兼統は島津氏にそむく

永祿五年(一五六二) 一月アルメイダ鹿児島島に入り、島津貴久に

謁す ○是歳、貴久は鹿児島島に不断光院を建つ

永祿六年(一五六三) 是歳、島津貴久は櫛間天神丸に琉球渡海の

朱印状を与う

永祿一二年(一五六九) 八月一八日島津貴久・義久・義弘父子は

大口城を攻む、菱刈降秋は相良義陽と共に球磨に走る

元龜元年(一五七〇) 二月島津義久は帖佐郷住吉名平野園門を興

国寺に寄進す ○九月貴久は谷山郡福本名水田三段を福昌寺開山

領とする

元龜二年(一五七二) 六月二三日島津貴久加世田に卒す(五八歳

) ○一月二〇日肝付・禰寝・伊地知諸氏は一〇〇余艘を以て

鹿児島島を侵す

元龜三年(一五七三) 五月三日島津義弘は日向の木崎原にて伊東

氏の大軍を破る ○九月二七日島津歳久、家久らは肝付氏を下大

隅に討つ

天正元年(一五七三) 三月島津義久は薩隅の兵を以て肝付氏を討

つ

天正二年(一五七四) 二月島津義久は大隅の雄肝付兼亮を降し、

廻城を収む

天正三年（一五七五） 四月一〇日島津義久は琉球使天界寺南叔と

鹿兒島で会う

天正五年（一五七七） 一二月島津義久・義弘兄弟は、日向の伊東

義祐の軍勢を破つて義祐を豊後に走らせる

天正六年（一五七八） 一月一〇日島津義久・義弘は、日向の高

城にて豊後大友義鎮の大軍を破る

天正一〇年（一五八二） 春、島津義久は南林寺を以て貴久の菩提

所とす

天正一一年（一五八三） アルメイダ三度び鹿兒島に来る

天正一二年（一五八四） 三月二四日島津氏の軍勢は、肥前の竜造

寺隆信の大軍を島原に破る、隆信戦死す ○九月一〇日島津義弘

は軍をひきいて肥後国隈本に入り、同月二四日高瀬に進む

天正一四年（一五八六） 一〇月一五日島津義久は豊後出陣を命じ

島津義弘らは肥後口から、島津家久は日向口から、豊後に攻撃

す

天正一五年（一五八七） 四月一七日島津義久・義弘の軍勢は羽柴

秀長の軍に日向国根白坂の会戦にて敗れる ○五月八日義久は川

内泰平寺にて豊臣秀吉に降る ○秀吉は同月九日義久に薩摩国を

同月二五日義弘に大隅国を充行う

天正一六年（一五八八） 一二月二日秀吉島津氏をして琉球修好

の事を処理せしむ

天正一八年（一五九〇） 三月島津義弘の嫡子久保は秀吉の小田原
征伐に従う

天正一九年（一五九一） 一〇月二四日島津義久は琉球に兵食糧の

提出を求む

文祿元年（一五九二） 四月島津義弘は一万五〇〇〇人の軍勢を率

いて朝鮮に出征す ○七月一〇日島津義久は梅北国兼事件に連坐

して、龍水にて自尽す

文祿二年（一五九三） 九月八日島津久保は唐島（巨濟島）におい

て戦病死す（二一歳）

文祿三年（一五九四） 七月石田三成は檢地の命をうけ奉行を三州

に派遣する

慶長三年（一五九八） 一〇月一日泗川の戦で島津義弘は明の大軍

を破る ○一二月一〇日義弘らは朝鮮より博多に帰る

慶長四年（一五九九） 六月島津義弘・忠恒（家久）父子は朝鮮陣

戦没者供養碑を高野山に建つ

慶長五年（一六〇〇） 九月一五日関ヶ原の戦に、義弘の率いる島

津勢は、敵軍の中央を突破して帰国の途へ向う

慶長七年（一六〇二） 四月一日徳川家康は、起請文を義久に送

り、島津氏の本領を安堵する ○ドミニコ会神父モラレス・フェ

ルナンデス・メーナ・ツマラガの四神父外一修士が 甌島に上陸

ついで鹿兒島に到る○島津家久は鹿兒島城を築く

慶長八年（一六〇三） ドミニコ会神父一行甌島に帰る

慶長一一年（一六〇六） 島津家久は鹿児島に大童寺を建て、南浦文之を初代住持とする

慶長一二年（一六〇七） 九月島津家久初めて江戸に到り、芝の邸地を給せらるる ○一二月有馬の学校の教父薩摩に来る

慶長一四年（一六〇九） 三月島津家久は琉球に出兵する○七月幕府は琉球を島津氏の所管とする

慶長一五年（一六一〇） 七月江夏友賢没す（七三才） ○九月家久桜田藩邸を給せらるる ○一二月新納忠元没す（八五才）

慶長一六年（一六一一） 一〇月慶長内検を開始

慶長一九年（一六一四） 幕府のキリシタン検察に付、島津家久は島原・有馬に出兵す ○三月慶長内検丈量を終る○一〇月島津家久は豊臣秀頼の救援を拒絶する

元和三年（一六一七） 九月家久は初めて幕府の領知高判物を受く
合高六〇万五千六百七石余

元和四年（一六一八） 正月鹿児島滞留の英船（シー・アドベンチャー号）船員ポルトガル船員と争う

元和六年（一六二〇） 九月三〇日南浦文之没す（六六才）

元和八年（一六二二） 一〇月教父ソテロ等はマニラより航して、薩摩に上陸する

寛永二年（一六二五） 四月島津家久は夫人および三子を伴なって鹿児島を去り江戸に至る

寛永九年（一六三二） 一二月寛永内検丈量に着手

寛永一〇年（一六三三） 寛永内検丈量を終る○六月城内に支配所をおき、知行配当を始める ○八月矢野主膳家中その他のキリシタンを検挙す

寛永一一年（一六三四） 八月鹿児島市中のキリシタン修士等を逮捕す

寛永一二年（一六三五） 一〇月はじめて宗門改の制を定める○一二月薩摩独得の宗門手札改の制始まる

寛永一三年（一六三六） 三月矢野主膳桜島にて火刑、その二児も斬に処せらるる

寛永一六年（一六三九） 八月幕府のキリシタン条書を封内に掲示す

寛永一九年（一六四二） 一二月鹿児島の下土を一〇組合に分かつち、別に家老組一組および寺社家・諸役座組一五組をおく

正保二年（一六四五） 五月鹿児島海岸石垣築造および浚渫を行うため幕府の許可を受く

慶安二年（一六四九） 大隅・日向・琉球の地図を完成し、地図を幕府に提出する

承応元年（一六五二） 諸浦水手屋敷塩浜を檢地（船手竿）

明暦元年（一六五五） 宗躰座・宗躰奉行をおく

明暦二年（一六五六） 是歳、宗門手札改を施行す、新編島津氏世禄なり、正統系図成る

明暦三年（一六五七） 万治内検丈量に着手○文書奉行を記録奉行

と改む

万治元年（二六五八） この秋丈量完了、知行配当を始める

万治二年（二六五九） 田地支配終り、諸士名寄帳を交付○愛甲喜

春は島津光久の待読となる ○万治年間磯仙巖園成る

寛文五年（二六六五） 宗門手札改を施行す

寛文八年（二六六八） 六月鹿兒島城下堀の浚渫の願いを許可さる

寛文九年（二六六九） 高輪藩邸を給される

寛文一一年（二六七二） 征韓録成る

寛文一二年（二六七二） 仙巖園に一亭を増築し、喜鶴亭と名づけ

る

延宝五年（二六七七） 四月鹿兒島城東北門の建築を幕府に願ひ、

これを許さる

延宝七年（二六七九） 木村探元生る

延宝八年（二六八〇） 一月鹿兒島大火（田尻殿大火）○一二月城

下辻々に火番所をおく

貞享元年（二六八四） 宗門手札改を施行する

元禄九年（二六九六） 四月二三日鹿兒島大火、城内に延焼して、

本丸以下を焼失する

元禄一四年（一七〇二） 六月大磯山船月寺興る○八月鹿兒島城下

海辺築地工事に着手する

元禄一六年（一七〇三） 二月鹿兒島大火・下町焼失（勝目殿火

事）

宝永元年（一七〇四） 二月鹿兒島城本丸等の普請が完成し、島津

綱貴が城に帰る

宝永二年（一七〇五） 四月城下諸士の六与を改編した

宝永六年（一七〇九） 七月大願寺を城北より城の西南に移し、規

模を大にして南泉院の号を賜う

享保七年（一七二二） 九月享保内検に着手、武村で例竿実施

享保一〇年（一七二五） 八月諸所・曖・役人・与頭・横目に宗門

方加役を命ず

享保一一年（一七二六） 三月内検丈量を終る

享保一四年（一七二九） 八月島津吉貴は武村に黄檗宗寿国寺を建

てる

享保二〇年（一七三五） 木村探元は禁裏及び院御所の屏風を画き

大式法橋に叙さる

元文元年（一七三六） 五月島津吉貴の求めに应じて、琉球より江

南竹二株を送り来る、磯別邸に植える

寛保二年（一七四二） 七月鹿兒島士あるいは御当地士の称を城下

士と改めた

宝曆四年（一七五四） 二月木曾川治水工事に着手した○一〇月、

六日長稚児相中掟・小稚児相中掟を制定

宝曆五年（一七五五） 五月二五日治水工事の総奉行平田正輔が自

刃した。

宝曆六年（一七五六） 四月幕府目付へ封内と琉球の地図及び地誌

要略二冊を呈す

宝曆八年（二七五八） 得能通昭の西藩野史なる

宝曆十一年（二七六一） 毛利正直生る

明和四年（二七六七） 一月島津重豪は南山俗語考の編集に着手

明和七年（二七七〇） 清水盛香の盛香考なる

安永元年（二七七二） 正月島津重豪は家中の風俗を正す

安永二年（二七七三） 造士館・演武館完成 ○二月聖堂建設に着手

手○八月聖堂完成、学規を定む ○十一月武芸稽古所竣功○一月

月医学院着手、翌三年二月完成、学規八略を定む

安永三年（二七七四） 九月朱子学以外の学説を聖堂で説くことを

禁ず

安永八年（二七七八） 島津重豪は吉野帯迫に菓園を設立○八月明

時館（暦局・天文館）建設に着手、一〇月完成 ○一〇月桜島大

噴火

天明元年（二七八一） この年より三年まで鹿兒島に菓園署をおく

天明三年（二七八三） 古河古松軒が鹿兒島に来る（西遊記の著

者）、功才を名主と改む

天明四年（二七八四） 正月持留地を抱地と改む○四月外城を郷、

鹿兒島近名を近村・近在とする ○十一月毛利正直の大石兵六夢

物語脱稿

天明六年（二七八六） 聖堂を造士館・武芸稽古所を演武館と改め

る

年表

寛政四年（二七九二） 九月島津重豪は曾槃を招き、記室とす○一

二月菓園奉行を置く○高山彦九郎薩摩に来る ○白尾国柱の神代

三陵考できる

寛政五年（二七九三） 九月成形図説の編集始まる

寛政七年（二七九五） 白尾国柱が寛藩名勝考をあらわす

寛政九年（二七九七） 山本正誼は島津世家（島津国史）の編集を

命ぜらる

享和二年（一八〇二） 島津国史成稿○島津重豪は万国地海全図一

舗を版刻せしむ ○造士館掛に樺山久言を命ず

文化元年（一八〇四） 成形図説の一部三十巻を上木す

文化二年（一八〇五） 島津重豪は西田村に千眼寺を起す

文化三年（一八〇六） 鹿兒島田上川をつげかえて新川とし、新田

島四百町を開く、また上伊敷村に石井手築き、西田町に至る用

水路を開く ○江戸大火により成形図説の版三十巻分を焼く

文化四年（一八〇七） 一二月二四日木藤一門と山本正誼対決す

文化五年（一八〇八） 伊地知重治は屋久島に文書採集中死す○七

月秩父くずれ起る

文化七年（一八一〇） 五月伊能忠敬は鹿兒島の近海を測量す

文化九年（一八一二） 南山俗語考できる ○倭文乃芋環できる

（白尾国柱）○重豪はシーボルトと会見す

文化一〇年（一八一三） 側用人調所広郷に財政改革を命じる

文化一一年（一八一四） 白尾国柱は島津重豪の命により、神代三

九〇九

山陵取調書を作る

文化一二年（一八一五） 鹿兒島城下木屋町を金生町と改む〇二月

橋口兼古の薩藩勝景百図及図考を編んで幕府に提出す 〇本田親孚の称名墓志できる

文政元年（一八一八） 島津重豪は不断光院を再興す

文政九年（一八二六） 三月重豪・斉彬はオランダ商館長シーボルトの江戸参府に際し会談す

文政一二年（一八二九） 三月成形図説の印版一〇巻及び底稿焼失す

天保元年（一八三〇） 重豪著、鳥名便覧を上木す、閏三月大谷派

唯明寺擬講法雲が鹿兒島に潜入して真宗を布教す

天保三年（一八三二） 曾榮仰望節録を著す

天保四年（一八三三） 伊地知季安の漢学起源できる

天保六年（一八三五） 島津斉興が玉里別邸を作る〇是歳封内諸所に

おいて一向宗門徒を検挙す

天保七年（一八三六） 一〇月三業安心派の僧大魯永吉に歿す

天保八年（一八三七） 伊地知季安の西藩田租考できる〇島津重豪

の質問本草が上木される

天保一〇年（一八三九） 諸所に一向宗門徒を検挙す

天保一二年（一八四一） 島津斉興は写真撮影を行なう

天保一三年（一八四二） 薩摩府学蔵版として四書・五経・孝経を

出版する 〇七月中村屋敷内に製薬方を立つ

天保一四年（一八四三） 三国名勝図会できる

弘化三年（一八四六） この秋、中村騎射場に製薬館を建つ

弘化四年（一八四七） 一〇月吉野原に洋式に銃砲隊の大操練を実施する

嘉永二年（一八四九） 四月市来米庵筆、古文孝経出版される〇島津

津斉彬は佐賀藩より痘苗を得て、種痘をためす 〇一二月山田清

安ら自刃を命ぜらる、いわゆる嘉永朋党事件おこる

嘉永四年（一八五一） 八月城内花園跡に製練所をつくった。

嘉永五年（一八五二） 一〇月下荒田郷中掟できる

嘉永六年（一八五三） 江戸の鋳物師西村道弥をまねき、鑄銭法を

学ばせる 〇一二月島津斉彬は幕府に大船建造の許可と日の丸船

章を建議す

安政元年（一八五四） 三月島津斉彬の伊呂波丸完成する〇軍艦昇

平丸完成する

安政二年（一八五五） 鹿兒島に西洋通事を置く。〇ガラス製造所

を磯の集成館に移す 〇斉彬は和欧文活字を設計し、木邨嘉平に

製作を命ず 〇薩藩蘭学講習所を明時館内に置く

安政四年（一八五七） 六月書籍支配人を鹿兒島に置く〇七月旧記

雑録前後編できる 〇磯邸内反射炉等の施設を総括して集成館と

命名した 〇島津斉彬が親書を以って造士館・演武館の改革を論

告す

安政五年（一八五八） 八木玄悦訳散華小言を出版する ○春秋左

氏伝を刊行する ○後醍醐院真柱は造士館の訓導師となり、国学を

説く ○一月僧月照は西郷隆盛と錦江湾に入水した

万延元年（一八六〇） 三月三日薩藩土有村次左衛門は江戸城桜田

門外で大老井伊直弼の首級を挙げた ○九月支那語学校達志館を

設ける

文久二年（一八六二） 四月二三日寺田屋事件おこる ○八月二二

日生麦事件おこる

文久三年（一八六三） 五月照国大明神の神号を許す ○七月二日

薩英戦争おこる

慶応元年（一八六五） 三月薩藩の海外留学生羽島を出発 ○是歳

イギリス人技師来鹿す

慶応二年（一八六六） 正月薩長同盟が成立した ○六月イギリス

公使パークスが鹿兒島を訪問した ○一月イギリス公使館通訳

サトウ鹿兒島を訪問す

慶応三年（一八六七） 八月伊地知季安没す（八六才）

明治元年（一八六八） 閏四月寺院癩合始まる ○五月造士館内を

和漢洋学局に分つ ○一月医学院を建つ

明治二年（一八六九） 一月島津忠義は版籍奉還を上請す ○二月

凱旋兵士の要求を入れ、藩政改革を行なう ○六月嘸・与頭・横

目を廃止し、小隊長・分隊長・半隊長を置く ○六月孟盆会禁止

○六月島津忠義は鹿兒島藩知事に任命さる ○八月寺領没収、私

領返上許可、家格廃止 ○一月斉彬従二位追贈、藩内寺院を全

廃す、旧南泉院跡に島津家歴代の総社鶴嶺神社を創建す ○一二

月ウイリス赴任 ○薩摩辞書出版される ○島津家並藩内土祖先

の祭祀を神式に改む

明治三年（一八七〇） 三月神習草刊 ○七月横山正太郎諫死 ○

一〇月神道講義を開演 ○二月岩倉具視は勅使として来鹿す

明治四年（一八七一） 一月本学校、第一・第二小学建つ ○三月

高見馬場郷校を第一郷校とす ○七月鹿兒島藩を廃し、鹿兒島県

をおく ○八月熊本鎮台第二分営をおく、知識兼雄吉野牧場を開

く ○一〇月知識コンデンスミルク工場を作る ○十一月大山綱

良鹿兒島県参事となる

明治五年（一八七二） 二月鹿兒島県庁を旧軍務局跡に移す ○五

月磯街道を作る ○六月鹿兒島行幸 ○七月郵便取扱所を設く

○八月郷校を變則小学校とす ○三島砂糖専売を廃止し、大島商

社を設立す

明治六年（一八七三） 八月地券発行着手 ○生産会社設立 ○九

月重富街道開通、取締組をおき、警察事務に当らしむ ○一〇

月西郷隆盛辞表提出 ○一二月第五国立銀行鹿兒島支店開業す

明治七年（一八七四） 二月県下主要路線に郵便開通す ○三月松

原神社に中教院をおく ○六月私学校設立す

明治八年（一八七五） 四月学務課をおく ○本学校を變則中学校

と改む ○五月小学校授業講習所設立、戊辰役従軍士族に賞典祿

支給す○八月農事社設立○一二月警察局を鹿児島警察署と改む
鹿児島裁判所開設布告○この年消防会所設置

明治九年（一八七六） 二月共立学舎設立○三月小学校正則講習所

同女子講習所を鹿児島師範学校・同女子師範学校と改称す○四月鹿児島裁判所開庁○五月地租改正着手○八月英語学校、准中学校設立○九月信仰の自由公認○一〇月真宗大谷派別院を設く
承恵社開業○一二月金禄公債布達

明治一〇年（一八七七） 一月中原尚雄以下来県、私学校徒暴発○

二月西郷軍上京の途につく○三月大山県令免、岩村県令任命○六月学校閉鎖○九月城山陥落○一〇月金禄公債始まる○十一月師範学校復興

明治一一年（一八七八） 一月伊々斯々正教会開設○二月産馬会社

設立○四月コレラ流行、小学校復興○五月一四日参議兼内務卿大久保利通が石川県士族島田一郎らのために赤坂紀尾井坂で暗殺される（四九才）○七月県立鹿児島中学校復興○八月真宗本願寺派鹿児島別院建設○一二月真宗大谷派鹿児島別院開設

明治一二年（一八七九） 一月大島商社設立○二月地租改正開始、

鹿児島教育博物館、磯に開設（明治一四年一二月廃止、備品は鹿児島師範学校に移管）○三月鹿児島郡役所新設○五月県営織物授産場開設○七月県庁新築落成○八月第四百四十七銀行設立○九月収税委員出張所開設

明治一三年（一八八〇） 四月鹿児島授産場設置○七月桑原組設立

○一二月松方正義、紙幣整理に着手す

明治一四年（一八八一） 二月鹿児島新聞創刊○六月地租改正終了

○一〇月九日黒田清隆は大隈重信の国会開設早急論に反対○この月三州社設立○一二月郷友会設立○一二月正華新誌発行

明治一五年（一八八二） 一月県立鹿児島医学学校及付属病院開業○

三月一日大蔵卿松方正義、紙幣整理に關して中央銀行の設立、外国為替取引金銀輸出入の円滑化業を建議○三月錦江新誌刊行

鹿児島商法会議所創設○四月三州義塾設立、九州改進黨鹿児島部結成○一〇月集成館島津氏再開○一二月昭陽雜誌刊行、鹿児島測候所創立 ○この年照国神社別格官幣社に列せらる

明治一六年（一八八三） 三月鹿児島日報発行、鹿児島新報発行○

九月興業館創設 ○二月一〇日大蔵卿松方正義は地方長官を召集し、経済界不況対策を審議す

明治一七年（一八八四） 二月一六日陸軍卿大山巖、兵制視察に渡

歐○九月鶴嶺雜誌刊行○一二月県立中学造士館設置

明治一八年（一八八五） 一月二七日陸軍卿大山巖は帰朝参内して

欧州各国軍制の概要を奏上す○四月蚕糸講習所開設○五月鹿児島競馬会社設立○八月コレラ流行 ○九月二五五代友厚没す（五一才）

明治二〇年（一八八七） 五月南島興産商社設立○八月鹿児島県私

立教育会設立○一二月六日島津久光氏死去（七一才）

明治二一年（一八八八） 四月三〇日黒田清隆内閣成立○五月市内

向江町に駆黴院設立

明治二二年(一八八九)

二月一日大赦令發布、故西郷隆盛の賊名を除き正三位を追贈、文部大臣森有礼、私邸玄関で刺客西野文太郎に襲われ重傷(二二日死去、四三歳)○三月二〇日西郷隆盛・大久保利通誕生地に記念碑を建立○四月一日鹿児島郡管轄の五〇か町村を分離、区域として鹿児島市と称し、市制を施行、長谷場純孝ら改進黨を唱えて同志会を組織○二六日易居町不断光院で、鹿児島市会議員の各級選挙(一八日まで)○五月九日易居町の名山小学校で鹿児島市会を開催議長及び議長代理者の選挙を施行、議長に本田省三、議長代理者に山田海三当選、推薦により議員の席次を決定市の議決機関成立、市長候補者の選挙を施行○二五日市役所として県所管の興業館の使用を申請、○二八日興業館の使用を認可、市長助役の給料を議定(年俸、市長七〇〇円・助役四〇〇円)○三一日上村行徴(初代)鹿児島市長就任○六月七日本田省三(初代)市会議長辞任○一〇日本田省三助役就任。山田海三(第二代)市会議長就任○一五日市参事会推薦、元新町他一四町戸長丹下伊左衛門を収入役に選任(年俸三〇〇円)○二一日元山之口馬場他九町村戸長役場及びその他の戸長役場、並びに鹿児島郡役場在勤の吏員二〇余名を、本市吏員として採用、市長助役以下市吏員の就任を終え、初めて議事行政の両機関を具備、市の組織完成○二四日市役所を興業館に開設、執務を開始○七月一〇日市役所開庁式を挙

年表

○一〇月二二日黒田清隆内閣総辞職○二二月鹿児島商法会議所を鹿児島商工会議所に組織変更、市の条例規則を議定(俸給条例・俸給並びに実費弁償金給与規則・吏員並参事会員及び委員旅費規則・吏員賞与規則・文具給与規則)

明治二三年(一八九〇)

五月種子島、屋久島への命令航路を開設○六月七日通常市会の開期を一月と六月に変更、本年より実施○一〇日貴族院多額納税者議員選挙、島津珍彦当選○七月一日第一回衆議院議員総選挙、樺山資美当選○八月一八日衛生組合規約標準を制定し、市内各町に示達○一九日船津町有志数十名東本願寺総合所に会合、衛生組合を組織○この月鹿児島県共同授産会社創立、本年夏より明二四年にかけてコレラ流行○九月四日鹿児島県知事渡辺千秋、行政裁判所評定官に就任、逓信省会計局長山内堤雲鹿児島県知事就任○二三日暴風雨襲来(圧死者五人、負傷者一人、被害戸数二〇〇〇戸)○一〇月警察本部を警察部と改称○十一月二九日帝国議会開院を祝し大門口青柳楼で祝賀会を開催○この月毛利侍従来県、九月二三日の暴風雨被害状況を視察○十二月一九日城山公園を県より市に移管(一町六畝二四歩八合六勺)

明治二四年(一八九一)

三月一日上村行徴(初代)市長病気のため辞任○二八日市長候補者選挙○四月一三日上村慶吉(第一代)市長就任○五月六日露国皇太子ニコラス親王殿下、ギリシャ国ジョージ親王殿下来鹿、松方正義内閣成立○一二日露国皇太

子ニコラス親王殿下遭難お見舞のため、上村市長京都へ出発○二九日西郷従道内相、青木周藏外相、大津事件の責任を負つて辞任○八月錦江新聞発刊○九月一三日建築中の市役所、暴風によつて倒壊、工事一時中断○二三日暴風雨襲来(被害戸数五一二戸、被害船舶一一)○一〇月八日鹿児島市消防規則、市会で議決○九日鹿児島港域拡張、市参事会で議決○この月鹿児島毎日新聞発刊○一月四日鹿児島市消防規制を改正、指揮権を警察に一任○この年市内最初の鉱泉、唐湊温泉発見、国道鹿児島・米之津間完通、山下町旧二之丸構内に市役所建築工事着工、下竜尾町滑川筋に起倒流の柔道場「泛虚館」創立

明治二五(一八九二) ○一月二三日帰省中の伯爵西郷従道の歓迎会を大門口青柳楼で開催○二月二日山田海三(第二代)市会議長辞任、染川権輔(第三代)市会議長就任○この月薩陽日報発刊○三月二七日市会議員の半数改選(三十日まで)○五月二〇日山下町、旧二之丸構内の市役所建築工事落成式(工費五〇九〇円五一錢二厘)○この月内外貿易鹿児島物産会社設立、永井寿三、市内里道筋に有料大小便所を創設○六月二八日市会傍聴人心得を議定○この月市内小学校、区域校数を決定○七月九日学務委員設置規則を議定○二七日高島陸相・樺山海相・河野内相の選挙干渉善後処置に反対、辞表捧呈○三〇日松方正義首相、陸海両相後任難のため辞表捧呈○一〇月二五日鉄道敷設に関する委員会を組織(委員七名)○二六日鉄道敷設に関する委

員会開催○三〇日市内各尋常小学校の教科目に唱歌及び裁縫科を加え、算術科に筆算を併用○十一月四日鹿児島県知事山内堤雲辞任、貴族院議員大迫貞清知事就任○二五日市内に高等小学校一校設置認可○二九日椎原国幹・上持綱幸発起で、征韓役三〇〇年祭を松原神社内中教院で執行○この年露国皇太子ニコラス親王殿下来鹿記念碑を城山公園に建立、玉江小、小山田小、皆与志小、東桜島小開校

明治二六年(一八九三) 一月鉄道敷設請願委員、上村慶吉・山本盛房上京、陸軍大臣大山巖・参謀次長川上操六・鉄道庁長官井上勝を訪問協力を依頼○二月鹿児島県連合青年会雑誌創刊○三月九日六日町三八番戸より出火(六五戸焼失)○二八日東千石町六五番戸(天文館)より出火(九二戸焼失、三五戸半焼及び引き崩し)○四月一六日陸軍中将川上操六ら、ひそかに韓国視察のため出発○一八日陸軍省所管旧練兵場(山下町)一部地域を市立高等小学校用地として使用する貸借契約を第六師団監督部長と締結○五月鹿児島商業会議所設立認可○六月鹿児島汽船株式会社設立○九月二五日私立鹿児島病院閉鎖、市立鹿児島病院設立○一二月警察区画を改正○この年吉野・竜水小学校開校 天保山に伝染病避病室設置

明治二七年(一八九四) 一月二二日各級市議員補欠選挙(二四日まで)○二四日金生町より出火、中町・東千石馬場・山下町・山ノ口馬場・呉服町を焼失(被災戸数五七二戸)○二九日子爵

大迫貞清鹿児島県知事辞任、貴族院議員子爵加納久宜鹿児島県知事就任○三一日露国軍艦クルーザー号入港、司令長官テルトフ海軍中將・艦長エルチャーテフ大佐○二月二日染川権輔(第三代)市会議長辞任、養田長暢(第四代)市会議長就任○三月九日天皇、皇后両陛下御結婚二五年大祝典挙行につき大門口万勝亭で奉祝会を開催○この月鹿児島地方にはじめて天気予報○四月一九日鹿児島県立尋常中学校開校(現鶴丸高校)○五月七日消防規則施行細則創定(県令第三九号)○三一日明治戊辰の役後当市で患者の治療及び医学生生の養成につくした、英国大医ウイリスの頌徳記念碑、城山公園に完工○七月二五日市内在籍の陸軍将校兵士召集令に応じ一四〇名出發○この月興業館を県物産陳列場と改称○八月二〇日出征家族救済の目的で、市に家族保護会設立○九月二七日鹿児島女子実業補習学校(旧市立女子興業学校)開校○二八日公爵島津忠義、鹿児島出身出征軍人慰労金として一万円を西郷・大山、海陸大臣に託す、また家令東郷重持を戦地に派遣し従軍の旧臣を慰問○一〇月一日第三区立簡易商業学校、名山尋常小学校内に開校(現市立鹿児島商業高等学校)○七日松原神社境内で日清戦役戦死者本市出身の故赤城艦長・海軍少佐坂元八郎太以下諸氏の招魂祭を執行○一七日上村市長、市民を代表して天機奉伺のため広島大本営へ出張

○二七日第三区立簡易商業学校に教育勅語謄本を御下賜○この年より二八年にかけて赤痢・痘瘡・コレラ流行、市内綿屋三〇

軒加工賃切下げ等に反対して争議○この年山形屋で初めて商品の正札制を実施

明治二八年(一八九五)

二月六日威海衛占領を祝して、各戸国旗

掲揚、養田長暢(第四代)市会議長辞任、安田為徳(第五代)市会議長就任○二六日第三区立簡易商業学校に両陛下の御真影を下賜○三月三日連合艦隊司令長官伊東祐亨、宇品に凱旋○二

五日市会議員の半数改選(二七日まで)○この月三島汽船株式会社設立、種子島・屋久島・口永良部三島の受命航路に就航○

五月一〇日海軍大将樺山資紀を台湾総督に任命○一八日大祝勝大会を照国神社南泉院通りで開催○七月二四日暴風雨來襲(被害戸数一三一戸)○八月二七日財政計画不一致で蔵相松方正義

辞職○この月大暴風雨御救恤資金御下賜、東園侍従を御差遣、大日本水産会鹿児島支部成立○九月一日上村市長、安田市会議長、市民を代表して台湾総督伯爵樺山資紀に慰問状を送る○

一〇月大川運輸株式会社甌島受命航路に就航○十一月三日台湾総督伯爵樺山資紀から市長及び市会議長宛に謝状来る○七日第六師団騎兵(日清戦役凱旋軍隊)第六大隊(第二中隊欠)行軍

演習のため来鹿○一八日市立小学校男子教員の制服決定

明治二九年(一八九六)

一月二四日丹下伊左衛門収入役辞任○二

七日園田八十郎収入役就任(年俸二四〇円)○この月鹿児島築港設計実測請願書を知事に提出○二月二七日無届欠席及び無届遅刻の議員の過怠金制度を決定(市会)○三月一〇日鹿児島女

子実業補習学校の校名を鹿児島女子徒弟興業学校に改称○この月鹿児島港の測量調査費(二一九九円三八銭)を可決(臨時県会)、鹿児島簡易農学校開校○四月鹿児島連隊区司令部設置、南大隅四郡は宮崎連隊区所管となる、不断光院の鐘に市費を補助、時報その他、水・火災の際に打鐘○五月七日帰省中の伯爵松方正義の歓迎会を大門口万勝亭で開催○六月一日第三区立簡易商業学校易居町に新築移転○七月二六日山下町招魂社境内で日清役戦死病没者の招魂祭を執行○この月日本赤十字社鹿児島支部成立、日赤鹿児島支部診療所及び日赤錦江病院創設○八月三十一日枢密院議長黒田清隆、臨時首相を兼任○この月第四百十七銀行組織変更して私立銀行として発足○九月一日松方正義(第二次)内閣成立○この月歩兵第四五連隊創設、鹿児島県尋常中学造士館開校○一〇月三〇日市内仲町より出火(一五戸全焼)○十一月鹿児島電気株式会社創立○十二月二日鶴嶺女学校開校(平之町)○この年西本願寺大伽藍完工

明治三〇年(一八九七) 一月二三日皇太后陛下の御大葬への市長

の参列が決まる ○この月鹿児島市兵事会を組織○二月四日皇太后陛下御埋棺当日市民は謹慎して弔意を表わすため各項の實行に努め、同時によう拝所の設置を議決(市会) ○一四日鹿児島市兵事会総会を開催、評議員(二五名)の選挙を施行○三月一日伊敷村に新設の兵営に入営する第六師団歩兵第四五連隊本部及び第一大隊、仁川丸で鹿児島港到着○四月五日市長の年俸

七〇〇円に議決○この月鹿児島汽船株式会社設立、鹿児島尋常中学校第一分校を東水引村宮内(川内市)に、第二分校を加治木反土に開校○五月三日鹿児島補習女学校設立可決(市会) ○六月鹿児島政反会誕生○七月二三日俊寛堀払下げ及び長田町堀の面官有溜池無償譲与出願について可決(市会) ○八月株式会社鹿児島貯蓄銀行、六日町に設立○九月八代・鹿児島間鉄道敷設工事起工○十一月五日市立鹿児島高等小学校教科の中に第三学年より英語を採用○十二月二六日島津忠義死去、五人才(国葬) ○二八日松方正義(第二次)内閣総辞職○この年つげ櫛工及び煙草職工賃上要求の争議

明治三一年(一八九八) 一月一九日元帥府設置(二〇日陸軍大将

小松宮彰仁親王・山県有朋・大山巖・海軍大将西郷従道、元帥府に列す) ○二九日安田為億(第五代)市会議長辞任、染川權輔(第六代)市会議長就任○二月一日皇后陛下並びに常宮・周宮両殿下に鹿児島女子徒弟興業学校生徒の作品を献上○三月二四日歩兵第四五連隊、宮中正殿において軍旗拝授、同時に勅語を賜わる ○二五日各級市議員半数改選す(二七日まで) ○この月株式会社鹿児島農工銀行東千石町に設立、日本郵船株式会社船、鹿児島寄港を停止○四月一日鹿児島簡易商業学校を鹿児島商業学校と改称、鹿児島簡易農学校を、鹿児島農学校と改称、鹿児島尋常中学校第一分校を鹿児島第二尋常中学校、第二分校を第三尋常中学校と改称、鹿児島尋常師範学校

を鹿児島県師範学校と改称、市議員の半数改選、大阪屋本店菓子製造工場創立○五月俊寛堀埋立工事に着工○八月鹿児島道友会解散、憲政党鹿児島支部結成、小山田に発電所建設、水力発電により点灯○九月一六日人力車駐車場の里道使用料徴収廃止を議決○この月第五銀行鹿児島支店を改称、浪速銀行鹿児島支店として開業○一二月一〇日第二回五二会全国品評会に鹿児島女子徒弟興業学校生徒の製作品を出品、有効銀牌を受賞○この月鹿児島市米穀商同業組合設立認可

明治三二年（一八九九）

○一月二六日西本願寺前、梶原仏具店より出火（全焼三三戸、半焼二戸）○この月俊寛堀記念碑を中町所属池の跡に建立、中央漁業組合、及び地方漁業組合結成○二月六日尋常中学校を中学校と改称○この月慶田製陶所創立○三月九州沖繩八県連合共進会及び大日本水産会大会開催、女子高等小学校を男子高等小学校敷地の南部を裂いて設置、工事着工鹿児島線鉄道作業局鹿児島出張所設置、吉見鉄工所設立、鹿児島県師範学校、野球部・柔道部・及び撃剣部・ボート部を創設○五月一日参謀総長川上操六死去（五三才）○この月林野整理局、鹿児島支局設置○六月九日鹿児島県第一中学校構外体操場を同校及び市立鹿児島高等小学と共用について協定なる○この月鹿児島県農会設立○八月四日改正条約実施祝賀会を興業館で開催○一四日一五日にかけて六〇年来の暴風襲来（風速七〇・九米、最低気圧七二三・九耗、被害戸数一四四七戸、被害船

舶六〇隻、死者一〇余人）東園侍従御差遣、御見舞金を御下賜、鹿児島鉄道工事鹿児島から着工○一〇月二五日県立高等女学校建築費（二五〇〇円）の寄付について参事会の諮問に賛同（市会）○一二月三日上水道新設について参事会諮問の調査委員の設置に賛同、委員の指名は議長に一任（市会）○この年鹿児島駅附近の運河埋立、南洲翁終焉の地に石碑建立

明治三三年（一九〇〇）

二月鹿児島実業新聞創刊○三月鹿児島港改修工事計画成る○四月二四日加納知事・上村市長、皇太子殿下御慶事盛典奉祝の時刻を一定するために県下各長に通達○この月鹿児島県第四中学校開校、鹿児島農学校を鹿屋に移転、県立鹿屋農学校と改称、県立農事試験場を下荒田に開設○五月一日皇太子殿下御慶事奉祝会を県庁で開催○七月五日鹿児島聾啞学院、長田町に開校○八月二五日黒田清隆死去（六一歳）○九月八日鹿児島県知事加納久宜辞任、新潟県知事千頭清臣鹿児島県知事に就任○一五日鹿児島政友会支部誕生○一〇月一六日汚物掃除法実施、市は巡視を配置して監視○一二月一五日熊本第五銀行支払停止のため九州一帯に金融恐慌各地に波及○この月大洋商船株式会社設立

明治三四年（一九〇一）

一月一日市市長以下収入役の俸給増額を議定（三四年度より）、年俸、市長一〇〇〇円・助役五〇〇円・収入役三〇〇円○三月二五日各級市会議員の半数改選す（二七日まで）○この月第七高等学校造士館、山下町城山下、

旧城址に開校○四月一日鹿児島築港起工式へ二百円寄付の件
 参事会の諮問に賛同(市会)○二二日鹿児島築港改修工事に起
 工○二九日市所有鹿児島停車場入口附近の九坪八合を本県へ無
 償譲与することを可決(市会)○五月三日市立各学校、及び市
 内各私立学校で皇孫御降誕奉祝式を挙行○この月鹿児島県第一
 中学校分校(現甲南高校)開校○六月九日日本田省三助役辞任○
 一〇日須知彦太郎助役就任○二九日、三十日にかけて豪雨(西
 田・新照院・高麗・上之園町方面で浸水家屋四四三戸・堤防破
 損八か所・道路破損五か所)○この月鹿児島・国分間鉄道開通○
 九月鹿児島第一中学校を県立鹿児島中学校、旧第一中学校分校
 を県立鹿児島中学校分校と改称○一〇月二三日東千石町元志々
 目殿小路より出火(全焼三六二戸)○一月八日鹿児島市水火
 防研究会を組織○この月鹿児島商業学校を鹿児島市立鹿児島商
 業学校と改称

明治三五年(一九〇二)

一月二六日園田八十郎収入役辞任○二七

日児玉誠之助収入役就任○二月二日鹿児島郵便局付近より出
 火(全焼三〇戸)○二三日日英同盟祝賀会を興業館で開催○三
 月二日鹿児島市水火防研究会、東京へ蒸気ポンプを発注○七日
 市長は防火のため、土壁・石壁・瓦ぶきを市民にすすめ、井戸の
 所有者に(井)の木札を門に掲示するよう指示○この月鹿児島
 孤児院創立○四月一日鹿児島県立高等女学校開校○五月二四日
 鹿児島市水火防研究会注文の第二号蒸気ポンプ到着、二九日試

運転○この月大阪商船株式会社の神戸打狗線鹿児島寄港を開始
 ○六月一五日故西郷隆盛遺子寅太郎特旨を以て侯爵を授けられ
 浄光明寺で奉告祭を挙行○七月一五日市は八坂神社並びに日置
 郡徳重神社の祭礼当日、市立各学校で出席生徒少数の時は臨時
 休校することに定め訓達○一八日西郷従道死去(五九才)○二
 三日市立男子高等小学校、及び尋常小学校宿直規程を制定、直
 ちに実施○八月一日教育会附属図書館開館○一四日公立学舎
 借地の山下町旧練兵場跡の一部を借地期限満了後、本市学校敷
 地その他公共の用に供する目的で借地願をする市参事会の諮
 問に賛同(市会)○二九日伝染病流行に際し、急を要する場合
 市参事会で臨機応急の処置をとり、事後承認を求むる件を可決
 (市会)○一〇月鹿児島県授産学校を鹿児島県授産社と改称、鹿
 児島盲学校、加治屋町に開校○十一月一日上村市長は市民を代
 表して大演習御統監のため熊本市に行幸中の陛下の天機奉伺の
 ため出張○この年、市内に自転車出現、県立第一高等女学校課
 外運動として軟式庭球を行なう、第七高等学校造士館、野球部
 ・柔道部・剣道部・弓道部設立

明治三六年(一九〇三)

一月鹿児島緑、国分・横川間開通○二月

二日鹿児島慈恵盲啞院創設(山之口町)○九日小松宮殿下ご死
 去につき、弔意を表し市立各学校の授業を休止○三月郷友会の
 授産会社解散○四月二六日上村慶吉鹿児島市長に再選○この月
 鹿児島郵便電信局を鹿児島郵便局と改称(一等局)、鹿児島商

業会議所、砂糖消費税法改正について、内閣・大蔵・農商務・各大臣へ建議書を提出○五月二八日鹿児島県立中学校分校寄宿舎火災○二九日鹿児島女子徒弟興業学校を鹿児島市立女子興業学校と改称、第三区の経営する教員養成科を設置○この月愛国婦人会鹿児島支部成立○九月鹿児島線、横川・吉松間開通○一月一〇日第五回国内勸業博覧会へ出品した市立女子興業学校生徒の製作品三等入賞○この年山形屋では従来の座売式を陳列式に改正、第七高等学校造士館、磯浜で第一回端艇競漕技大会を挙行

明治三七年（一九〇四） 二月一日県民の軍資献納運動起る、鹿児島市出征軍人家族救護会設立○一九日市は出征軍人家族に米

を支給、救護活動を開始（対象人員一二九人）○三月六日上村艦隊、ウラジオストクをはじめ威嚇砲撃○一五日丁丑戦没諸士参拝事務所総代永田純章出願の市有地を南洲翁木像建設敷地並びに同祭典執行地として無償譲与の件について可決（市会）○二四日須知彦太郎助役辞任○二五日各級市会議員の半数改選（二七日まで）○二七日市出征軍人家族救護会では近衛及び第六第一二の各師団長並びに同師団内の後備各連隊長及び佐世保鎮守府司令官を訪問、鹿児島市出身陸海軍人に後顧の憂いなく一意軍務に服するよう依頼○二九日山本徳次郎助役就任○四月一日市立各尋常小学校の教科目中に図画科を追加、鹿児島市立鹿児島商業学校を規則を改正し鹿児島市立商業学校と改称○

年表

五月一日九連城占領を祝し鹿児島新聞・鹿児島実業新聞両社共催で提灯行列を実施○二日元助役須知彦太郎に慰労金一〇〇円並びに感謝状を贈呈（市会）○一〇日鹿児島慈恵盲学院、鹿児島盲学校と改称、山下町に移転○この月鹿児島・谷山間乗合自動車営業開始○六月一〇日日露役参加のため三日間にわたり、歩兵第四五連隊は大門口埋立地より錫蘭丸、目の尾丸、敦賀丸の三隻に分乗出征○一六日歩兵第四五連隊清国張家屯に上陸○二〇日満洲軍総司令部設置、総司令官大山巖・総参謀長兒玉源太郎を任命○七月八・九日歩兵第四五連隊蓋平の戦闘に参加○二三日〜二五日まで歩兵第四五連隊大石橋の戦闘に参加、二四日の戦闘激甚をきわめ連隊旗の上部に敵砲弾の破片を受け損傷○この月鹿児島キリスト教婦人矯風会、軍人家族就業所を経営○専売局鹿児島製造所山下町に創立巻煙草の製造を開始○八月一日歩兵第四五連隊、海城付近の戦闘に参加○一二日川村純義死去（六九才）○二六〜二八日歩兵第四五連隊、管飯寺及び二台子の戦闘に参加○三〇、三一日歩兵第四五連隊、首山堡の戦闘に参加○九月二〜四日歩兵第四五連隊、遼陽の戦闘に参加、この戦闘中浪子街付近で野砲一六門その他多数の武器弾薬を捕獲軍司令官より感謝状を受ける○四日遼陽占領に市民、戦勝旗をかかげて歓喜、市長、野津・黒木両司令官に祝電を送る○七日鹿児島新聞、鹿児島実業新聞両社共催で遼陽占領祝賀提灯行列を挙行○一〇月九日鹿児島新聞社鹿児島実業新聞社発起で満

九一九

洲の我軍人へ毛布を贈る運動を起こす○一〇一七日歩兵第四五連隊、沙河の戦鬪に参加○一三日生産町一六六番戸空屋より出火（焼失家屋五八戸、半焼三戸）○一九日上村市長、市民を代表して満洲軍総司令官大山巖大将へ祝電を送る○二二日歩兵第四五連隊補充大隊・伊敷練兵場で遼陽役戦死者將校下士以下二〇六人の招魂祭を挙行○十一月六日歩兵第四五連隊補充大隊伊敷練兵場で台湾及び日露戦役における傷病死者の招魂祭を挙行○一三日市立商業学校校友会第一回陸上運動会挙行（洲崎ガ浜埋立地）○一九日山本徳次郎助役、市長代理として市民を代表して熊本・小倉両予備病院に陸軍傷病兵を慰問○二五日は鹿兒島港湾の改修に伴う調査を鹿兒島築港設備調査委員六名（上村慶吉・山本徳次郎・押川市之丞・奥常次郎・飛岡卯一郎・染川権輔）に囑託

明治三八年（一九〇五）

一月五日大門口埋立地で、旅順陥落祝勝会を開催、東郷・乃木、海陸両大将に祝電を送る○一二日上村市長は旅順要塞陥落の祝電を市民を代表して宮内大臣に送り執奏を請う○二五〜二九日歩兵第四五連隊、黒溝台付近の戦鬪に参加○二月鹿兒島養育院創立○三月一日歩兵第四五連隊、奉天会戦に参加、名山堀の埋立を可決（市会）○一五日上村市長は県下各郡長及び大島島司と連名で感謝状を大山満洲軍総司令官大久保師団長、香渡、太田両連隊長に送る○四月鹿兒島煙草販売所栄町に創立○五月三十一日上村市長、市民を代表して日本海

海戦の大勝利の祝電を宮内大臣に送り、執奏を請う、東郷連合艦隊司令長官に祝電を送る○この月鹿兒島郵船株式会社築町に設立○六月六日大門口埋立地で日本海大海戦祝勝会を開催○八月市立鹿兒島病院を県に移管申請○九月一四日満洲軍総司令官大山巖、全軍に休戦命令○二六日県市民の非講和大会、大門口埋立地で開催○一〇月九日鹿兒島商工会議所の出願により、市の議決を経て当路大臣へ、鹿兒島開港について具申○二二日英水雷母艦、ヘクラ号他五隻入港○この月神戸市在住、従六位勲五等川崎正蔵（元鹿兒島城下の人）本市男女各小学校へ三〇〇〇円寄附、市立各小学校基本財産に編入○二月一日本邦駐在英國大使マゴドナルド夫妻来鹿○二〇日鹿兒島築港改修工事竣工式挙行○二五日電話架設について当局大臣に建議することを可決（市会）○この年築港の土を埋立てて、洲崎町をつくる、七高対五高の第一次野球試合を開始

明治三九年（一九〇六）

一月五日後備歩兵第四五連隊第二大隊、御用船万里丸で凱旋○二〇日いづる通り広馬場角の凱旋門竣工○二月二七日鶴鳴館第二支店で市内在籍將校等凱旋歓迎会を挙行○二八日錦江橋改築鉄橋竣工、午砲用火砲払下げについて陸軍大臣へ上申○三月二日歩兵第四五連隊城子匂嶺を出発凱旋の途につく○三日英国アース・オフ・コンノート殿下御来鹿○一〇日第一回陸軍記念日祝賀会を、大門口埋立地で開催○一三日歩兵第四五連隊本部並びに第一大隊、御用船第一東郷丸で、一

六日同第二大隊御用船遼東丸で、一八日、一同第三大隊御用船香川丸でいずれも凱旋○一八日英国アーサー・オフ・コンノート殿下御滞鹿中尽力の功により、英国皇帝陛下より市長に勲章御贈与の旨接伴員より来信○二二日電話交換業務開始(磁石式)

加入者二五九○四月一日市内松原・西田・中洲・八幡の各尋常小学校に二か年程度の高等小学校の教科を併置、尋常高等小学校と称す、全市の学区を廃止し三区経営の市立商業学校及び鹿児島市立女子興業学校を市の経営に移管、県立鹿児島中学校を県立第一中学校と改称、県立鹿児島中学校分校を独立して県立鹿児島第二中学校と改称す○二四日県下一八〇〇余名の征露の役戦没者の臨時県招魂祭を伊敷練兵場で執行○一五日鹿児島・熊本・宮崎・沖縄四県連合凱旋祝賀会を大門口埋立地で開催○一六日日露戦役戦死病没者の臨時市招魂祭を大門口埋立地で執行○二七日第一回海軍記念日祝賀会を大門口埋立地で開催○六月二日官民有志發起で、本日来鹿した元帥伯爵野津道貫・元帥子爵伊東祐享・海軍大将男爵井上良馨・枢密顧問官男爵高崎正風・同西徳二郎・同清浦奎吾・海軍中將上村彦之丞などの歓迎会を鶴鳴館第二支店で開催○三日元帥伯爵野津道貫等、鶴嶺神社で島津公歴代の神霊に帝國隆興の報告祭を挙行○九日英国東洋艦隊旗艦、キングアルフレッド号他二巡洋艦・六駆逐艦入港○七月一七日塙国軍艦フランツォゼフ第一号入港○八月一日東京で行なわれた凱旋大觀兵式に歩兵第四五連隊参加○九

年表

月一日県立高等女学校生徒の服装を筒袖に定む○この月山下町の専売局鹿児島製造所で刻み煙草の製造を開始○十一月九日大門口下海岸埋立地中、住吉町・堀江町・松原町に接続する地域を、それぞれの町内に編入、その他の区域は洲崎町と命名○三〇日上水道完工式を城山配水池構内で挙行○二月二日市会議員は明治四十年第一市会より議会議席の際には洋服又は羽織袴を着用することに決定○この年城山公園に英国アーサー・オフ・コンノート殿下来鹿記念碑建立

明治四〇年(一九〇七)

二月七日巡航博覧会船入港○三月二〇日独東洋艦隊旗艦フィールストビスマルク号入港○二五日各級市會議員半数改選(二七日まで)○三〇日上村慶吉(第二代)市長辞任○四月一日市立病院を県に移管○二二日英国軍艦マンモース号入港○六月二日市立小学校女教員の制服を筒袖に決定○二二日鹿児島市立商業学校を明治四一年度より県の経営にすることを、県知事へ申請の件可決(市会)○七月六日六〇年来の豪雨(浸水家屋六六六戸)堤防破損二か所・道路破損三〇か所)○二二日市立伝染病院敷地(西田村尾畔下東郷重持所有地)について、西田村民、市に請願書を提出○八月八日上村前市長に頌徳詞並びに慰労金三〇〇〇円をおくことを議決(市会)○一六日有川貞寿(第三代)市長就任○一〇月二日和泉屋町より出火(全焼四五戸、半焼三戸)○三日火葬場・屠殺場・屠畜市場の市営案を可決(市会)○一六日伏見宮貞愛親王殿下

九二二

武徳会鹿兒島支部發会式に御臨席○二三日島津氏三代の守護職島津久経特旨を以て正三位を贈られる○二六日皇太子殿下行啓、東宮侍従大迫貞武可愛山陵に御代拝○三〇日皇太子殿下御離鹿○二二月二七日鹿兒島県知事千頭清臣辞任、福井県知事阪本彰之助鹿兒島県知事に就任○この月鹿兒島新波止場北燈竿建設、閑院宮載仁親主殿下、日本赤十字社鹿兒島支部総会に御台臨○この年ザビエル記念教会堂設立

明治四一年（一九〇八）

一月二〇日南洲翁洞窟記念碑建設○二六日児玉誠之介収入役辞任○この月鹿兒島湾内汽船株式会社設立○二月一八日女子技芸学校（現実践女子高校）開校（平之町）○この月鹿兒島糖商同業組合設立○三月三〇日上荒田町に鹿兒島高等農林学校開校○四月一日松原・中洲兩小学校の尋常高等科併置を廃止、尋常小学校及び高等小学校の授業料を増額○この月平之町に会文舎幼稚園開園、日本水産株式会社武町冷凍工場設立○五月二日県立商船学校開校（山下町）○一〇月一三日韓国守備のため第三六旅団並びに歩兵第四五連隊一〇四四人大門口埋立地より御用船三吉野丸で出発○二〇日有川市長染川市會議長、市民を代表して故元帥陸軍大將侯爵野津道貫邸に弔電を送る○二八日鹿兒島女子技芸学校、高麗町に新築移転○三〇日第七高等学校造士館長へ城山林の一部を条件付で無償貸与について可決（市会）○一二月二八日有川市長、市民を代表して新任海軍少尉公爵島津忠重に祝電を送る○この年私立教育会、

社団法人として改組、監獄所永吉町に移転

明治四二年（一九〇九）

一月二六日市事會會長有川貞壽、韓國駐屯歩兵旅団司令部及び歩兵第四五連隊の本市出身者へ寒中慰問状を送る、教育会附属図書館を私立鹿兒島図書館と改称○二三日照国神社苑内で海軍少尉公爵島津忠重の新任祝賀会を開催○一一日鶴鳴館で憲法發布二〇年記念祝賀会開催、鹿兒島盲字校加治屋町に移転○この月市糖商同業組合、砂糖消費税法改正について総理・大藏・農商務各大臣及び貴・衆両院議長に請願書を提出○三月四日鹿兒島開港についての内務・大藏兩大臣へ意見書提出について可決（市会）○この月鶴嶺女学院、清水町に新築移転○四月一日鹿兒島高等小学校の修業年限を二か年より三か年に延長○三〇日通信大臣男爵後藤新平来鹿○この月鹿兒島檢番創設、南檢（大門口）芸妓数五〇人、西檢（天文館）芸妓数六〇人○五月二日英國軍艦アラクリーチ号入港○六月二三日英國軍艦マンモース号入港○七月一七日高麗橋改築工事竣工○二七日市民に門頭に標札を掲げるよう訓示○八月二日黒葛原橋改築工事竣工○この月薩摩錫器組合設立○九月三日午砲用短四斤山砲、附属品とともに佐世保鎮守府から到着○四日市立商業学校、米国人ソル・エフ・ライトを英語教師として招請（米國、ハーバード大学卒業）○二五日市立商業学校雇外人招聘期限を明治四二年九月一日より明治四四年八月三二日まで二か年とし年俸一四〇〇円で契約することを可決（市

会)〇二七日高等小学校に随意科として商業科を追加〇一〇月二八日鹿児島測候所所在地、上の原で午砲の試射を行なう〇一月一日第一回鹿児島市生産品評会を県物産陳列場で開催〇三日冷水町三二八番地崎元直哉所有地で初の午砲発砲〇四日伊藤博文の国葬につき各戸弔旗を掲揚〇九日浄光明寺障道改築工事完工〇一〇日市午砲用火薬倉庫完工〇一八日一ツ橋架設工事完工〇二〇日鉄道院鹿児島出張所構内で肥薩線開通祝賀会を挙行(東京まで開通)〇二一日肥薩線開通協賛会では式参列のため来鹿した全国新聞・雑誌・通信記者の招待会を大門口万勝亭で開催〇一月九日北白川宮輝久王殿下御来鹿〇大日本武徳会鹿児島支部発会式を挙行

明治四三年(一九一〇) 一月一四日小学校教員服装規定の励行に

ついて各小学校に通達〇二八日ねずみ駆除のため懸賞買収法を実施〇三月五日柳町二六番戸より出火(五七戸全焼)〇一八日県立第一中学校出火、校舎焼失、県立商船水産学校を利用して授業開始〇二一日鹿児島県伊敷村榎木馬場近傍に市屠殺場落成〇二五日各級市会議員の半数改選(二七日まで)〇四月一日市立商業学校内に、市立商工補習学校開校、県立高等女学校を県立第一高等女学校、県立商船学校を商船水産学校と改称、県立師範学校全寮制度で西武田村に移転開校〇六日鹿児島高等小学校に大竜尋常小学校、鹿児島女子高等小学校に名山尋常小学校の仮教場を設置〇九日福岡市開成館で鹿児島県出身の偉人遺

年表

物展覧会を開催(三〇日まで)〇一六日県立女子師範学校、全寮制度で山下町に開校、県立第二高等女学校併設〇二八日英国軍艦ベントフォート号他一隻入港〇五月五日韓国守備隊第三六旅団司令部並びに歩兵第四五連隊御用船辰丸で入港帰還〇六日わが戦艦の第一号として薩摩の国名を冠した二万トンの薩摩艦入港〇七日午砲用附属火薬庫爆発〇一〇日県女子師範学校・県立第二高等女学校、国分八幡までの第一回の長巨離遠足を開始〇二二日西田村尾畔に市立伝染病院完工〇この月坂上文且堂製菓工場完工〇七月四日再建中の午砲附属火薬庫完工〇一二日城山公園園路開発工事に着工〇二一日県立商船水産学校、下荒田町に新築移転〇この月鹿児島ガス株式会社設立〇八月八日西田橋改修工事完工〇九月二日有川市長、六万市民を代表して、日韓併合の賀表を奉る〇七日薩隅日三州の有志浄光明寺の正三位西郷隆盛の霊前に日韓併合の奉告祭を挙行〇一〇月一四日通信大臣兼鉄道院総裁男爵後藤新平来鹿〇一五日海軍大将男爵鮫島員規死去の悲報に接し市長より東京の同邸へ弔電を送る〇二一日山口重寛収入役就任〇三一日鹿児島ガス株式会社にガス管理設の為里道使用の権能を許可、これに対する報償金について契約締結を可決(市会)〇この月鹿児島聾啞学院、私立鹿児島盲学校と改称〇一月県立水産試験場を県庁内に移転〇一二月五日公爵島津忠重中尉昇進のため市長祝電を送る〇一四日栄町他三カ町所在の市有地を鉄道院へ譲与することを可決(市会)

九三三

○一五日城山公園園路全部完工○この年、塩屋町の五町歩の塩田廃止、県立第一中学校、桜島・磯間の錦江湾横断の遠泳を挙行
明治四四年（一九二一） 一月二日四四年度より市史編さんを行なうことを満場異議なく決定（市会）○二八日市長、わが国未曽有の犯罪事件（大逆事件）について市内各小学校長に訓示○

二月上之園町の市立女子興業学校新築工事完工移転（工費二万三九〇〇円）○三月二日山本徳次郎助役、朝鮮行政視察のため鹿児島新聞社主催の朝鮮觀光団に参加出発○四月九日島津忠重公及び令夫人、伊楚子姫の御成婚祝賀会を照国神社内で開催
 ○五月一二日農商務大臣子爵大浦兼武来鹿○六月二日豪雨襲来（浸水家屋五七二戸）英国王戴冠式に御名代東伏見宮依仁親王参列（陸軍大将乃木希典・海軍大将東郷平八郎随行）○七月四日鹿児島県知事阪本鈺之助辞任、岡山県知事谷口留五郎鹿児島県知事に就任○二九日県立商船水産学校練習船錦丸進水○八月四日鹿児島電気軌道株式会社設立○九月六日山之口町より出火（全焼九六戸、半焼二〇戸余）○一四日侯爵西郷寅太郎、侯爵大久保利和より各誕生地の寄贈を採納（市会）○二一日暴風雨襲来河川氾濫（被害戸数一八九一戸）死者八人、負傷者八人
 ○三〇日鹿児島市第一次編入（伊敷村の一部、草牟田・西武田村武の一部）面積累計一・五・九一平方料、人口累計七万三〇八五人、人口密度一平方料当たり四五九四人○一〇月二日女子高等小学校講堂で第一一回全国市長協議会開催（三六市参加）

○一五日清滝川浚渫工事完工○一月二日日野侍従来鹿、九月二一日の暴風雨被害状況を視察○三日名山堀埋立工事竣工（三三〇坪二合五勺）○九日船津町より出火、新町・呉服町・大黒町に延焼（全焼四五戸、半焼一戸）○この年明治屋（木造三階建）設立、県立鹿児島第二中学校柔道場落成、駆鹿院を県立洲崎病院と改正

明治四五年・大正元年（一九二二） 二月一日財団法人鹿児島造士

会講習所設立○この月鹿児島商業会議所、鹿児島開港を帝國議會に建議○三月二日沖繩県に衆議院選挙法施行の勅令公布○四月一日清水小学校開校、鶴嶺女学校内に実科高等女学校を併置、私立鹿児島図書館を県に移管○五月二七日武町に私立鹿児島鍼灸学校開校○三〇日通信大臣伯爵林董来鹿○六月一五日豪雨（二五八戸浸水）○この月中園久太郎工場設立○七月一日薬師町に西田尋常小学校移転敷地を買収○二日薩英戦争五〇年記念会を照国神社内で開催○二一日有川市長は宮内省に天皇陛下御不例に対し電報を発し天機を奉伺、市民は神社仏閣にご平癒を祈願○二三日明治五年の行幸記念碑の落成式を挙行○二九日有川市長、宮内大臣に当て電報にて市会よりの天機を奉伺○この月南薩鉄道株式会社設立○八月一日軍艦旗津入港○一三日天皇山県有朋・大山巖・松方正義・井上馨・桂太郎・西園寺公望に先帝の遺業を継ぐに当てて勅語を賜う○二三日県立鹿児島病院看護婦ストライキに突入○九月二日御大葬吊砲発射の

ため配置艦生駒入港（六〇発発射）〇一三日御大葬に際し大門口埋立地で遙拝式挙行、陸軍大将乃木希典（六四才）妻静子（五四才）自宅で殉死〇この月鹿兒島県物産陳列場完工〇一月五日県立商船水産学校火災（一棟全焼）〇一月五日鹿兒島自動車株式会社設立（鹿兒島市―川内・米ノ津間、鹿兒島市―加世田・枕崎間、鹿兒島市・喜入・指宿間）〇二五山下町興業館内で第二回工芸品評会を開催（二月八日まで）、練習艦津軽入港〇二月一日鹿兒島電気軌道株式会社、武之橋・谷山間の営業を開始〇六日市会議員補欠選挙〇七日元老会議で、松方正義を後継首班に推挙（二〇日辞退）〇九日第一艦隊入港〇一四日照国神社境内で乃木將軍夫妻の追悼祭を執行〇二六日第二艦隊入港〇二七日西田座新築落成〇この年、島津忠重公を総裁として、武徳殿内に造士会講習所開所

大正二年（一九一三）

〇一月九日第一艦隊入港〇一六日憲政擁護県民大会を鹿兒島座で開催〇この月株式会社劇場鹿兒島座落成〇二月一〇日川内線、鹿兒島・東市来間開通、鴨池に常設競馬場新設〇二〇日山本権兵衛内閣成立〇三月二四日染川権輔（第六代）市会議長辞任〇二五日各級市会議員選挙（二七日まで）〇三一日株式会社浪速銀行鹿兒島支店、市金庫事務の取扱いを開始（大正九年一月二日まで）、市と北薩及び桜島間の電話開通〇四月一日山岡国吉（第七代）市会議長就任、南薩鉄道開通〇三日武町耕地整理終了〇五日浄光明寺墓地に建設中の南

洲祠堂の本殿完工〇二三日南洲祠堂の仮遷座式を挙行、草牟田墓地完成〇二四日武停車場工事起工〇三日日清・北清・日露戦役の戦病死者の招魂祭を築港埋立地で挙行〇五月二日米国觀光団一五人来鹿〇五日米国駆逐艦ウエラランド号以下三隻入港（八日出港）〇一日鹿兒島県立図書館、県立一中跡（現県庁所在）に移転〇六月五日鹿兒島商業会議所本館新築落成〇一九日城山公園内の名木・特種木に記名示をつける〇この月鹿兒島煙草販売所を併合、鹿兒島専売支局、栄町に開局、県は警務長を廃し警察部長を置く〇七月三〇日明治天皇一周年祭につき、各官公衙・各学校等で遙拝式挙行〇八月三日岩崎谷・草牟田墓地間の道路開さく工事完工〇九月九日墺国巡洋艦入港〇一三日南洲祠堂に南洲文庫設置、長田町鶴山学舎で乃木將軍夫妻の周年祭を開催〇一八日第二艦隊水雷戦隊旗艦千歳以下一六隻入港〇三〇日大竜寺遺跡に文之和尚の記念碑を建立〇一〇月二日塩屋町火災（二五戸焼失）〇一日武停車場開通〇一三日海軍潜水母艦韓崎以下七隻入港〇二一日床次鉄道院総裁来鹿〇一月二二日有川貞寿（第三代）市長死去〇二五日第二艦隊、盤手以下四隻入港〇この月鹿兒島実業新聞を鹿兒島朝日新聞と改称〇この年造士会講習所、県立図書館内に移転

大正三年（一九一四）

一月二二日桜島大爆発〇一九日野侍從御差遣、三月に救恤資金一万五〇〇〇円を御下賜〇一四日ロンドン・タイムズ桜島大爆発の詳細を報道、最も同情のある社説を

掲載○二月一日桜島罹災民救助の目的で東京で桜島爆発記念展覧会を開催(三日まで)○九日米國ハワイ火山研究所長トーマス・エーじヤツカー博士、桜島研究のため来鹿○一日市は桜島爆発以来生活に困窮する市民二〇〇〇人、戸別数六一三戸と発表○一七日塩屋町に火災(六棟二十七戸焼失)○三月二十四日山本権兵衛内閣総辞職○四月四日児玉利実(第四代)市長就任○一日皇太后崩御につき、市役所前に遙拝所を設置、式後一三日まで一般市民の遙拝を許す○二三日大山巖元帥大臣に任命○二七日狂犬病発生、県は鹿児島市を狂犬病危険区域として告示○二八日鹿児島県知事谷口留五郎辞任、高岡直吉知事就任、○三〇日児玉利実市長辞任、この月県立図書館に博物館を併設、○五月八日埴国巡洋艦カイゼリン・エリザベス号入港○一日海軍大將山本権兵衛、斎藤実を予備役に編入○二四日御大葬市民遙拝式を市立高等小学校校庭で挙行○二七日易居町に火災(二六四戸焼失)○六月八日特命検閲使川村大将来鹿、第七駆逐隊五隻入港○この月鹿児島畜市場設立○七月八日市役所で桜島爆発罹災者への恩賜金拝戴式を挙行○二〇日山本徳次郎助役辞任○二一日山本徳次郎(第五代)市長就任○八月七日鹿児島産婆学校創立(武町)○九月二八日殉難警察官記念碑建立○一月一日飛行大会を鴨池で開催○一八日県立商船水産学校、暴行事件のため同盟休校○二一日大窪七之丞助役就任○一月一日福岡における九州野球大会で七高造士館優勝○八日青島陥

落祝賀会提灯行列を挙行○二一日鹿児島連隊区司令部で在郷軍人会勅語奉読式を挙行○二二月二〇日電車、武之橋・鹿児島駅間開通○三〇日練習艦隊、旗艦阿蘇及び宗谷入港○この年高免小学校開校

大正四年(一九一五)

一月二一日大久保甲東碑地改修工事完工○

二八日西郷南洲碑地改修工事完工○二二月二日第二艦隊第二戦隊旗艦香取以下四隻入港○一〇日第一戦隊旗艦摂津以下二隻入港○二一日日本県地方測候所の移転地は上荒田町に決定○三月一日真宗の祖師親鸞聖人六五〇回忌大法要を大谷派鹿児島別院で挙行○四月一日昭憲皇太后御一年祭遙拝式を市尋常高等小学校校庭で挙行○この月市内に百日せき流行○五月二六日郡市長会を赤十字社鹿児島支部で開催○六月六日県結核予防会発会式を第七高等学校造士館講堂で開催○一七日市長、鹿児島市史編さん顧問諸氏を招集、脱稿の市史編さん方法について協議(明治二二年四月から四五年七月まで)○この月集成館の事業を廃止○八月七日文久三年七月、英国支那艦隊の鹿児島湾砲撃戦記念会を浩然亭で開催○一七日県立博物館開館○九月一八日上竜尾町字上の原配水池用地内で、上水道起工式を挙行○二五日県会議員選挙○一〇月三一日伊敷練兵場で第六師団觀兵式を挙行○一十一月三日県市連合、各小学校の御大典奉祝提灯行列を実施○一六日市御大典奉祝余興行列を挙行○一二月七日電車、武駅(西鹿児島駅)まで開通○一九日殉難警察官招魂祭を県庁で

開催○この年県立第一高等女学校、校内に射場を設け、課外として弓道を奨励

大正五年（一九一六） 一月二日鶴嶺神社で島津義久公贈位奉告

祭を開催○二五日市役所で清水小ほか七校に下附された御真影の奉戴式を挙行○二月七日郷土出身西の海の横綱免状授与式を細川家で挙行○三月一二日練習艦笠置入港○一五日鹿児島市史発刊○二三日島津斉彬・久光・忠義三公の銅像建設地鎮祭を照国神社境内で挙行○四月二日故県立病院長医学博士田中苗太郎の銅像除幕式、歩兵第四連隊軍旗祭を伊敷兵宮庭で挙行○六日尾崎法相来鹿○一日桐野利秋・篠原国幹・大山綱良・桂久武・村田新八の五氏に贈位、五月一日南洲祠堂で報告祭を開催○この月薩摩倉庫株式会社設立、博約義塾を博約鉄道学校と改称○五月一四日鹿児島新聞社主催、鹿児島オリソニック競技大会を鴨池グラウンドで開催○六月二八日曾我殿の傘焼を市内各地で開催○八月一三日高潮のため鹿児島港沿岸一帯浸水（一四日まで）○九月二日鹿児島市立教育参考館、南洲神社隣接地に設立（大正八年四月開館）○二六日西千石町に鹿児島実業中学校開校○三〇日桐野利秋誕生記念除幕式を吉野村実方で挙行、吉野村の丁丑役薩軍出征戦亡諸士招魂碑の除幕式を挙行○この月私立博約鉄道学校（現鹿児島商工高等学校）高麗町に移転○一〇月六日山形屋新築落成開館○十一月三日官民合同の立太子礼奉祝大会を市尋常高等小学校で挙行、市内小学校児童の旗行

年表

列を実施、高麗町四一番地に鹿児島造士会講習所新築移転○二三日高見橋の渡初式○三〇日市は新旧兵送迎会を照国神社で挙行○一二月六日市内一七学舎連合の創立十五年記念式を武徳殿で開催○一〇日公爵元帥大山巖死去○一七日公爵元帥大山巖園葬○この年鴨池動物園（三三〇〇坪）開園、市立鹿児島商業学校、磯浜で第一回校内端艇競争大会挙行、鹿児島新聞社主催第一回南九州オリソニック大会、鴨池グラウンドで開催（大正十五年以後中止）第一回鹿児島中等学校柔道大会優勝旗争覇戦七高造士館主催で挙行、中郡に恩賜財団済生会、結核療養施設海浜院を設立

大正六年（一九一七） 一月一二日桜島爆発記念碑を南泉院馬場通

りに建立○一六日東千石町、山下町にかけて火災（一五〇棟焼失）○二五日洛北相国寺塔林中光院の薩摩藩戦死者墓地で椎原小弥太以下甲子戊辰両役に陣没した六八士の五〇年祭典を執行○二月七日第三艦隊旗艦敷島以下三隻入港○一五日市に御下附の皇后陛下の御真影奉戴式を市会議事堂で挙行○一六日郷土出身横網西の海一行二五〇名来鹿（七日より一〇日間市内で興業）○二二日料亭鶴鳴館全焼○二三日市内湯屋組合、二銭の湯銭を三銭に値上げ○二四日私立鹿児島中学校、私立鹿児島実業学校と改称、四月に葉師町に新築移転○三月二四日山岡国吉（第七代）市会議長辞任○二五日各級市会議員選挙（二七日まで）○四月三日平田鞆負以下薩摩義士の贈位報告祭を武徳殿で挙行

九二七

○五日本田休之助(第八代)市会議長就任○三〇日県主催招魂祭を伊敷練兵場で举行、明治三七八年戦役戦病死者碑の除幕式を照国神社前で举行○五月二日松方正義内大臣に任命○七日島津斉彬公の銅像到着○九日島津忠義公の銅像到着○二〇日朝香宮鳩彦王殿下御来鹿○二六日海軍大将男爵伊集院五郎、元帥の称号を賜う○六月一〇日贈正五位中原猶介翁の宅趾碑の除幕式を举行○三〇日薩摩出身古今刀剣名工記念碑を松原神社境内に建立○九月九日連合艦隊司令長官海軍大将吉松茂太郎指揮の大艦隊入港○一六日公爵徳川家達来鹿○二四日南洲翁以下丁丑役戦没諸士の四〇年祭を南洲祠堂で举行○一〇月一日大窪七之丞助役辞任○十一月三日岩切重雄助役就任○二〇日故山階宮菊麿王殿下妃常子殿下、久邇宮邦彦王殿下妃倪子殿下御来鹿○二二日島津三公(斉彬、忠義、久光)の銅像除幕式を探勝園で举行○二三日戊辰役戦死者五〇年祭典を照国神社境内で举行○一二月四日練習艦隊、浅間・盤手入港○一七日鹿児島県知事高岡直吉辞任、橋本正治知事就任○この年天文館に映画館建ちはじめる

大正七年(一九一八) 一月一三日鹿児島座焼失(千日通り火災、焼失家屋五〇戸)○二月五日第一艦隊扶桑、摂津入港○三月一三日電車、柿本寺、草牟田開通通○四月三日鹿児島高等学院創立○五日加治屋町に火災(八〇戸焼失)○一三日清滝川開門施設工事完工○二七日大洋商船株式会社の新造船三国丸、神戸、鹿児島間就航○五月三日特命検閲使、井口陸軍大将来鹿○一二日

豊公征韓役の古戦場、泗川・船津城跡で島津義弘公の朝鮮役戦勝碑除幕式を举行○一四日国鉄鹿児島工場建設工事中○六月一三日市長助役その他関係者、市新墓地候補地調査のため市内各地を实地踏査○一七日南洲翁洞窟史蹟地を公園附属地に編入の認可を申請○七月二二日山本徳次郎再び市長に就任○二五日暴風雨襲来○八月一九日米価暴騰に苦しむ市民の救済法として篤志家の義援金によって年収一〇〇円以下の家庭に白米廉売券を配布○二七日島津義弘公贈位奉告祭を長谷場墓地で施行○九月世界的にスペイン感冒流行、市内各学校休校○十一月四日株式会社第四百四十七銀行新館落成○一二月二五日新設の上町市場開店

大正八年(一九一九) 一月八日歩兵第四五連隊陸軍始観兵式に中等学校のほか小学校生徒も参加○一三日講和全権委員に西園寺公望・牧野伸顕らを任命○二七日乃木静子夫人銅像除幕式を新屋敷町誕生地で举行○二月一日県市官民主権憲法発布三〇周年祝賀大会を鶴鳴館で開催、旗行列、提灯行列を举行、第七高等学校造士館、蹴球部を創設○二〇日鹿児島高等農林学校昇格期成同盟会結成○三月二日三州倶楽部鹿児島支部発会式を鶴鳴館で開催○一〇日第一艦隊山城以下一五隻入港(一五日出航)○四月八日鎮西高等簿記学校創立○一〇日南林寺墓地を廃止○この月南洲祠堂の西北端に教育参考館を開館○五月七日市で皇太子殿下御成年式の奉祝式を举行○六月一四日豪雨各地に出水

○七月一日平和克復祝賀大会を照国神社で開催、旗行列、提灯行列を挙行○一日鹿兒島港開港○一五日中午宇村字栗木迫に市の新墓地完工○一九日冷水町旧太平寺興国寺墓地の隣に市の新墓地完工○この月鹿兒島建具業者一三人、賃上要求同盟罷業○八月一日新設の市水道課執務開始○七日鹿兒島臨時検疫所開所○一三日県立鹿兒島病院看護婦ストライキに突入○一五日日会議員補欠選挙○九月二八日易居町に火災（商業学校、名小小学校等一二二戸焼失、三人焼死）○一〇月五日鹿兒島開港祝賀会を照国神社境内で挙行、貿易展覧会を県物産陳列場で開催（一八日まで）○二五日日市に副収入役を置く○二七日戦利潜水艦入港○この月鹿兒島靴屋同業組合員二七人賃上要求同盟罷業○十一月二六日日市上水道工事上の原配水池で通水式を挙行、大阪府立商品陳列所内に鹿兒島県物産販売調査所を新設○この年鹿兒島手形交換所設立

大正九年（一九二〇） 三月七日県立鹿兒島病院附属看護婦宿舍全焼○一二日岩切重雄助役辞任○一三日鶴嶺実科高等女学校を鶴嶺高等女学校と改称○二五日皇太子殿下御来鹿、夜歓迎の提灯行列を行なう○この月鹿兒島鉄工所勤務時間短縮等を要求して争議○四月一日県立図書館、無料閲覧となる、床次内相来鹿、鹿兒島第二師範学校（現鹿兒島大学教育学部）日置郡西市来村（）県立工業学校（現鹿兒島工業高等学校―草牟田町）開校○一八日県報徳会発会式を市立尋常高等小学校講堂で開催、吉野村

年表

寺山開墾記念碑完工○五月簡易商業学校を鹿兒島商業学校と改称、下荒田町の新築校舎へ移転、第一回県下中等学校野球大会第一回県下中等学校武道大会○六月九日枝次正春助役就任○二七日鹿兒島税関支署完工○七月一〇日鶴嶺神社境内に宝物殿完工○八月二九日日市消防協会発会式を照国神社境内で挙行○この月鹿兒島商業銀行設立○九月二〇日日市内にコレラ患者発生○一〇月一日、電車草牟田・伊敷間開通、鹿兒島市第二次編入（伊敷村の一部大字永吉、下伊敷）、面積累計一六・七三平方キロメートル、人口累計一〇万二三九六名、人口密度一平方キロメートル当り六〇六一名○一三日下荒田町、鹿兒島化学研究所全焼○二五日英国支那艦隊所属カロンガ号入港○二七日第二六駆逐隊、栗以下四隻入港○三〇日教育勅語御下賜三〇周年にあたり市内各校で国民道徳の宣伝についての催しを挙行○この月松原神社県社に列す、県立図書館に理化実験部を併設す、第一回県下柔道大会、高等農林学校主催で挙行○十一月二日第百四十七銀行、市金庫事務の取扱を開始（昭和一九年一月三日まで）○二三日島津貴久公三三〇年祭にあたり長谷場墓地で贈位報告式を挙行○二四日薩摩義士記念碑竣工式を挙行○二二日八月八日鹿兒島高等農林学校の大学昇格問題について鹿兒島県民大会を照国神社境内で開催○この年原良と殺場、伊敷へ移転

大正一〇（一九二一） 一月一三日陸軍飛行機三機飛来、元帥海軍大将從二位勲一等功一級男爵伊集院五郎死去○一五日戸柱橋渡

九二九

初式を挙行○二三日鹿兒島倶楽部を鹿兒島市民会と改称○二月一日山下町電車通りに公設市場開店○一七日旧独潜水艦零六号入港○二〇日上町に火災(全焼三六戸、半焼七戸)○二二日県交通安全週間○二三日島津忠重公渡欧送別会を照国神社で挙行○この月初の市営住宅一一棟、草牟田町に建設○三月七日鹿兒島電気軌道株式会社買収建議案満場一致で可決(市会)○一日島津忠経公、四〇年祭を鶴嶺神社で挙行○二五日各級市会議員選挙(二七日まで)○四月八日宮内省、明治天皇御紀編さん所御用掛一行、明治五年の明治天皇九州行幸御事蹟調査のため来鹿○二四日県立工業学校新築校舍落成○この月県商品陳列所開所、市内永吉町・原良町及び市外伊敷村の小作人一〇七人、地主一七人に対し耕作地田地一一町歩の小作料減額要求争議○五月二〇日山口重寛収入役辞任○二三日海軍航空隊台湾帰還飛行、通信連絡のため駆逐艦柳入港、鹿兒島市政調査会発足○六月二八日東条彦助収入役就任○七月鹿兒島専売支局を鹿兒島地方専売局と改称○八月一日市水道敷設工事は西田橋を越えて左折し、武停車場を経て上荒田武工場に至る間全部終了、通水開始○九月三日市青年団発会式、会員数三五〇〇余人○二三日中等学校水泳大会○十一月一日門司鉄道管理局武工場完工○四日県第二師範学校校舍新築落成○二〇日易居町不断光院で孝子池田正右衛門、二〇〇年追弔会○十二月一日故文部大臣森有礼の誕生地碑除幕式○二四日鹿兒島県知事橋本正治辞任、中川

望知事就任○この月城山頂上の午砲の砲身を佐世保鎮守府より所管替のものと取替える(従前と同一型の四斤砲)○この年南林寺墓地市街地となる、十五銀行(現三井銀行)完工、マツクスエル自動ポンプ出現、洲崎五五二坪九合の埋立工事一〇〇〇年計画で始まる、第一回南九州中学校軟式庭球大会、鴨池で挙行

大正一一年(一九二二)

二月一日第一回県下中等学校柔道大会

○三月三十一日鹿兒島女子尋常高等小学校を廢し、之と名山小学校を鹿兒島尋常高等小学校に合併○この月伊敷村大迫、小作人一二人、地主一人に対し耕作地田地二町歩の小作料減額要求争議○四月一日県立第一高等女学校に専攻科併設、県立高等女学校及び鶴嶺高等女学校生徒の服装を洋服に改正○一六日荒田尋常高等小学校開校○一七日第七高等学校造士館で孔子祭を挙行○この月松原実業補習学校・西田実業補習学校新設、鹿兒島商工補習学校を鹿兒島市立実業補習学校と改称○五月英国皇太子ウエールス来鹿○六月一日西郷南洲翁未亡人親子死去○この月海水浴場に市営脱衣場設置○七月二五日有島武郎、北海道農場四〇町歩を小作人へ全部無償提供○この月鹿兒島警察署に初めて交通巡查を配置、天文館通りを安全地帯に指定、午後七時から一一時までの車馬の通行を禁止○八月一日山本徳次郎(第五代)市長辞任○三一日県立第一高等女学校(割烹室)火災○この月市営住宅を騎射場と薬師町に建設○九月七日西千石

町鹿兒島夜間中学校開校○一七日水上競技大会開催○この月谷山村中小作人一五八人、地主二三人に対し田地七五町歩畑地四〇町歩の小作料減額要求争議○一〇月六日武町に三州商業学校開校、電話局南林寺に開局○この月財団法人鹿兒島県社会事業協会設立、鹿兒島履物工場員八三人、賃金値上要求同盟罷業○一月三州平和銀行設立○二月五日市役所で田中義一大将、「国民精神弛緩を慨す」と題して講演○一日鹿兒島港灣修築案を県会に提議○二七日故島津造士館長銅像除幕式○この月鹿兒島商工会議所増築工事完工、第一回県下女子中学校軟式庭球大会鴨池で挙行

大正一二年（一九二三）

一月鹿兒島電気軌道株式会社の重役排斥問題、社長辞任で落着、県第一師範学校蹴球部を創設○二月冷水道路改修工事長田町より不断光院墓地下まで完了○四月一二日歩兵第四五連隊、満洲駐在を命ぜられ鹿兒島港を出航○一五日薬師町に私立鹿兒島高等女学校開校○二七日伊集院俊（第六代）鹿兒島市長就任。（年俸七〇〇〇円、交際費一〇〇〇円）○この月県立工業試験場設立、鹿兒島港第二期築港準備計画に着手○五月一七日久邇宮邦彦王殿下同妃殿下並びに良子女王殿下・信子女王殿下御来鹿、二〇日まで御滞在○三〇日勅令で都市計画法第二条による市に指定される○この月旧集成館跡の石造建物を修築、尚古集成館を設置す○六月三〇日三州商業学校生徒同盟休校○七月二〇日市に助役二名を置くことを決定（市参

年表

事会）○二五日祇園祭に、小川飛行士奉納飛行を行なう○この月鹿兒島電気軌道株式会社乗務員六一人賃上要求同盟罷業○八月鹿兒島県庁舎新築工事着工、県立病院看護婦、看護婦制度改革と庶務課長退陣を要求して争議○九月一日関東大震災災見舞金として市長一〇〇〇円市吏員一〇〇〇円をきよ出○二日山本権兵衛（第二次）内閣成立○二九日鹿兒島県知事小川望辞任、小幡豊治知事就任○一〇月一日上野篤助役就任○この月第三代鶴嶺高等女学校校長島津治子、東宮女官長を拝命○十二月二日虎ノ門事件、摂政宮、帝国議會開院式行啓途中難波大助がお召自動車に発砲、山本権兵衛内閣引責総辞表捧呈○この年鹿兒島朝日新聞社（現南日本新聞社）完工第一回南九州中等学校野球大会開催

大正一三（一九二四）

一月二六日御成婚奉賀式を挙行○二九日床次竹二郎ら一四九人で新政倶楽部を政友本党と改称○二月二日第一回南九州中等学校蹴球大会を七高造士館で開催○三月鹿兒島朝日新聞社主催観桜会を甲突川畔で開催、名古屋より直径八寸の孟宗竹受注、日本水電株式会社、南九州水力電気株式会社を合併、鹿兒島職業紹介所開設○四月一日市立女子興業学校に専攻科を新設、又生徒の服装を洋服に改正○三日照国神社前広場で戦没将士の招魂祭を開催○一四日県立実業補習学校教員養成所を鹿兒島高等農林学校内に併設○一五日鹿兒島市公報創刊○この月草牟田尋常小学校開校、官吏の執務時間土曜日の三時

九三二

退庁を正午退庁に復活、鹿児島測候所、沖繩内地間の無線電信を実施、第七高等学校庭球部、硬式庭球を採用○五月一日市社会課妊産婦救済事業に産婆三〇人を囑託○四日中華民國前大總統黎元洪一行一五名来鹿、五日宮崎に向け出発○五日高松宮宣仁親王殿下ご来鹿○二日北白川宮大妃殿下、和見屋町停留所から谷山まで電車で島津別邸に御成り○一六日鹿児島市史発刊○二三日市の徴兵検査、市役所で施行○この月少年野球大会鹿児島朝日新聞社主催で開催○六月一日照国神社廟頭で皇太子殿下御成婚奉祝会举行○二日米機三機飛来○八日枝次正春助役辞任○一二日第二艦隊旗艦、金剛外二〇隻入港○二四日鹿児島県知事小幡豊治辞任、県忍知事就任、政友本党臨時大会、床次竹二郎を総裁に推戴○七月二日元老松方正義死去、九二才、(一二日国葬) ○二三日日本一周飛行機春風号飛来○九月九日勝目清助役就任○この月日本水電株式会社を鹿児島市に移す○一〇月一八日明治天皇、鹿児島行幸遺跡調査のため臨時帝室編輯所編修官、本居清造来鹿○この月米備益々昂騰、久永度器製作所設立○一二月谷山村上福元小作人五〇一人、地主二五六人の田地九〇町歩畑地二〇町歩の耕作地に対し小作料二割、その他減額要求争議、鹿児島県海外協会設立○この年、南林寺町誕生、私立錦江高等女学校開校、藤武ビル、安田生命、鹿児島信用金庫ビル竣工、鹿児島紡績株式会社、大日本紡績株式会社と合併、大日本紡績鹿児島工場発足、県立第一高等女学校、籠球を

大正一四年(一九二五)

課外運動として奨励、洋画家黒田清輝死去(五九才)
 阪神、沖繩間直航路を鹿児島經由に変更されるよう大阪商船会社に要望○二月三日伊集院俊(第六代)市長死去○五日現在、天皇、皇后両陛下下銀婚式の恩光に浴する九〇才以上の長寿者、市内に二八人生存○一六日佐世保海軍鎮守府司令長官、伏見宮殿下、管下軍状及び徴兵検査の状況を視察○二七日秩父宮殿下御来鹿○三月四月本田休之助(第八代)市会議長辞任○二五日各級市会議員選挙(二六日まで) ○三〇日武町に鹿児島中等学校開校○この月博約鉄道学校を鹿児島鉄道学校と改称○四月一日市立鹿児島実業補習学校男子部を鹿児島実務商業学校、女子部を鹿児島実修女学校と改称○六日鏡原隼人(第九代)市会議長就任○一三日市社会課、貧困者婦人に製袋の内職を斡旋○この月大阪商船株式会社基隆線の鹿児島寄港を開始○五月三日覺城少年団編成○七日天皇、皇后両陛下下銀婚式、挙行につき市より奉祝のため名産大島紬各一匹宛献上のため東条收入役携帶上京○二二日上野篤助役(第七代)市長就任○三〇日東条彦助收入役死去○この月鹿児島市場、米穀入札法改正、鹿児島県全部を鹿児島連隊区管轄に編入○六月七日人力車同業組合共進会設立○一五日歩兵第四五連隊、満洲駐劄より帰隊○一八日園田長春收入役就任○一〇月鹿児島県庁新築落成、鹿児島共同倉庫設立第一回準硬球庭球大会、鴨池で開催○十一月二五日皇孫

殿下御降誕を祈念して市内小学生一同照国神社で祈願祭を挙行
○この月鹿児島県教育会印刷部設立○二月八日皇孫殿下御降
誕を祝し、緊急市会を招集、満場一致で祝文を捧呈○一二日照
国神社で盛大な奉祝会を開催、学校生徒児童の旗行列を挙行○
この年第一回女子中等学校排球大会

大正一五年、昭和元年（一九二六） 三月三日市内に天然痘患者

蔓延、市衛生組合と警察が協力して徹底的駆除のため、市役所
で緊急会議を開催○四月一二日鹿児島人力車夫組合が組合長排
斥のため警察部長に陳情書を提出○二六日私立鹿児島盲啞学校
鹿児島県立盲啞学校の代用校になる○五月一日全日本鉄道従業
員組合鹿児島支部、鉄道集合所で発会式を開催○二五日平田
鞆負記念祭、義士塔前で挙行○三一日県立第二高等女学校、南
九州女子中等学校排球大会で優勝（於鴨池）○六月一日鹿児島
女子技芸学校、鹿児島高等実践女学校と改称○三〇日鹿児島高
等女学校専攻科認可さる○七月一日市内十ヶ所に市立青年訓練
所設立○二八日沖之村遊廓の娼妓解放への取締規則の改善案警
察本部と楼主側との意見一致○この月七高、五高の野球試合で
両校応援団の紛擾続く○八月西南役で捕えられた薩摩軍二〇余
人の墓が仙台市瑞鳳寺境内で発見○九月九日鹿児島電気軌道株
式会社従業員餓首問題で罷業に突入○二三日東京発下関行一号
列車で帰途についた上野市長、広島地方を襲った豪雨のため安
芸中野、海田市間で列車転覆、同伴の子息もろとも即死、夫人も

重傷○二八日鹿児島県知事泉忍辞任長野幹知事就任○この月大
阪商船株式会社盤谷線鹿児島寄港を開始○一〇月一七日市報徳
会総会を西本願寺本堂で開催○三〇日白男川譲介（第八代）市
長就任○一〇月四日懸賞募集中の市紋章を制定、入選者古川休
助○一七日汎太平洋会議員、市視察のため来鹿○この月船津町
本通り大火、（九棟一三戸焼失）○一二月一二日新工場法実施
に伴って鹿城懇談会発会式を鹿児島署で開催○この月鹿児島
電気株式会社従業員就業時間短縮案について会社側に要求書を
提出○一二月二五日摂政宮裕仁親王踐祚、昭和と改元

昭和二年（一九二七） 一月二八日日本銀行支店誘致のため組合銀

行幹部会を十五銀行支店で開き運動に着手○三一日歩兵第四五
連隊、大正天皇御大葬参列のため出発○二月七日大正天皇大喪
につき奉悼の誠意を捧げる市の遙拝式を午後十一時から照国廟
頭で挙行、同時刻に汽車、電車一斉に一分開停止○一日鹿児
島商工組合連合会設立協議会を商業会議所で開催、白男川市長
鏡原市会議長、内親王殿下御降誕の祝電を送る○二〇日鹿児
島組合銀行の預金利下げ定期五厘その他一厘○二二日第七高等
学校造士館寄宿舎から出火、南寮、西寮全焼○この月の市の物価
前月より低落、卸小売共依然として落調○三月一〇日県立鹿児
島商船学校練習船霧島丸、大吠岬の沖合で遭難○一四日全日本
鉄道従業員組合鹿児島機関庫支部発会式を大正会館で開催○こ
の月鹿児島電気株式会社火災○四月一日木市、南林寺で開催○

二一日金融恐慌いよいよ深刻化、十五銀行休業〇二二日鹿児島組合銀行、全国組合銀行同様二日間臨時休業〇二五日鹿児島組合銀行一斉開店十五銀行再開運動のため商業会議所役員会開催
 〇二八日県下実業団体連合協議会開催、各市町村長参加の上十五銀行再開の陳情書を一致可決〇この月市学務課内に学舎連合会事務所を置く、新屋敷町に私立和洋裁縫学校(現照国商業高等学校家庭科)開校、豊城少年団本部を市役所内に置く〇五月一日鹿児島県知事長野幹辞任、松本学知事就任〇二五日市街地建築物法の施行細則発布、(県令三七号)〇六月二日鹿児島組合銀行総会で、当分の間銀行預金の払戻しは五〇〇円以下に申合せ〇二〇日東京三越で開催中の九州物産陳列会に薩摩焼その他を出陳(七月五日まで)〇二八日鹿児島組合銀行一分乃至三分の減配決行を申合せ〇この月島津忠久公、七〇〇年記念奉告祭を鶴嶺神社で挙行〇八月三日久米田商業会議所副会頭と堀書記長、十五銀行再開運動のため上京〇九月一三日九州沿岸に大津浪襲来〇一四日天文館通り大火〇三〇日県商品陳列場で鹿児島市、商工連合会主催の包装紙、レットル、ポスター等の展覧会を開催(一〇月四日まで)〇この月普通選挙法初の県会議員選挙〇一〇月一六日鹿児島市公会堂落成〇二一日電車整馬場まで延長〇二三日民政党鹿児島支部、市公会堂で発会式を挙行〇二四日西郷南洲翁五〇年祭を照国神社広場で挙行〇この月鹿児島県立図書館落成山下町に移転、米之津、八代間開通

これを鹿児島本線とし、旧鹿児島線を肥薩線と改称〇一月一日尚古集成館、島津家から市に経営を委託〇二四日鹿児島製菓株式会社職工二七三人、待遇改善その他を要求同盟罷業〇この年岩崎ビル竣工、第七高等学校造士館のブルー完成

昭和三年(一九二八)

一月一日鹿児島商業会議所を鹿児島商工会議所と改称〇一日鹿児島県知事松本学辞任、後藤多喜藏知事就任〇一六日第一師範学校火災〇二九日鹿児島高等女学校火災全焼〇二月二九日山階宮常子殿下、藤鷹王殿下、島津家先祖御展墓のため御来鹿〇四月二四日歩兵第四五連隊済南出動のため鹿児島駅を出発〇二八日十五銀行再開〇五月五日天文館通り大火(一〇棟一七戸焼失)〇一四日大久保甲東五〇年祭挙行〇この月大日本紡績鹿児島工場二〇〇名待遇改善を要求して同盟罷業〇六月二三日久邇宮朝融王殿下御来鹿〇七月一日鹿児島電気軌道株式会社が買収、鹿児島市電気局発足、市営電車運行、八日鴨池動物園で祝賀会開催〇一五日県に特別高等警察課新設〇この月帝国軍人後援会鹿児島支部設立〇九月八日山東派遣軍として出動中の歩兵第四五連隊鹿児島に帰還〇この月鹿児島商業銀行、第四百十七銀行と合併〇一〇月二三日県市支庁への御真影伝達式を行い、次いで県市は拝戴式を挙行〇この月鹿児島開港十周年記念祝賀会開催〇一月六日御即位大典を奉祝して献上方請願中の谷山町清見橋畔窰元長太郎焼、御嘉納の旨宮内省より発表〇一日市電気局御大典記念の奉祝花電車運行

一般市民奉祝式を照国神社境内で挙行（参加者三〇〇〇余人）

○一七日白男川讓介（第八代）市長辞表を提出○一九日市会協
議会で、白男川市長の留任勧告を決定○二四日白男川讓介（第
八代）市長辞任○一二月二日歩兵第四五連隊東京代々木練兵場
の大礼観兵式に参列○一四日鹿児島市社会事業協会設立○二〇
日新市庁舎敷地予定の鹿児島専売局山下分工場跡の土地移転交
換問題について高等農林学校の東側、七六〇〇坪を購入して交
換することに臨時市会で可決○二二日照国神社大鳥居建設地鎮
祭を挙行○この年保導委員を方面委員と改称

昭和四年（一九二九）

一月二八日久邇宮邦彦王殿下薨去につき鏡

原市会議長、勝目市長代理弔電を送る○二月一日平之町に火災
（九棟一二戸焼失）○この月株式会社鹿児島県国定教科書特約
販売所設立○三月五日市営電車、柿本寺高見馬場停留所間○・
三三三料の復線工事完了○二四日鏡原単人（第九代）市会議長
辞任○二五日普選第一回目の市会議員選挙○この月鹿児島郡吉
田村に対し学校区廃止、並びに区有財産処分について県当局か
ら相談があつたところ、これに端を發し賛否両派に分れ遂に負
傷者を出す等の紛争となる○四月一日私立鹿児島中学校（現鹿
児島高等学校）開校○五日別府良時（第一〇代）市会議長就任
○一五日鹿児島高等家政女学校開校○二九日昨秋御即位大典の
際表彰の恩命に浴した篤行者の表彰伝達式を市役所で挙行○六
月一七日樺山可也（第九代）市長就任○この月県立工業試験場

改築○七月五日鹿児島県知事後藤多喜藏辞任、山口安憲知事就

任○一一日市営電車、上町線堅馬場、柳町停留所間○・二七三
軒軌道延長○九月樺山市長、上田電気局長年額一〇〇〇〇円の俸
給辞退を田中市会副議長に申出る○一〇月九日原良町、火葬場
設置反対町民大会を開催○一〇日原良町、火葬場設置反対のた
め町会長、町務委員、市長を訪問して反対陳情○一一日原良町
火葬場設置絶対反対のため町民男女三五〇人市長を訪問陳情、
照国神社大鳥居竣工○一五日安達内務大臣、市役所を訪問、整
理緊急について演説○一六日市会議員の手当（日当二円総額
三五〇〇円）全額辞退満場一致で決議（市会）○一一月三

○日鹿児島国粋会組織○二二月二八日市交通課にバス運輸営業
免許認可○三一日市営バス伊敷線他五線営業開始

昭和五年（一九三〇）

一月一日県市商工会議所共催で金輸出解

禁記念国産愛用展覧会を山形屋で開催（一五日まで入場者合計
一二万九〇〇〇人）、別府良時（第一〇代）市会議長辞任○一
五日田中慶次郎（第一一代）市会議長就任○この月県宮住宅新
設○二月一日市内勤労篤行者、産業功労者の表彰式を市役所
で挙行○二〇日第一七回衆議院議員総選挙○この月第四百七十
銀行、薩摩銀行を買収○三月二日初市南泉院馬場で開催（四日
まで）○一〇日日露戦役二五周年陸軍記念式を市公会堂で開
催○この月市内の空家二〇六四軒を越える○四月一日鹿児
島和洋裁縫学校、葉師町に移転、鹿児島女子商業学校（現照国

商業高校(商業科)に併設開校、鹿児島女子実践商業学校開校○この月城山公園自動車道路開さく計画始まる(照国神社東方入口から頂上まで)、塩屋町に洲崎尋常小学校開校○六月一日鹿児島市社会事業協会、南林寺町に鹿児島実費診療所を設置○七月六日園田長春収入役死去○九月県特高課と鹿児島署は協力して鹿児島市在住の左傾分子を一斉検挙五人送検○一〇日県立第二鹿児島中学校本館鉄筋完成、十九日移転○一八日九州大暴風雨、熊本鹿児島で死者一六人、全壊家屋三一六〇戸、流出船舶二五七艘○八月一日伊集院勝吉収入役就任○二四日県市商工会議所共催、内外商品品質対照展覧会を商品陳列所で開催(三日まで)○二七日島津家から借地の鴨池の土地(動物園・運動場)買収のため市は土地売買の契約を島津家代表和田世民と締結○九月一〇日米価大暴落、大豊作で大正六年以来の安値、鹿児島正米一円方崩落○二二日小売白米キロ当り、五厘宛の値下げ断行○二五日天文館に火災(一五棟焼失)○一月鹿児島市献上の明治神宮壁画、明治大帝鹿児島御巡幸の絵巻、山内多門画伯完成、山下町専売局鹿児島製造所、上荒田町に移転、西鹿児島分工場と改称○二月一日南林寺町の恩賜財団済生会診療所竣工○この月城山公園自動車道路開さく計画に対して史跡煙滅その他の理由で、鹿児島高農博物館同志会、大道館、敬天舎並に市内有志、反対の意見書発表、指宿線、西鹿児島五位野間開通

昭和六年(一九三二) 一月七日練習艦隊入港○二〇日城山問題

(城山公園自動車道路開さく計画)で市長、反対者側と現地調査伐採樹木について諒解を求む○二三日城山問題で知事市長協議○二四日城山問題で市内有志者懇談会開催○二五日城山問題実地調査のため文部省より脇水博士来鹿○二月二日市長城山問題の諒解を求める陳情書を文部省に提出○六日市政記者団城山問題賛成の電報を文部省宗教局長宛打電○一日城山問題について文部省史蹟天然記念物保存会で認める、道路開さく工事起工式、工事に在郷軍人一五〇〇人参加○三月七日内親王殿下御降誕を祝して、市会開催奉伺文を捧呈○九日国有地、天保山(四万四四九七坪七合一勺)払下問題で、市会満場一致で可決○一〇日城山公園自動車道路開さく工事竣工、祝賀登山リレーを実施○二五日城山公園一六町歩を天然記念物並に史蹟として指定の申請書を文部省に提出○四月一日鹿児島商工会議所主催、国産振興博覧会、鴨池で開会、五月一五日まで四五日間○八日市交通課、鹿児島乗合自動車株式会社を買収、鼓川線他三線の運転を開始○一九日鹿児島銀行新築落成○二三日寺田屋殉難烈士の七〇年大祭を市公会堂で開催○五月八日県治安維持法違反事件の公判開く○二七日鹿児島市及伊敷、西武田、中郡宇の一部に初の防空演習、燈火管制を実施○六月一日県下失業者四五〇〇余人、生活困窮者一八〇〇余人に達す○二日西条八十作詞中山晋平作曲「鹿児島小唄」「鹿児島夜曲」完成○三日城山を

史蹟天然記念物に、文部省より指定さる○この月放送局設置運動始まる○七月一六日久邇宮朝仁王殿下御来鹿○二八日閑院宮春仁王殿下御来鹿○八月一六日上町方限最初の私設消防組清水小学校庭で出初式を挙行○九月林田乗合自動車株式会社設立○一〇月一六日県教育会館新築落成○二四日鹿児島県知事山口安憲辞任、窪田治輔知事就任○十一月八日閑院宮載仁親王殿下御来鹿○一七日竹田宮恒徳王殿下御来鹿○一九日天皇陛下熊本県下の特別大演習終了後、伊敷練兵場で県下諸団体を御親閲○一二月二三日第四五連隊先発隊満洲に出征○一五日第四五連隊、本隊満洲に出征○一八日鹿児島知事窪田治輔辞任市村慶三知事就任○この年ガスビル、第一〇一ビル竣工、鴨池町の県立病院精神科分院、独立して県立鹿児島保健院と改称

昭和七年（一九三二）

一月三十一日李玉王殿下御来鹿○二月七日大口口附近火災（九棟一戸全焼）○二〇日市役所に怪盗侵入、御真影室の鍵を破壊市長室や秘書室を荒す○この月第四十七銀行、海江田銀行を買収○三月二〇日天保山の松下認可書、大蔵省より熊本稅務監督局經由市長宛到着○四月一日長田町に私立高等商業学校（現鹿児島経済大学）開校、県社会事業協会経営の鹿児島県職業紹介所を市に移管、県、市、商工会議所連名で鹿児島駅拡張改築に関する陳情書を鉄道大臣、門司鉄道局長に提出○一五日塩屋町に火災（九棟一四戸全焼）○一六日鹿児島実費診療所、南林寺公園南北隅に新築移転○この月商品陳列所

年表

を鹿児島県商工奨励館と改称、天保山護岸工事着工○五月二三日防空演習燈火管制を実施○二五日平田靱負一八〇年祭を城山下の記念碑前で開催○六月一日中券料亭街に大火（料亭住友、春本以下一〇棟一四戸全焼）○二日天文館通り帝国館、同姉妹館、富士館の両常設館樂土、弁士二名争議に突入○二八日帝国館、富士館争議団員四九名は富士館を占拠、鹿児島警察署全員を檢束○七月一日日満親善のため満洲国協和会代表使節及び満洲青年連盟代表来鹿○八月市の禁酒同盟運動に対して酒造業者の反対運動起り、官憲の援助は正当營業権の妨害と知事に陳情書を提出○九月三日第一艦隊四四隻入港○一〇月二七日樺山可也（第九代）市長死去○この月鹿児島県繭檢定所設立○一月七日鹿児島地方検事局の指揮で県下左翼分子八〇人を一斉檢挙○二五日黒江軍太郎助就任○この年山形屋七階建完成、日豊線全通

昭和八年（一九三三）

一月三日都市計画鹿児島地方委員会開催二五公園設定の原案を可決○二五日在満出動将士の慰問金、一戸当り二〇銭の募集を締切る○三月二五日鹿児島プロレタリア作家同盟「黒土」「南風」「魔城映画」の同人、七人治安維持法並に出版物法違反で送局、市会議員選挙○二九日東伏見宮殿下御来鹿○四月一二日鹿児島国防協会発会式に梨本宮守正王殿下御台臨○六月一三日岩元禧（第一〇代）市長就任○一八日沖之村常盤樓の娼妓、樓主及び仲居に対する不満から争議○八月

九三七

一日鹿児島地方専売局、製造工場従業員に実労働八時間制を實施○二四日市附近に飛行場設置の促進運動協議会を鶴鳴館で開催○九月北鮮・鹿児島・台湾間航路に大阪商船株式会社の河南丸就航○一〇月二七日鹿児島貿易協会発会式○十一月四日鹿児島観光協会発会祝賀会を鴨池動物園で開催○七日火葬場問題紛糾し、原良町民絶対反対をとなえて三〇〇人市役所に陳情○この月明治天皇行幸所磯島津別邸、集成館、異人館及び船形台場史蹟に指定○二月九日伯爵山本権兵衛死去、八一才○一二日鹿児島測候所改築落成○二五日練習艦盤手、浅間、海軍候補生を乗せて入港

昭和九年（一九三四） 一月一日近海汽船株式会社の千歳丸、鹿児島、長崎經由大連間の定期航路を開始、毎月三回就航○二月一日市内タクシー料金五〇銭均一に値下げ○この月城山の裏道からの登山道路開さくの与論起る○三月天保山護岸工事竣工、第二師範学校廃止、加治屋町に火災（六棟一戸、一工場全焼）○四月一日鴨池町に聖名高等女学校（現純心女子高校）開校○一八日連合艦隊入港、高松宮宣仁親王殿下御上陸市内御巡覽○この月物産販売幹旋所を商工奨励館内に設置○五月一日日鄭滿洲国総理大臣一行来鹿○二四日鹿児島港修築工事竣工式を朝日通り下埋立地新岸壁で挙行（二二〇米の岸壁その他、重要施設三〇〇万円の工費、工期一一年）○二九日元帥海軍大將従一位大勲位功一級侯爵東郷平八郎危篤、県市共催で照国神社で

平癒祈願祭を執行○三〇日東郷平八郎死去、八八歳（六月五日国葬）○六月一四日県、市では東郷元帥墓地選定協議会を開催多賀山に決定○二五日花崗岩組員五〇人、親組合鹿児島石材組合に対し賃金値上げの同盟罷業、鹿児島土工組合員二〇〇人も合流○この月東郷元帥の遺髪を鹿児島に埋葬の通知に接し、岩元市長、田中市会議長上京○七月二日多賀山の東郷元帥墓所の地鎮祭を執行○八月一日鹿児島市第三次編入（中郡宇村、西武田村、吉野村）、（面積累計七八・二五平方キロメートル、人口累計一七万六九〇〇人、人口密度一平方キロメートル当り二二六一人、市議五名増四一名）○七日鴨池劇場（四七〇坪）火災○この月鹿児島市立厚生所設置○九月一八日城山自動車道路開さく工事起工式（岩崎谷から草牟田墓地上まで一二六六米の改修工事）○二四日祇園洲官軍墓地の丁丑役官軍戦没者（一二〇〇余人）慰霊祭を開催○二七日市庁舎敷地、山下町専売局分工場跡に決定○一〇月二日第一棧橋通り火災（四五戸全焼）○一二月指宿線指宿まで開通○この年天保山町誕生

昭和一〇年（一九三五） 一月一日知事市村慶三転任、早川三郎知事就任○三一日県立男子師範学校寄宿舎火災（全焼）○二月二八日東郷平八郎元帥の多賀山墓地竣工○三月一日第二艦隊入港○この月県警察部特高課、県下の新聞、雑誌、パンフレットの一斉取締を実施、県立鴨池種畜場竣工○四月一日ラジオ聴取料金五〇銭に値下げ、東京に県史編さん事務所開設、実業補修

学校教員養成所を県立青年学校教員養成所と改称○一七日天保山橋起工式（一月三日渡初式）○この月鹿兒島警察署、今秋挙行の大演習を前に、前科者の検挙、浮浪者の取締、詐欺や窃盗の一斉捜査を開始、満洲国少年団来鹿、甕城少年団と交歓会開催○五月鹿兒島県、特産販売所東京支所開設○六月二四日第二鹿兒島診療所開設○七月一五日八幡女子青年団発团式举行○九月八日通相床次竹二郎死去七〇歳○九日大演習に当り光栄の献上品、大島紬ほか九種の謹製者決定、並に奉唱する一般奉迎歌（県立加治木工業学校教諭浅川求）及び御親閲奉迎歌（県立女子師範学校本科二部二年生姫野愛子）の入選決定○一〇日西郷南洲翁五〇年祭奉賛会を開催、市庁舎隣に銅像建設を決定○二八日県立第一高等女学校鉄筋コンクリート校舎（現中央高校）竣工○一〇月一六日床次竹二郎の県民葬を山下尋常小学校々庭で施行○二六日鹿兒島放送局、電波放送開始○三〇日故元帥陸軍大将公爵大山巖の誕生地記念碑除幕式○十一月一日閑院宮載仁親王殿下庁における赤十字社軍人後援会へ御台臨、市の第一焼却炉（田上町前ヶ迫）第二焼却炉（吉野町坂元）落成、火入式を举行○三日中央卸売市場開業式を举行、四日から事業開始、天保山橋竣工、渡り初式○六日海軍大将伯爵樺山資紀の記念碑除幕式を高見橋畔で举行（題字は島津忠重公）○八日陸軍特別大演習御統監のため軍艦比叡に御座乗の大元帥陛下鹿兒島御上陸、大本営（現中央高校）に入御、梨本宮守正王殿下、朝

香宮鳩彦王殿下、李健公殿下御来鹿○一〇日大元帥陛下陸軍特別大演習軍人野外統監部臨御、鹿兒島神宮御親拝○一日高松宮宣仁親王殿下御来鹿○二三日陸軍特別大演習觀兵式を都城飛行場で举行○一五五大元帥陛下鹿兒島行幸、一六日、霧島神宮御親拝、一七日県庁に行幸、一八日吾平山陵御親拝○一八日大元帥陛下御召艦比叡に御座乗、鹿兒島御発港○二八日親王殿下御降誕を祝し早川知事並に岩元市長、天機並に御機嫌奉伺の奉賀電報を送る○一二月一日鹿兒島駅前を観光案内所設置○四日親王殿下御降誕奉祝会を官民合同で照国神社境内で開催○二六日月照上人遷化の記念碑、三船に建立（題字近衛文麿公爵）○二七日山下町市庁舎入札を参事会室で行ない、大倉土木株式会社に落札（四六万七七八〇円）、樋ノ口町に火災（四〇戸全焼）○二八日県下請負業者、市庁舎入札問題について除外されたため市長に警告文を提出○この月県立第一高等女学校、新校舎に移転

昭和十一年（一九三六） 一月四日武町宮田通り踏切りで田上及び西駅前発の市営バスと汽車三重衝突、重軽傷者七名○一日市交通課定期遊覧バスの運転を開始○この月市庁舎入札問題及び大演習予算剰余金で自動車購入の件につき各議員当局側を追究（市会）○二七日岩元福（第一〇代）市長辞任○二八日市長辞任に伴い、市長代理勝目清助役を告示○二九日勝目清助役辞表を提出○二月一日新市庁舎建設工事の地鎮祭を举行○一九日

第二艦隊一五隻入港〇二八日勝目清助役辞任〇三月一二日易居町大火(二〇戸焼失)〇二五日指宿線山川まで開通、照国神社境内で祝賀会举行〇二七日市会議員補欠選挙(五名欠員)〇四月一日鹿児島商弘銀行、第四百七十七銀行と合併〇一四日田中慶次郎(第一一代)市会議長辞任、中馬新之助(第一二代)市会議長就任〇二二日鹿児島県知事早川三郎辞任、中村安次郎知事就任〇二九日中央卸売市場落成〇五月二日山下小学校火災(二階建八教室全焼)〇六日第一艦隊旗艦長門ほか三六隻入港〇一日鴨池野球場スタンド崩壊、死傷者二〇数人(一名死亡、三名重傷)〇一二日英国軍艦二隻入港〇二〇日鹿児島市会議員補欠選挙(一名欠員)〇三〇日伊集院勝吉収入役辞任〇三一日川上親敏収入役就任〇六月二日中馬新之助(第一二代)市会議長辞任〇四日市職業紹介所、山下町専売局跡に新築事務開始〇六日前之園喜三郎(第一三代)市会議長就任〇二五日県立鹿児島盲啞学校、草牟田町に新築移転〇三〇日前之園喜一郎(第一三代)市会議長辞任〇七月一日江口光雄(第一四代)市会議長就任〇四日飛行場建設促進期成同盟会発足、会長中村県知事〇一〇日薬師町に保護寮開設、定員一五人〇一二日伊地知四郎(第一一代)市長就任〇二二日鎌田精市助役就任〇二二日台風襲来〇八月一〇日鴨池公園に白亜の野外劇場竣工〇三〇日鹿児島市防護団結成式を照国神社境内で举行、参加三〇〇〇人〇九月二六日英国軍艦五隻入港〇三〇日軍官民の親睦機関、水曜会の

発会式举行〇この月桂庵之墓、南喃文之墓史蹟に指定〇一〇月一日鹿児島貯金支局開設〇一月六日市政関係物故者慰霊祭を公会堂で開催〇二三日高島屋竣工開業〇二四日黒江軍太郎助役辞任

昭和二年(一九三七)

一月三一日市交通課、バス運転手、女車掌二〇人不正事件のため一斉誠首、更に二月一日一七人譴責処分〇この月鴨池の結核療養所海浜院、他に移転を市長から本部へ陳情〇二月一日鹿児島電気会社、各種電灯料引下げ実施〇一六日第一艦隊三六隻入港〇この月市宮火葬場唐湊基地内に決定〇三月四日市で初の停止線を天文館通りに設定〇九日第二艦隊二隻入港〇二四日江口光雄(第一四代)市会議長を辞任〇二五日市会議員選挙〇この月国防婦人会鹿児島支部設立〇四月一日市文書課議事係から市会事務局を創設(専門書記一人、武尋常小学校開校、県立青年学校教員養成所を鹿児島郡伊敷村に移転、市立天保山商工学校、市立鹿児島高等実修女学校開校〇五日山元玄十郎(第一五代)市会議長就任〇二九日鹿児島製氷株式会社、日本水産株式会社に譲渡合併〇五月一〇日天文館に火災(二五戸全半焼)〇二二日第一回商工祭開催〇二三日陸軍大将礼装の南洲翁銅像(安藤照作)除幕式を举行、照国神社境内で竣工記念祝賀会を開催〇二四日鹿児島駅専用側線、中央卸売市場まで延長、敷設の件門司鉄道局長より承認〇二七日浜町吉見鉄工場、事務員職工の対立抗争により罷業〇三〇日市は海浜院

の移転問題を再び県支部と交渉に決定○この月鹿児島商工振興会結成七高造土館、鉄筋二階建の本館完成、結核療養所海浜院現位置(鴨池町)に決定○六月一五日山下町に新市庁舎竣工○二六日防空演習の準備打合せを公会堂で開催○二八日南洲翁銅像、奉賛会から市に移官○七月一五日中国膺懲市民大会を公会堂で開催市庁舎竣工祭を挙行、一六日移転開始(一六日～一九日)一九日新庁舎で執務開始○一九日市庁屋上から毎日七時、一二時、一七時、の三回サイレンを吹鳴、市吏員奉迎して新庁舎へ御真影を奉還○二一日時局重大のため市の執務時間、暑中休暇中正午までを当分午後二時まで延長○二四、二五日参観のため新市庁舎を一般に開放○この月三婦人会献金募集を開始○八月六日山元玄十郎(第一五代)市会議長辞任○一〇日市会議員欠員に伴う繰上げ当選者決定○一三日仲町火災(五八戸全半焼)○一五日中午直一(第一六代)市会議長就任○一八日神田部隊勇躍出征○二〇日日華事変勃発により第一鹿児島監視哨を市庁舎屋上に設置○一〇月一日鹿児島貯金支局開局○一八日国際正義(日独伊防共強化)全九州大会を公会堂で開催○二八日県市商工会議所共催上海大場鎮戦勝祝賀提灯行列を挙行○一二月一一日県市共催日独伊防共協定成立及び戦勝の祝賀旗行列(女子中学校、小学生二万人)夜は県市商工会議所共催の提灯行列○二一日第七高等学校造士館生徒に長髪禁止令○一二月一日鹿児島電気会社、各種電気料金の二回目引下げ実施○一一

日市長南京陥落を祝し天機奉伺の電報を送る、県市商工会議所共催祝賀提灯行列○この年桜島熔岩道路完成、無尽会社(現旭相互銀行)竣工、日華事変勃発に伴い、応召下士官兵の家族の水道料金の減免を実施

昭和十三年(一九三八)

一月三十一日応召軍人家族に対する租税減免の申告を締切る○二月四日八幡小学校火災(四〇坪焼失)○五日銃後の護り決意要望のため、県立図書館で本県市町村長会を開催○八日第二艦隊入港(二二日出港)○三月一日下荒田町の社団法人鹿児島県授産社内に鹿児島市軍人遺家族授産所を設置○二日第一艦隊入港(六日出港)○五日郡元町境ヶ浜で鹿児島飛行場の起工式を挙行(東京港湾工業株式会社請負九〇万二〇〇〇円)○九日神戸市三越百貨店で鹿児島物産の宣伝即売会及び観光の宣伝会を開催(一四日まで)○一九日市人材抜擢の特別任用の第一次試験を市尋常小学校で実施○四月一日鹿宮、沖三県下統轄の鹿児島地方海軍人事部の始業式を鹿児島無尽ビル三階の仮庁舎で挙行、鹿児島集成工学校開校○五日軍艦羽黒入港(八日出港)○一七日市正庁で自治制発布五〇周年記念遙拝式を挙行○二三日久邇宮大妃殿下御来鹿○二四日鹿児島陸軍病院、県庁へ御成り○二九日自治制発布五〇周年記念鹿児島市勢展覧会を高島屋で開催(六月五日まで)○五月三日唐湊市営火葬場落成火入式四日事務開始○六日唐湊城山両墓地新設○八日市営バス木炭車の運転を開始○一〇日市では自治制五〇周

年記念式及び表彰式を教育会館で挙行○二〇日県市商工会議所共催、徐州陥落祝賀提灯行列○二六日市尋常小学校火災（旧校舎全焼損害八万円）○二九日市庁舎落成式と自治制発布五〇周年記念式典及び慰霊祭を挙行○六月一六日歴史記念館の地鎮祭を挙行○二一日鹿兒島市報国貯金対策協議会を公会堂で開催○二四日鹿兒島県知事村安次郎辞任、藏重久知事就任○二八日明治天皇行幸所磯島津別邸、集成館はさきに文部省より史蹟の指定を受けたが、更に異人館を追加指定○この月白米店頭から消え、七分搗と胚芽米が登場、市社会課内に出征軍人及び軍属の遺家族相談所を設置○七月一日市営職業紹介所、国営に移管○七日日華事変一周年を迎え、県市合同、皇軍将士武運長久祈願祭を照国神社で挙行○九日市内各学校及び市庁で勅語奉読式を挙行○八月遺家族後援会結成○九月二四日京城府三中井百貨店で鹿兒島物産宣伝即売会を開催（二八日まで）○二五日宇宿墓地新設○一〇月一日鹿兒島市役所特設防護分団と名山防護分団協力で総合訓練を実施○三日軍人援護後援事業に対し勅語を賜う○一一日山之口町に火災（七棟一戸焼失）○一五日台風襲来、死者二七七人行方不明一七七人家屋全半壊二四五三戸（県内）○二三日県、市、商工会議所共催、広東入城祝賀旗行列及び提灯行列を挙行○二八日市長、漢口陥落を祝し畑中支派遣軍最高指揮官その他に祝電を送る、県市商工会議所共催漢口陥落奉祝提灯行列挙行○ヒットラーユーゲント一行三一人来

鹿、二七日磯島津別邸で、県市主催の午餐会を開催（二九日離鹿）○一月一九日鹿兒島、名瀬間無線電話開通○この年幼年学校跡、造士館跡、赤倉病院跡、与次郎ヶ浜、鴨池の五か所に史蹟名勝頭彰碑を建設

昭和十四年（一九三九）二月一日県、市、商工会議所共催、代

用品展覧会を商工奨励館で開催（二五日まで）○一七日第一艦隊入港（二一日出港）○二〇日天文館通りに火災（三棟一三戸焼失）○三月二一日高松宮殿下御来鹿、市より長太郎焼花瓶を献上○この月第二次鹿兒島港修築工事竣工○四月一日鹿兒島県護国神社を指定護国神社とする○一三日第二艦隊入港（一六日出港）○一七日鹿兒島県知事藏重久辞任、藤野恵知事就任○五月四日西千石町に火災（一八戸焼失）○九日浄光明寺境内南洲翁墓前で東京市寄進の常夜灯の竣工式を挙行○二七日城山公園七高上の登山道改修記念碑竣工○六月一七日城山展望所に電話新設○一九日朝香宮鳩彦王殿下御来鹿、市より長太郎焼花瓶を献上○この月紀元二六〇〇年鹿兒島県奉祝会設立○七月二二日軍艦長鯨入港（一三日出港）○二五日市役所特設自衛団の消火演習○この月市内実業家藤武喜助、田之浦公園を市に寄附、全日本防空協会鹿兒島県支部設立○八月四日県で初の国民徴用令の出頭要求書送達○一二日暴米英膺懲の第二回県民大会を市公会堂で開催○一八日鹿兒島県立商船学校、国立に移管○二一日鹿兒島郵便局で日華事変国債の売出開始○二二日興亜奉

公日における市の実践事項及び興亜奉公班結成についての打合会を開催○この月鹿児島県産業報国会設立○九月一日鹿児島職業紹介所経営による機械工短期養成所を開設○一三日草牟田町の鹿児島県傷痍軍人職業補導所竣工○二九日市の皇紀二六〇〇年記念事業委員会を開催○三〇日城山公園及び偉人誕生地へ建札並に指導標三八本建立○一〇月五日鹿児島港拡張問題について市港湾調査委員会を開催○七日鹿児島市歴史館竣工（二九年七月一日、市立美術館となる）○一六日台風襲来、死者九人負傷者一〇人、行方不明一〇人、家屋全半壊九一二戸（県内）○二〇日東京高島屋で、鹿児島物産の宣伝販売会を開催○二四日中座通り火災（劇場等一二戸焼失）○一二月一日日南林寺、軍馬慰霊碑合祀祭挙行○この年青年塾堂、上竜尾町に開設

昭和十五年（一九四〇）

一月三日日国分高女教諭池上喜一作詞、

佐世保海軍々楽隊作曲の鹿児島青年歌、鹿児島放送局から放送○この月鹿児島県経済協議会発足○二月一日紀元二六〇〇年鹿児島県奉祝会を高千穂峰古宮趾で挙行○二八日第一艦隊入港○三月八日第二艦隊入港○一五日メーター制による市内タクシー料金一五〇〇米まで五〇銭に決定○二八日鳥越配水池竣工記念除幕式○この月料理屋、カフェーの、営業時間の短縮実施○四月一日鹿児島市立中学校、（現玉竜高校）創設、私立鶴嶺高等女学校市に移管、鹿児島市立高等女学校開校、天保山高等小学校の名称を廃止、同所に八幡尋常小学校を移転、鹿児島実業

療所を市に移管○一二日久邇宮朝融王殿下御来鹿、市より霧島焼花瓶その他を献上○一八日駆逐艦入港○五月一日南林寺に火災（四一戸焼失）○五日銃後国民精神振興健康増進のため桜島登山を実施○一四日東久邇宮稔彦王殿下御来鹿、市より霧島焼花瓶その他を献上○この月鹿児島台湾定期航路スラバヤ丸就航○六月九日鹿児島地方海軍人事部、山下町に新庁舎竣工移転○七月一日鹿児島税関支署、鹿児島駅出張所設置○七日鴨池総合運動場竣工○一日伊地知四郎（第一代）市長辞任○一九日久米成夫（第二代）市長就任○二〇日鎌田精一助役辞任○八月六日市役所内防空防火訓練を実施○二三日鹿児島県知事藤野恵辞任、新居善太郎知事就任○一四日大阪市高島屋で「肇国の聖地、鹿児島展」を開催○一六日県精動本部幹事会を開催、食糧報国強調日を設定、毎日曜日及び興亜奉公日に食堂、旅館等食物販売業者の米食提供を禁止○二〇日前田慎吾助役就任○この月唐湊温泉街に火災（一一棟、八戸焼失）○九月一日台風襲来、死者二〇人、負傷者一九人、家屋全半壊九四七九戸○二五日日市立小学校、青年学校長会議で電車通学を禁止、但し男子四料、女子三料以内○一〇月五日照宮成子内親王殿下御来鹿○一三日日独伊三国条約締結を祝して、照国神社境内で県民大会を開催○二七日朝香宮鳩彦王殿下軍事視察のため御来鹿○三〇日日市役所で教育勅語渙発五〇周年の奉読式を挙行○この月市職員月俸一五〇円以下の者に扶養家族手当二円宛（但し五人ま

で)を支給、節米運動の強化により県菓子工業組合連合会でカ
 ルカン並にカルカン饅頭の製造を中止、鹿兒島県商業報国会設
 立○一月四日市冷水町の大道大將誕生記念碑の寄付を採納○
 一〇日紀元二六〇〇年奉祝式典を挙行(県奉祝会総裁公爵島
 津忠承)市内各神社に参列玉串料を供進○一七日第七高等学校
 造士館「報国団」結成○一九日賀陽宮恒憲王殿下、同妃殿下御
 来鹿○二〇日大政翼賛会鹿兒島県支部常任委員一名決定、
 (新居知事、今給黎誠吉、伊木壮五郎、岩元禮、伊地知四郎、中
 馬猪之吉、春日八郎兵衛、南郷武夫、上野喜左衛門、前田慶吉
 坂口壮介)○二月八日大政翼賛会、鹿兒島県支部役員決定、
 (理事一〇人、顧問二三人、参与二七人)○この年県人力車協
 会発足、奢侈品等製造販売制限規則に基き、料理屋、食堂など
 の一般料理の販売価格を制限、商工会議所、時局に鑑み市内商
 店の閉店時刻を一月から二月まで一時間繰上げること厚生
 省に答申

昭和十六年(一九四一) 一月二五日県生鮮魚介類の最高販売価格
 を指定○二八日市、町内会隣組誕生○二九日竹田宮恒徳王殿下
 御来鹿○三〇日軍艦朝日入港○この月恩給金庫鹿兒島支店、六
 日町に移転、国民職業紹介所を国民職業指導所に改称○二月五
 日第二艦隊入港○三月二九日大政翼賛会鹿兒島県支部結成式を
 市公会堂で開催(参加者三〇〇余人)○この月鹿兒島県物産販
 売幹旋所天津支所廃止、県陸稲の害虫駆除のため煙草の吸がら

回収運動並に全県民を動員して食糧増産節米運動を開始○四月
 三日防空演習中、午後七時四〇分市吏員の非常呼集を行ない市
 長より訓示○五日日本郵船、賀茂丸鹿兒島寄港を機として、南
 進基地発展と協力のため市長より基隆、高雄両市長にメッセー
 ジを送る○七日市、正庁で市政関係物故者慰霊祭○一七日県、
 蔬菜及び果実の最高販売価格を指定○五月八日市、皇后陛下御
 下賜品伝達式を挙行○一〇日市、大阪朝日新聞社主催の優良隣
 組表彰旗伝達式を挙行○一二日市常会誕生○この月市商工課内
 に商工相談所を開設、県青年団結成○六月九日第七高等学校造
 士館の神戸選手鴨池球場で最初の柵越本塁打を記録○二三日閑
 院宮春仁王殿下御来鹿、市より竹製品虫籠を献上○二六日高松
 宮宣仁親王殿下御来鹿、市より薩摩焼花瓶を献上○この月市で
 は慰問用として現品入荷の都度該当者へ配給○七月二四日久邇
 宮邦彦王殿下御来鹿、市より竹製電気スタンドその他を献上○
 この月市に有料ガイド登場、大阪商船株式会社、大阪鹿兒島乙
 便廃止、市商工課、幽霊人口一掃のため砂糖購入券の再調査を
 開始○八月燃料節約のため市内バスの運転時間を縮少、私立聖
 名高等女学校を私立鹿兒島純心高等女学校と改称○一〇月一日
 台風襲来、死者三人、負傷者四人、家屋全半壊三七九戸(県内)
 ○二〇日鹿兒島県知事新居善太郎辞任、薄田美朝知事就任○
 この月一元的配給を期して県酒販株式会社創立、燈火用石油を
 市内二八一軒の無電灯家屋に切符制配給○十一月一日金属類の

特別回収及び銅像の回収運動開始○この月県年末賞与の国債支給について各方面に通連○二三日市会議員補欠選挙○一二月一日鹿兒島銀行、鹿兒島勤儉銀行を吸収、市、対米英宣戦布告に対する大詔奉読式を挙行○一六日市役所執務時間午後四時までを五時まで延長○二一日宣戦布告奉告祭勅使を霧島神宮、鹿兒島神宮、照国神社、新田神社、枚聞神社に御差遣○三一日市役所、時局柄休暇を返上、本日御用納め○この月焼酎の切符制配給実施○この年発明協会鹿兒島支部発足

昭和一七年（一九四二）

一月二四日市翼賛壮年団の結成式を照国

神社境内で挙行（参加者二二六〇余人）○二月一日鹿兒島朝日新聞、鹿兒島日報と改称○一八日シンガポール陥落戦勝祝賀会を照国神社境内で開催、市役所中庭で西部二四部隊生存者四〇〇余名の勲章伝達式を挙行○この月鹿兒島県翼賛壮年団結成○三月三一日内閣総理大臣東条英機来鹿○この月財団法人大日本体育会鹿兒島県支部設立、大日本学徒体育振興会鹿兒島支部設立○四月八日真珠湾特別攻撃隊員（鹿兒島市出身横山少佐を含む）海軍合同葬○一四日市内一円の大きな隣組を結成、発会式を挙行○一八日午後四時二〇分、六時三〇分空襲警報発令、市長以下全職員登庁○この月大日本婦人会鹿兒島支部設立○五月八日真珠湾攻撃隊員横山正治少佐の当選歌発表（一等当選川辺郡知覧町芳賀武、作曲コロムビア専属古関祐而）○この月大阪商船株式会社、大阪鹿兒島線を関西汽船株式会社に移譲○

六月一日市会議員選挙○二五日交通課定期遊覧バスの運転を中止○七月一日鹿兒島県地方事務所設置（鹿兒島市他九箇所）

○八月二七日台風襲来（高潮を伴う）死者五一人、負傷者三〇二人、行方不明八人、家屋全半壊四万二六二二戸（県内）○三一日三笠宮崇仁親王殿下御来鹿○この月家庭用石けん、パンの切符制実施、県、各高等女学校へ外国語を廃止し、実業科農業を履修するよう通牒○九月一八日市役所内防空訓練を実施○この月豆腐、肉類の切符制実施○一〇月一日市、風水害罹災者に御下賜金伝達式を挙行○二八日朝香宮鳩彦殿下御来鹿○一月二八日兵制七〇年記念式と表彰式を挙行○この月魚類、野菜鶏卵の登録配給制実施、加納知事頌徳碑除幕式○一月八日市役所で戦没職員の慰霊祭を挙行○この月大阪商船株式会社鹿兒島西之表線開設

昭和一八年（一九四三）

一月七日市で故海軍少佐横山正治の勲章

伝達式を挙行○この月鹿兒島県労務報国会設立、鹿兒島県食糧営団設立○二月一日防衛司令官東久瀨宮稔彦王殿下御来鹿、一六日市役所にお成り、貴賓室において市長、市の防空関係について御説明○二四日鴨池遊園地で軍用保護馬購買を実施○三月六日市会議員欠員のため繰上げ当選決定○四月一日鹿兒島海軍航空隊、陸上競技場を土曜日の午後及び日曜日を除く外、全隊練習生の練習場として使用、日本銀行鹿兒島支店開店、鹿兒島県立鹿兒島医学専門学校を山下町に開校、同附属病院を設置

し、県立鹿児島病院を廃止、財団法人鹿児島県社会事業協会保健婦養成所を県に移管し、鹿児島県立保健婦養成所を開設、県立男子師範学校及び女子師範学校を改めて、鹿児島師範学校を官立の高等教育機関に昇格○二〇日連合航空隊司令官久邇宮朝融王殿下御来鹿○二二日鹿児島県知事薄田美朝辞任、柴山博知事就任○五月一日鴨池野球場も陸上競技場同様、鹿児島海軍航空隊の練習場となる○三日市会議員欠員のため繰上げ当選決定○三〇日郷土の勤王家顕彰のため翼賛会県支部顕彰委員会発足○六月五日市役所で故山本五十六元帥の国葬日に当り遙拝式を挙行○二三日久邇宮朝融王殿下御来鹿○三〇日市役所中庭で応召銅像の壮行会を挙行○七月日本百貨店組合鹿児島支部、商品の米英敵性語を一扫○八月一日薪炭の配給統制実施○一二日市に防空課を新設、課長以下一〇人の職員を配置○二〇日台風襲来、死者六人、負傷者二人、家屋全半壊四五六戸(県内)○この月市商政課内に配給相談所を設置○九月一三日鴨池遊園地で軍用犬の購買を実施○二〇日台風襲来、死者三二人、負傷者三八人、家屋全半壊八八五三戸(県内)○一〇月五日鹿児島軍司令部より鴨池動物園に防空対策上猛獣処理を指令○六、三一日鴨池動物園の猛獣処理を執行○この月島津斉彬、島津久光、島津忠義三公銅像の応召決定○十一月一日久邇宮朝融王殿下御来鹿○二八日賀陽宮美智子女王殿下御来鹿○この月鹿児島県産業奨励館、東京、大阪、門司、台湾等事務所廃止○一二月一日勝負

助役就任○二四日市内の医師、歯科医師、薬剤師、看護婦、保健婦、産婆で鹿児島市救護隊を結成、照国神社境内で結成式を挙行、洋画家藤島武二死去(七七歳)

昭和一九年(一九四四)

一月二〇日国家的要請に応じて県女子勤

労働員管理要綱決定○この月実業家岩崎与八郎、鹿児島高等工業学校創設資金として一〇〇万円を県に寄付○二月一日鹿児島興業銀行(鹿児島貯蓄銀行、鹿児島銀行、第四百七十七銀行合併)市金庫事務の取扱いを開始○六日垂水港で第六垂水丸転覆沈没、本市出身遭難者三八名○この月県下各女学校の挺身隊、軍需工場へ出動し始める、県下の料理屋、カフェー等全部休業○三月一日鹿児島日報社募集の鹿児島海軍航空隊の歌、茨城県の関根總一入選○四月一日市立商業学校を市立工業学校に転換、市立女子商業学校設立、鹿児島高等商業学校は鹿児島経済専門学校と改称、県立青年学校教員養成所を官立の高等教育機関に昇格、鹿児島青年師範学校と改称○一日鹿児島高等農林学校を鹿児島農林専門学校と改称○一九日照国神社境内三公銅像供出壮行式(但し供出遅延で終戦となる)○この月鹿児島集成工学校、軍需工場に転換、新衣料切符各家庭に配布○五月一六日軍、官、民連合防衛訓練を実施○二八日軍の要請で、歴史館は広島陸軍被服廠支所鹿児島出張所となる○三〇日川上親敏収入役辞任○六月一六日米軍機B二九北九州初空襲○三一日中村栄蔵収入役就任○七月一八日久米成夫(第一二代)市長退任○

一九日吉野高原陸軍演習地内で防空実演を実施○この月魚の一元化配給に伴い輸送に市営バス使用○八月十七日岩切重雄（第一三代）市長就任○一九日前田慎吾助役辞任○二日沖繩本土疎開船対馬丸、悪石島近海で米潜水艦の攻撃を受け沈没、一六〇〇余人（内学童七〇〇人）中生存者一般人一六八人、学童五九人○二三日沖繩本土疎開船第一陣八三〇〇人鹿児島港上陸（老人、子供）○三〇日米山恒治助役就任○三一日中村栄蔵収入役辞任○この月県立第一高等女学校、三階と二階の一部、広島陸軍被服廠鹿児島第一学校工場となる○九月十五日照国神社横から新照院町電車停留所に抜ける大防空壕の起工式を挙行○二四日吉野町西別府西郷南洲翁屋敷の記念碑除幕式○一〇月一〇日米軍機奄美大島名瀬町、天城村、浅間初空襲○この月船津町に火災（三二戸焼失）、山下町に県立鹿児島保健所創設○一〇月一六日鹿児島市疎開勸奨協力会結成○一七日田上精市収入役就任○一二月一二日桜島熔岩道路省営バス開通○一五日鹿児島郵便局電話課が独立し、鹿児島電話局設置○この年市庁舎、黒の迷彩色に塗り替える

昭和二〇年（一九四五） 一月一日米軍機B二九、一機午前九時本県上空を北上通過偵察○一五日坊之津沖で日本軍輸送船馬來丸敵潜水艦の攻撃により沈没、約二〇〇〇人中生存者三〇〇〇余人○二月九日鹿児島市内の各中学校生徒愛知県半田市の軍需工場に動員○二四日岩切市長、硫黄島における皇軍の善戦力闘に

年表

対し、感謝の電報を送る○三月一八日米軍機、鹿児島市に侵入郡元町海軍航空隊被災、死者六人、負傷者五九人○四月一日鹿児島県立工業専門学校開校○七日沖繩戦出動の日本艦隊（戦艦大和等）県下坊の岬九〇湮沖合で壊滅○八日米軍機、鹿児島市第二次大空襲、田上町、上荒田町、平之町、加治屋町、東千石町、新照院町に大型爆弾を投下、死者五八七人、負傷者四二二人○一日鹿児島市立診療所を鹿児島市立病院と改称、第七高等学校造士館学生一〇六人長崎市の軍需工場に動員○一五日鹿児島盲啞学校閉鎖○二日鹿児島県知事柴山博辞任、拓植文雄知事就任、米軍機鹿児島市第三次大空襲、長田町、山下町、東千石町、山之口町、樋之口町、平之町、城山トンネル入口に爆弾を投下○この月県立履正中学校（夜間課程）県立第一鹿児島中学校に併設○五月二日米軍機鹿児島市第四次（初の）夜間空襲○六月四日勝目清助役辞任○五日鹿児島市義勇隊結成式を照国神社境内で挙行（本部長拓植県知事）鹿児島市役所義勇隊結成式を挙行（隊長米山助役）○一七日米軍機鹿児島市第五次大空襲、市内一円に焼夷弾を投下、死者二二一六人、負傷者三五〇〇人、川内市初空襲、市交通課、焼夷弾爆撃で電車六二輛中二七輛焼失、バス四五輛中四二輛焼失、その他主要施設壊滅し、自動車営業を中止○二二日沖繩守備軍全滅、数万の現地民も犠牲となる。最高指揮官牛島満中将（鹿児島市出身）長勇少将自刃○この月本土決戦をめざして鹿児島県学徒隊発足○

九四七

七月二一日剣道、柔道、射撃、弓道、薙刀等の有段者八〇〇人と狩猟家四〇〇〇人で鹿児島振武隊を結成〇二七日米軍機鹿児島市第六次空襲、鹿児島駅、車町、恵美須町、柳町、和泉屋町を爆撃、死者四二〇人、負傷者六五〇人〇二九日空襲激化のため上の原配水地に市役所を移転〇三〇日米軍機鹿児島市第七次空襲、鹿児島駅、清水町、池之上町、上竜尾町、下竜尾町を爆撃〇八月六日米軍機鹿児島市第八次空襲、上荒田町、原良町、葉師町被災〇九日長崎に原子爆弾投下され、勤労働員中の七高生一四名死亡、多数の負傷者を出す〇二〇日騎射場に第一映画仮設劇場開館〇九月三日鹿児島地方木材会社、市内居住の希望者に建築用材の配給を開始〇一七日山形屋百貨店開店、枕崎台風来襲、死者一一人、負傷者四三九人、家屋全半壊四万八八四八戸（県内）〇二四日米軍視察団、ウ団長一行鴨池飛行場到着、岩切市長を訪問懇談〇一〇月二日鹿児島市夜間外出禁止布告〇六日進駐軍視察団来鹿〇八日鹿児島県特高課廃止鹿児島市役所庁舎に占領軍軍政府事務所開設、初代長官グレイズ・ブルツク中佐〇一六日阿久根台風来襲、死者三二人、負傷者五四人、家屋全半壊七八二戸（県内）〇一七日連合軍ドライ・ヘイワルド中佐以下二〇人の先遣隊上荒田町の県立二中（現甲南高校）校舎に駐留（一月中旬までに約一〇〇〇〇人進駐）〇二六日中村栄蔵助役就任〇二七日鹿児島県知事拓植文雄辞任、龍野喜三郎知事就任〇一一月一〇日鹿児島市に外地復員

引揚民援護事務局設置（県庁焼跡）〇二一日鹿児島市電車復旧〇一二月八日市交通課、電車バスの軍人券の発売を停止〇九日進駐軍を迎えて市民運動会を鴨池陸上競技場で開催〇一五日岩切重雄（第一三代）市長辞任〇この月鹿児島港、中南支方面からの引揚者揚陸地に指定され、上陸を開始

昭和二十一年（一九四六）

一月八日ヤミ市場ぼく滅のため五か所に

自由市場を開設〇一一日鹿児島市、鹿児島日報共催、市復興計画案の入選者発表（一、二等当選者なし、三等二人、佐瀬昌二下吉敏盛入選）〇二四日公娼制度廃止により、沖ノ村遊廓六〇年の歴史を閉じる〇この月西鹿児島工機部従業員組合結成（四月一日西鹿児島工機部労組と改組）、鹿児島管理部系統の職能別労働組合結成、二月には門鉄鹿児島管理部労働組合連合を結成〇二月一日東郷神社造管用資材を新情勢により鹿児島市立病院建築資材に転用決定〇一一日鹿児島日報を南日本新聞と改題創刊〇一七日日通鹿児島支店従組結成〇二〇日南日本新聞社従組結成〇二三日市新聞配給所従組結成〇三月一日鹿児島県地方労働委員会および事務局発足〇二三日米軍南西諸島に軍政府開設〇一四日桜島激しい活動を始め、黒神部落に熔岩噴出、部落民避難開始〇一五日鹿児島県進駐軍、供米問題その他について知事室で連絡協議会を開催〇二一九配鹿児島支店従組結成〇四月三日桜島の噴出熔岩、黒神部落の八割を埋没、牛根地方は

降灰のため農作物全滅○二〇日鹿児島地区木材従業員組合、解散手当の増額を要求して争議、参加人員三四八五人、全国煙草労働組合鹿児島支部結成○三〇日市交通部労組結成、○この月コレラ遂に鹿児島市に上陸、発生患者二三人(死亡九人)、薩摩焼増産のため薩摩陶器新興株式会社に市工芸研究所跡の使用を許可○五月四日住宅難のため鹿児島市横穴生活者なお四〇〇余人○一〇日鹿児島市教員組合結成○六月三日伊敷の引揚援護局収容所で奄美大島帰還者一四〇〇〇余人食糧無償配給要求のデモ○二〇日門司・鹿児島間に戦後初の急行列車開通○二一日勝目清(第一四代)市長就任○二七日鹿児島県労働組合協議会結成○七月四日米国独立記念日に当り市から御祝品を贈る、満洲から初の引揚船「日昌丸」壺蘆島から入港○六日鹿児島県庁職組結成○二三日鹿児島県知事龍野喜一郎辞任、重成格知事就任○二七日鹿児島・宮崎両県男女中等学校陸上競技大会を鴨池陸上競技場で開催○八月一日鹿児島上陸支局閉鎖、福岡市の西部復員連絡局直轄の鹿児島派遣復員部として再出発○二七日鹿児島興業銀行従組結成○この月食糧危機突破協議会設置○九月一日鹿児島市庁職組結成○二八日全国専売職員組合鹿児島支部結成○この月食糧調整委員会設置(委員一〇人)、商工経済会法の廃止により新しい鹿児島商工会議所設立○一〇月一日鹿児島市復興祭開催○一八日鹿児島化学労組結成○この月鹿児島市進駐の米軍部隊、他へ移動○十一月三日新憲法発布祝賀式を

市役所前で挙行○一日鴨池陸上競技場で市民大運動会開催○二三日中摩直一(第一六代)市会議長辞任、第一回南日本美術展開催○二七日新名真蔵(第一七代)市会議長就任○一二月二五日市農地委員第一回選挙(定数小作委員五人、地主委員三人自作委員二人、計一〇人)○二八日照国神社で「生活権獲得大会」を開き市中デモ行わる(各労組参加)

昭和二年(一九四七)

一月一日大鹿児島市実現のため隣接町村(谷山、伊敷、吉田、西桜島、東桜島)合併調査委員会発足○二月一〇日社団法人鹿児島商工会議所設立○三月一〇日米山恒治助役辞任○一日鹿児島県知事重成格辞任、橋爪清人知事就任○二二日鹿児島市町村会議長会設立総会開催(於鹿市庁議事堂)○二五日勝目清(第一四代)市長、首長選挙のため辞任、新名真蔵(第一七代)市議会議長辞任○二七日増田静(第一八代)市議会議長就任○四月一日市交通部、戦後初の市営バスの営業を開始、市は町内会を廃止、出張所三五、駐在所二五を設置○五日知事、市、区、町、村長選挙(初の首長公選)知事重成格、市長勝目清当選○三〇日県、市議員選挙、鹿児島市で始めての女性市議員橋野はるこ、六八〇票第一五位で当選○五月一日市立第一、第二、第三、第四、第五、第六、第九中学校開校○一日バリー軍政官の提唱により「増産六〇〇人會」発足○一七日新制中学制実施記念式を挙行○この月外地引揚者援護所「憩の家」を設置霧島国立公園に桜島、指宿地区

編入○六月二日鹿児島市の護国神社を薩摩頌徳神社と改称○この月鹿児島県立鹿児島医科大学設置認可○七月二五日第二職業補導所を設置、特殊技能者を除き、外地引揚者、戦災者並に戦没遺家族、復員軍人、軍属その他要援護者に対し職業補導を実施、第一職業補導所（竹製品工場）を市に移譲、市、出張所、駐在所を統合し出張所二〇を設置○八月一五日鹿児島市みなと祭開催○一八日GHQアリック少佐復興事情を視察○九月二二日市衛生組合連合会役員会開催○一〇月八日緒方虎之助助役就任○十一月一日鹿児島郵便局電話課が独立し鹿児島電信局設置○二二日鴨池陸上競技場において市民運動会、市連合青年団体育祭挙行○一二月九日鹿児島県連合婦人会結成

昭和三年（一九四八）

一月九日鹿児島市立病院開設○二五日食糧営団業務を打切る○二月二日天保山町に鹿児島竹製品研究所創設○五日電産労組鹿児島支部員一六六四人借金スライド制の採用、電気産業の民主化、労働協約の締結をかかげて、事務スト及び罷業○二〇日食糧公団鹿児島地方局開局○この月鹿児島市街地土地高騰（天文館通理坪一万元）○三月七日県下三〇市町村に自治体警察発足、鹿児島市警察署誕生○一五日、二六日、二九日、全通従組鹿児島地方協議会外七労働組合総計九九四三人を動員、行政整理反対、労働組合法改悪反対、最低賃金制の確立をスローガンとして罷業○五月一六日薩摩木材株式会社労組員一五人友愛団体の応援を得て生産管理に入る○こ

の月鹿児島県巡查教習所を鹿児島県警察学校と改称○六月一日県市議会議員補欠選挙○三日高松宮殿下、市の戦災復興状況を御視察○一七日市に不良出版物追放委員会発足○二二日第七高等学校授業料値上げ反対でスト（突入、高等農林専門学校、水産専門学校も二五、二六の両日スト突入○七月一日東京鹿児島間直通列車再開祝賀会を挙行、鹿児島県教職員組合員一万一六七一人賃上超勤手当支給を要求、団体交渉争議○二四日鹿児島市消防本部発足○二五日市復興部、特別会計から一般会計に移る○三〇日新屋敷町に市授産所開設○八月一〇日第一回鹿児島市民納涼大会（鴨池）開催○一三日薩摩木工の生産管理事件にからまる集会デモ行為禁止令違反被疑事件の軍事裁判、裁判長マックマレー、検察官リオグライザー、村田弁護士係で市議会議事堂で開廷○九月八日新屋敷町に中央保育園開設○この月中川海運株式会社の誠首、二人に事前通告○十一月一日鹿児島保健所、モデル保健所に指定される○一七日新競馬法により競馬を実施する指定市として許可される○十二月一日第一回市営競馬開催（一四日まで）、鹿児島芸能協会設立、会長堀勇吉

昭和四年（一九四九）

二月二日鹿児島市に検番復活（鹿児島芸能協会）○一八日満尾派の選挙違反で市議会議員八人容疑を受ける、市役所職員組合「総辞職などの断固たる決意をもって市民に信を問え」と倉園副議長長宛要望書を提出、議会側これに対し組合と対立するも、組合幹部の独裁によるものとして不問に

する

決定○三月二日増田静(第一八代)市議会議長を辞任○一七日軍政部想定の下に軍政部関係の消防演習を実施○四月一日県立高等学校を県立鶴丸高等学校、県立甲南高等学校、県立工業高等学校と改称、県立鹿児島医科大学、県立鹿児島医学専門学校、県立鹿児島工業専門学校を母体として県立鹿児島大学(医学部・工学部)開校、県立鹿児島保健所を市に移管、市立中学校九校、校名改称○一日鹿児島医専付属病院付看護婦養成所(二年生一五人集団サボ○二六日岩切重秀(第一九代)市議会議長就任○五月三日憲法記念日を期して子供議会を市議会議事堂で開催○二五日鹿児島医専病院裏の市電柳町線のカーブで電車脱線、高さ三米の鶴丸城濠に転落、重軽傷者一三名○三一日ザビエル上陸四〇〇年祭に奇蹟の右腕を捧持して、ザヴィエル国際巡礼団来鹿、鹿児島大学(文理・教育・農・水産各学部)開設○六月一日天皇陛下、本市に行幸、三日まで市を御巡幸、鴨池町に鴨池保育園開設、鹿児島地方専売局、専売公社鹿児島地方局と改称○一日鹿児島市社会教育委員会発足○一八日鹿児島市公会堂が中央公民館として発足○二〇日デラ台風襲来、死者六四人、行方不明二四人、負傷者八七人、家屋全半壊一四〇一戸、被害額一〇三億円(県内)○七月一日市営電車料金市内線七円、市外線二円に改正○九日市衛生課で戦後中断していた糞尿汲取の一部作業を復活○一六日フェイ台風襲来、死者六人、行方不明三人、負傷者四人、家屋全半壊三六五戸、被害額

年表

一五億円(県内)○二一日ガールスカウト鹿児島市に誕生○八月一日ジュディ台風襲来、死者四三人、負傷者三二人、全半壊家屋二八二戸、被害額三六億円(県内)○九月一日南西諸島貿易使節団来鹿○一六日学校建築資金獲得のため校舎建築期成同盟会結成○一九日小川町大火(五八棟六八世帯焼失)○この月鹿児島米軍民事務閉鎖、鹿児島鉄道管理局誘致期成同盟会発足○一〇月市広報係「市政だより」創刊○十一月一日市制六〇周年記念、花電車二台運転(下旬まで)○三日市制六〇周年記念式典を中央公民館で挙行政、永年勤続者及び市政功労者表彰物故者慰霊祭を挙行政、初のおはら祭実施○一三日鹿児島県労働組合連絡協議会発足○一四日鹿児島大学、県立鹿児島大学開学式○一五日市勢展覧会を山形屋で開催(二〇日まで)○一九日鹿児島市電にボギー車運行○二二日公益質舗二〇周年記念式典を挙行政○一二月戦時中応召の島津斉彬、忠義公の二銅像復旧

昭和二年(一九五〇) 一月二八日在鹿美術家、美術館創設期成美術家同盟を結成○二月二三日鹿児島市自由労組、組合長他五人賃上げ要求のため天文館広告塔下で無期限ハンストに突入○この月九州ステートフェア事務局募集の新鹿児島小唄入選者発表(入選者三原寛)○三月一日鹿児島本検番設立○二五日九州ステートフェア(農業振興博覧会)鴨池で開幕(五月一七日まで)○二八日市営結婚式場を中央公民館に設置(四月一日営業開始)○三一日第七高等学校廃止○この月鹿児島県警察学校は

九五

吉野町磯から薬師町に移転○四月一日市役所裏にあつた鹿児島市警察署、新屋敷町の新庁舎に移転、市立高等学校を市立玉竜高等学校、市立商業高等学校、市立農芸高等学校と改称、鹿児島経済専門学校を鹿児島商科短期大学と改称、鹿児島鉄道学校を鹿児島鉄道高等学校と改称、私立鹿児島中学校、鹿児島高等学校を統合、鹿児島高等学校と改称○一日県下民主男性ナンパーワン選彰式○この月鹿児島国立公園期成同盟会発足（会長重成知事）○五月三日さきに岡山市で発見された戦時中応召の東郷元帥の銅像を鹿児島に返送○一八日郡元町旧飛行場跡に未亡人だけの「婦人の街」誕生（五〇戸）○六月一四日フランス

ラ台風襲来○二月三日小川、易居両町大火（全焼一七九戸、罹災者七二〇人、損害額七四〇〇万円）○この月山下町図書館裏に野犬抑留所を新設

昭和二十六年（一九五二）

一月二一日清水中学校、稲荷町に移転○

二月二二日市、東桜島支所黒神駐在事務所開設○三月一旧西田公益質鋪開設○一九日松尾事件（小川町派出所勤務巡查松尾恒二郎職務執行中自己の生命を防衛するため、やむなく携帯のけん銃を使用して金石明を射殺）○二六日軍服姿の城山下、西郷南洲銅像の青銅製軍刀の下半分盗難○四月一日食糧公団から民営米屋に九年振りに復活○四日勝目清市長任期満了辞任、鹿児島県知事重成格辞任○二三日市長、市議会議員選挙、勝目清市長は無投票当選○二九日岩切重秀（第一九代）市議会議長辞任○三

○日知事、県議会議員選挙、知事、重成格当選○この月鹿児島地方労働組合評議会結成○五月一日鹿児島師範、鹿児島青年師範附属中学校を鹿児島大学教育学部附属中学校と改称○一二日鹿児島市議会議長、副議長の任期を二年と申合せ事項として決定○一九日新川近義（第二〇代）市議会議長就任○六月一三日タイ国から象到着、市役所前で盛大な歓迎会○七月一日ケイト台風九州に上陸、死者七人、行方不明一人（県内）○七日県下に豪雨、死傷者三人、行方不明一人、住家全半壊一六五戸、浸水家屋一万六四七二戸、被害額（ケイト台風と合わせて）三〇億円（県内）○二六日日米交歓陸上競技大会、鴨池陸上競

米国第五巡洋艦入港○七月一日戦後初の鹿児島市祇園祭開幕（全市連合大売出し）○八月一日鹿児島鉄道管理局発足○九月一日郡元町真砂に郡元保育園開設○一三日キジャ台風、九州縦断死者三人、行方不明二人、全半壊家屋二九三四戸、被害額五四億円（県内）○一〇月一日鹿児島市第四次編入（伊敷村、東桜島村、面積累計一八一・五四平方キロメートル、人口累計二二万九四六二人、人口密度一平方キロメートル当り一二六四人）○三日鴨池陸上競技場竣工○五日日本陸上競技選手権大会総裁秩父宮節子殿下御来鹿○七日第三四回日本陸上競技選手権大会鴨池陸上競技場で開催（八日まで）○一一日市議会議員補欠選挙（伊敷町三人、東桜島町一人）○一二月一日クラ

は無投票当選○二九日岩切重秀（第一九代）市議会議長辞任○三〇日知事、県議会議員選挙、知事、重成格当選○この月鹿児島地方労働組合評議会結成○五月一日鹿児島師範、鹿児島青年師範附属中学校を鹿児島大学教育学部附属中学校と改称○一二日鹿児島市議会議長、副議長の任期を二年と申合せ事項として決定○一九日新川近義（第二〇代）市議会議長就任○六月一三日タイ国から象到着、市役所前で盛大な歓迎会○七月一日ケイト台風九州に上陸、死者七人、行方不明一人（県内）○七日県下に豪雨、死傷者三人、行方不明一人、住家全半壊一六五戸、浸水家屋一万六四七二戸、被害額（ケイト台風と合わせて）三〇億円（県内）○二六日日米交歓陸上競技大会、鴨池陸上競

技場で開催、農地農業調整委員会廃止、農業委員会設置○この月鹿児島市婦人相談所を中央公民館に設置○八月一日市交通部九年振りに定期遊覧バスの運転を再開、玉里町旧島津家玉里邸の一部に養老園玉里園を開設(定員五〇人)○一八日マージ台風襲来、死者三人、行方不明一人、住家全半壊七〇九戸、被害額一億七〇〇万円(県内)○九月一日平和推進県民会議開催大会、照国神社境内で開催○八日市役所庁舎に国旗掲揚○一日鹿児島専門店会設立○一〇月一日ルース台風襲来、市内被害死亡一三人、重傷五人、軽傷三五五人、罹災者一万五五八四人、家屋全壊二五〇五戸、半壊三五六〇戸、小破九九五二戸、床上浸水一万一〇七〇戸、その他被害甚大○一月二七日一月一日まで五波におよぶ電源スト繰返される○この月甲東中学鉄筋三階建校舎完成、財団法人鹿児島市住宅協会設立す○一二月二日市営電車料金、市内線を一〇円に改正、バス料金市内線を二円均一制に、市外線を一区五円の区間制に改正○この月正月用モチ米供出のため、市長をはじめ関係職員県内を供出懇請

昭和二十七年(一九五二) 一月二四日警察予備隊初の鹿児島入り

市中行進○三月一九日鹿児島市警察署の爆破を企てた者あり○二八日国警県本部、県下三五か所の日共支部に手入、資料六〇○部短銃など押収○四月一日松原小学校、荒田小学校開校、日豊線、西鹿児島駅始発となる、鹿児島測候所、鹿児島地方気象

年表

台に昇格○一〇日ハワイ観光団来鹿、鹿児島体育協会結成○二四日戦後県下最大の大火、鹿大一般教養部県立大学病院全焼、ほかに民家三二戸焼失、損害額四億九四〇〇万円○二五日易居町密集地帯大火(八二棟全焼、損害額二一八万八〇〇円)○この月西鹿児島民衆駅の落成祝賀会举行、市体育協会発足○五月三日平和条約発効並に憲法施行五周年記念式典を中央公民館で開催○一八日全日本柔道選手権大会で吉松六段優勝天皇杯受領○六月三日英巡洋艦ホワイトサンドベイ号入港○二四日鹿大生九〇〇人破防法反対集会及び市中デモ行方○二八日桜島古里町の林美美子誕生地で文学碑の除幕式を举行○この月甲突川上流河頭付近に鮎放流、小山田授産所開所、野犬抑留所田上町広木に移転○八月二日市役所に職域納税貯蓄組合結成○二三日鴨池で全九州仕掛け花火コンクール○九月九日鴨池動物園にキリン入園○二四日南洲翁七五周年記念祭実施○この月照国商業高等学校設立認可○一〇月一日市交通局及び水道部、地方公営企業体として発足○一〇日鹿児島ロータリークラブ発足(三三年一二月鹿児島南ロータリークラブ、三八年三月鹿児島西ロータリークラブ発足)○十一月一日鹿児島市自由労働組合越年資金支給を叫んで五五〇人デモ、鹿児島市教育委員会発足中央公民館で記念式を举行○この月洲崎海岸の有料汐干狩に県税事務所入場税賦課の意向で横槍を入れる、市政を知らせるための移動市役所はじまる、港湾協会設立○一二月一日鹿児島興

九五三

業銀行、鹿児島銀行と改称○五日市水道部、はじめての分流式
下水道工事の起工式を挙行○一四日城山山頂に安田尚義の歌碑
建設○この年土地改良法に基づき農地の交換分合、犬迫町横井
地区九〇町歩を実施

昭和二十八年（一九五三）

一月二七日県漁政課付近から出火、西側

新館三〇〇坪焼失○三月三〇日県立博物館開館○三一日郡元町
真砂住宅大火（五九棟、一〇四世帯焼失）○四月一日市では市
内各出張所（吉野を除く）を廃止、清水町に母子寮開設、定員
六〇人○二七日英巡洋艦ホワイト・サンドベイ号入港、交通局
の電車定期券の途中下車禁止に反対して鹿地評強硬申入れ○五
月一日鹿児島港駅営業開始○二五日鹿児島南港起工式、鴨池飛
行場設置認可○六月五日鴨池動物園にラクダ入園○二九日国鉄
労組鹿児島管理局支部、夏期手当を要求して五九人坐りこみ○
七月一日鹿児島銀行従業員組合ベースアップ要求超額拒否○
八〇人○八月一日鹿児島市職員健康保険組合認可、中央保健所
を設置、従来の庁舎を山下保健所とする（担当地域中央は市
街地、山下は新市内）○この月鹿児島・大島間無線電話開通○
一〇月一日ラジオ南日本放送開始、鹿児島市婦人団体連絡協議
会結成○一七日戦時中（昭和一九年）黒の迷彩色に塗がかえた
市庁舎の垢落しはじまる○この月松食虫駆除のため、磯海岸の
琉球人松を伐採○十一月一日市営バス料金、市内線を一〇円均
一、特定区を五円、小児料金を半額に改正乗継制を実施、並に

乗車券の車外売りと車内売りを併用実施○五日実業家岩崎与八
郎、美術館一棟（一〇〇〇万円）の寄付を申し出る○七日市交
通局貸切観光バスの運行免許される○二月一日伊敷中学校
全焼○一七日納屋通りにシルバーアーケード完成（工費一三七
七万円）、市議会議員欠員により繰上げ当選決定○二四日奄美
群島返還の日米協定調印○二五日奄美群島日本へ復帰、中央公
園内に「第二次世界大戦敵味方戦死者慰霊碑」完成除幕式を挙行
○二七日鹿児島市青年団連絡協議会結成○この年土地改良法に
基き、吉野町中別府地区一三〇町歩の農地の交換分合を実施、
鹿児島園芸高校伊敷分校開校

昭和二十九年（一九五四）

一月一五日第一回鹿児島市成人式を中央

公民館で挙行○一八日吉田総理一行来鹿○二五日市電料金、市
内線を一三元、往復券二五円に改訂○三月私立鹿児島実業高校
組合対理事長との間で絵与改訂から端を発売し長期争議に突入
（二二年六月解決）○四月一日市水道部、水道業者育成のため指
定水道工事を設置、東桜島中学校黒神分校を黒神中学校とし
て開校○三日義宮殿下御来鹿○この月東郷元帥の遺髪九年振り
に市金庫の中から発見○五月四日鹿児島青年会議所発足○七日
全国専門店会連盟主催第九回せんもん祭開催（一日まで）○一
四日中央卸売市場荷揚魚類に対して放射能検査を実施○二五日
薩摩義士二〇〇年祭を挙行○この月市内に放射能雨降る○七月
一日山形屋バスセンター開設、警察法の改正で市警廃止○一〇

日鹿児島市建設大臣より都市計画事業の功績により表彰○二〇日農業委員会等に関する法律一部改正により、各地区農業委員会を統合、鹿児島市農業委員会と改称、伊敷、東桜島地区に支局を設置○八月一六日台風五号来襲○九月一日鹿児島県労働金庫設立、市立歴史館を市立美術館と改称○七日鹿児島銀行、全銀連の統一賃上闘争に同調争議(一五日解決)○一二日台風一二号来襲、死者三人、住家全半壊七一九戸、被害額五〇億円(県下)○二七日洞爺丸遭難で県出身富吉栄二代議士死去○三日元市長、久米成夫死去○一〇月一日原良小学校開校○この月一万四〇〇〇カウントを記録する当市で最高の放射能雨降る、新会議所法による特殊法人鹿児島商工会議所改組発足、蚊と蠅のいない「生活運動推進本部」を市役所内に設置、撲滅運動はじまる○一一月八日鹿鉄、市電野球戦でファンが球審を殴る、鹿鹿初のスポーツ界の不祥事件起る○二月一日市社会福祉協議会設立○この月平田橋竣工

昭和三〇年(一九五五) 一月一日山下町県立看護学校火災(一)

棟一二〇坪焼失○二九日市出身、日本最初の女性博士(農学)丹下梅子死去○この月市消防署に無線電話機設置(火災、風水害に威力を発揮)市内に痘瘡患者一人発生、全市民に臨時種痘を実施、市役所、書類の横書を実施、市消防署の鉄筋八角型の望楼市庁舎屋上に竣工○三月四日鹿児島大学医学部付属病院竣工○四月六日勝目清市長、首長選挙のため退任○二三日知事、

県議会議員統一選挙、寺園勝志、知事当選○三〇日市長、市議會議員選挙○五月四日勝目清、市長に当選、就任挨拶○五日全日本柔道選手権大会(於東京)で吉松七段(県警察学校教授)三度目の優勝(前回二七、二八兩年)○一〇日土建汚職、松元事件を国会婦人議員団でとりあげる○三〇日市「鹿児島のおいたち」発刊○この月第一回日本体育祭鹿児島大会開催○六月五日鹿児島県中小企業労働組合連合会結成、平田鞆負銅像除幕式○この月山下小のバザーで集団赤痢患者三三五人発生○七月二日郡元町に農林省動物検疫所門司支所鹿児島出張所開所○この月生活擁護のため県印刷局廃止を要望して県下印刷業者けつ起○八月一日鹿児島市鴨池陸上競技場、日本陸上競技連盟から第一種競技場として公認○一五日郡元町港に新川保育園開設○この月鹿地評「鹿児島県労働組合評議会」と改称○九月二九日二二号台風襲来、市内の罹災者九四九世帯、四〇三五人(内二人死亡)一九時三〇分以降電車不通○三〇日一時五五分電車復旧○この月錦江湾、国定公園に指定○一〇月一日谷山町市制を施行○一二日大爆音を発して、桜島南岳爆発、活発な活動を開始、鹿児島大学学生登山者のうち一名死亡○この月九州薬学大会開催参加者二〇〇余人○一十一月三日三笠宮、同妃殿下御来鹿二九日市、下水道第一期工事竣工、操業を開始○三〇日県地方事務所、一三年の歴史に幕を閉じ、一斉に廃止○一二月日豊本線急行列車の西鹿児島駅までの延長と、県下ローカル列車の改

善に関する要望書を知事、市長、商工会議所会頭名で運輸大臣宛提出

昭和三年（一九五六） 一月一日市交通局、初日拝観バス、正月

初詣バス（二、三、七日）の運転開始○八日琉球政府比嘉主席
来鹿○一五日成人の日を祝して自衛隊（車輛部隊）の市中行進
○三一日南国鹿児島物産観光展を名古屋市松坂屋で開催（二月
五日まで）○この月洲上印刷の争議労使とも幹旋案を受諾半月
ぶりに解決○二月二十九日市議会の社会党系議員七人、同議会
「社会党議員団」を結成○この月県下中学生の修学旅行は二泊三
日と実施方針決定○三月自彊学舎、舎屋を再建、活動を再開す
鹿児島鉄道野球部全国選抜社会人野球東京大会で優勝○四月一
日武町に親和厚生寮開設、定員五〇世帯二五〇人、下伊敷町日
当平にたいら厚生寮開設、定員三〇世帯一五〇人、市立鹿児島女
子商業学校開校○二八日西鹿児島駅、吉松、都城駅間ディーゼル
カー開通○五月二日カクイワタ労使間の根深い対立でストに
突入、二六日解決す○二七日多賀山、東郷元帥墓の隣に、さき
に岡山市で発見された元帥の銅像を移設、除幕式を挙行○六月
一日郡元町真砂に郡元公益質舗を開設（三九年四月一日廃止）
○九日京都大学佐々博士、桜島の地震について調査のため来鹿
○二三日村上郵政大臣来鹿○八月一日第一回鹿児島市社会人軟
式野球選手権大会、鴨池球場で開催、陸上自衛隊第八混成団第八
施設大隊桜島一周道路第一期工事に着工○九月七日市交通局に

寺山公園定期遊覧バスの運行免許下附○九日台風一二号襲来、
死傷者七人、家屋全半壊三九四三戸、浸水家屋三七八八戸被害
額四四億円（県内）○一九日カクイワタ賃金値上げ要求で紛糾
十月六日解決す○二八日ベア要求で山形屋産業労組スト突入○
一月一日鴨池公園で、南日本新聞社主催「誰にもわかる科
学博覧会」開催（一月三日まで）○二日鹿児島飛行場起
工式○この月鳥越トンネル工事起工式○一月一日東京鹿児島
島間急行「さつま」号開通○一日急行「高千穂」号、西鹿児
島駅まで延長実現、運行祝賀会を開催○三〇日県知事現参議
院議員重成格病死のため、参議院議員補欠選挙、田中茂穂当選
○この月磯集成館一五年ぶりに開館○この年田上町広木に鹿児
島本線広木信号所を設置

昭和三年（一九五七）

一月市電循環線完成への第一歩、唐湊線
延長工事開始○二月八日小川町大火（二八戸全半焼、一八人焼
死）○二〇日鹿児島空港、大型機初乗入れ実施○四月一日中村
栄蔵助役辞任、南小学校開校○二〇日野尻町に熔岩津浪発生○
五月全学連の原子戦争準備反対のため、鹿大生街頭に進出、沖
縄産業視察団渡沖○六月一日陸上自衛隊第八混成団第八施設
大隊の桜島一周道路、第二期工事に着工○二二日南条建設大臣、
大久保国務大臣来鹿○この月観光PRコルトンを市長室前廊下
に展示○七月一日鹿児島空港開港、民間定期航空開始、開港祝
賀会を挙行○一五日逮捕者四名を出した国鉄労組鹿児島地方本

部では西鹿児島駅前広場で「不当弾圧反対逮捕者即時釈放要求」貫徹抗議大会を開催○一六日農業委員選挙（定数五〇人）○八月一六日陸上自衛隊第八混成団第八施設大隊が完成した桜島一周道路の引渡し完工式を挙行○この月民意無視の都市計画だと天保山町住民大会で反対を決議、受胎調節推進協議会発足（三七年まで）○九月二七日鹿児島市食品協会発足○この月西郷南洲翁八〇周年記念展開催、県民体育大会開催○一〇月一日鹿児島京都間急行「さくらじま」号開通○二日と畜場、伊敷より郡元町鶴ヶ崎に移転事業開始○一九日鹿児島市肉食肉センター竣工○二二日鹿児島県食品協会発足、市食品協会は全鹿児島市支部と改称○この月自治功労者として鹿児島市市会議員浜平勇吉藍綬褒章を受ける、市衛生自治団体連合会結成○二一月一日鹿児島市国民健康保険事業を開始○九日濠洲軍艦アンザック号入港○この月岩崎与八郎、市立美術館に岩崎館を寄贈○二二月鹿児島市原水爆禁止推進協議会発足

昭和三年（一九五八） 一 月二二日鹿児島市地区一般中小企業労働組合連合会結成○二四日米軍掃海艇二隻入港○二一月一〇日市営バス料金均一制区間を一三円とし区間制区間は初乗り二区までを一〇円、それより一区増す毎に五円に改正○二二日NHK鹿児島テレビ局開局初放送○三月四日桜島南岳連続爆発○八日日教組の統一行動「教育危機突破大会」開催○四月一日地方自治法の改正により従前の市金庫が、市の指定金融機関と改められ

鹿児島市指定金融機関市役所内公金取扱所となる、自衛艦隊第二護衛隊群入港、鹿児島県立立大学医学部、工学部を国立鹿児島大学に移管○八日鳥越トンネル開通式（三二年一〇月着工）○一〇日天皇、皇后両陛下御視察のため当市へ行幸、甲突橋竣工式挙行○一二日勝目市長、両陛下に城山展望所より市の復興状況を説明、植樹祭につき吉野寺山で両陛下のお手播り行事を実施○この月鹿児島地区労働組合評議会発足○五月一五日仙巖園及び花倉お仮屋庭園、異人館、国の文化財に指定○二二日宮田通りに人道陸橋完成○この月大久保甲東八〇周年記念展を開催、下荒田、城南地区その他で三二名の小児麻疹患者発生、疫学調査その他防疫作業を実施（六月まで）、県立看護学校、国立に移管鹿児島大学医学部看護学校と改称○六月一日鴨池動物園内に鴨池水族館開館○二四日高松宮殿下同妃殿下御来鹿○二五日西鹿児島国鉄車輛工場、無災害一〇〇万時間突破の新記録を樹立○七月四日天文館公園プール開き○一六日米海軍掃海艦入港○八月一日市役所では、スクーター二台で各官公署及び出先機関の文書使途を開始○一一日市役所幹部（部長以上）の相互連絡用としてインターフォンを導入○二二日「町を静かにする運動」鹿児島県推進本部設置○この月市庁舎三階北側の増築工事で工果劣評、鹿児島県労働組合総評議会と名称変更○九月八日知紀八五周年記念展開催、県体育祭レクリエーション民謡講習会開催○一〇月一〇日鴨池公園で南日本新聞社主催「動く大菊人形

展」開催(一月二三日まで)○一月一日東京鹿児島間特急「はやぶさ」号開通○二月一日鹿児島組、勤評強行に抗議して無期限ハンストに突入(二日解決)、オパール婦人会の発意で城山山上から母の鐘を鳴らす○五日市消防署八幡分遣隊開設○二五日荒田川公有水面埋立竣工

昭和三四年(一九五九)

一月一六日米国第七艦隊旗艦ヘレン号入

港○一七日南九州に記録的大雪、電車その他交通機関乱れる○二九日駐日ソ連大使フエテ・レンコ来鹿、大阪市十合百貨店で南国鹿児島観光と物産展開催(二月三日まで)○三月一五日住宅福祉協会結成○この月県立洲崎病院廃止○四月一日中卒就職者に対する支度金の支給を開始、鹿児島市制七〇周年記念祝賀会を中央公民館で挙行(参加者四三五人)、鹿児島市立女子高等学校玉里島津邸跡に移転、南中学校郡元町に開校、ラジオ南日本テレビ放送開始○九日市消防署郡元分遣隊新庁舎落成移転○二一日自衛艦ゆきかぜ、はるかぜ入港○二三日知事、県議会議員選挙、知事寺園勝志当選○二八日勝目清(第一四代)市長任期満了退任○三〇日市長、市議会議員選挙○五月一日平瀬実武(第一五代)市長に当選○三日鹿児島毎日新聞(現在の鹿児島新報)創刊○五日ポーランド大使ゼブロスキ来鹿、ギリシャ貨物船ニコラス・ウイリス号座礁、乗組員三一人を救助収容○六日鹿児島新港改修工事起工式○一八日鹿児島市名誉市民第一号に勝目清決定○三一日紫原団地第一次宅地造成竣工○六月一二

日高松宮殿下御来鹿○一六日米国掃海艇入港○七月一日米海軍弾薬補給艦マウナ・ケア号入港○一二日磯のロープウェイ完成開通園遊会開催○二〇日内倉良文助役就任○この月清水町に「子供を守る会」誕生○八月一日市商工課、タコ増殖のため祇園洲他三方所に、中央漁業組合員五〇名の協力で素焼のタコソブ六五〇〇個を投入○五日台風八号襲来○この月市観光課、英文の観光案内を作製○九月一〇日名誉市民勝目清に称号記、名誉市民章、記念品の贈呈式を中央公民館で開催○二一日博多西鹿児島間準急「かいもん」号開通○この月噴石やガスの危険のため桜島登山を全面的に禁止(展望台(引之平)までは登山可)○一〇月七日緒方虎之助助役辞任○二一日米国掃海艇エスチーム号、キヤラント号入港○二六日市役所内に市民相談室設置○一月五日在京三州クラブ会員郷土を訪問○一九日高松宮殿下御来鹿○二八日水道通水四〇周年記念式を挙行○この月県自由労組鹿児島支部、完全支給を叫んで三〇〇〇人が県庁にデモ行進○二二月一日桜島夜間照明テスト実施○二日米艦ビーガー号入港○一〇日市交通局労組、超勤拒否のため電車バスの運行一部停止○一六日市職員健康保険組合桜島温泉保養所「桜島荘」開設

昭和三五年(一九六〇)

一月一六日檣橋運輸大臣来鹿○一八日植

竹郵政大臣来鹿、鹿児島大学農学部火災(五五五平方米焼失)○二月一日米油槽艦カカボン号入港○一〇日米艦ライパン号入港

○三月一日米補給艦エイジャック号入港○二三日米艦サーフ
バード号入港○四月一日塩屋町に労働福祉会館開設、堀内恭一
助役就任、鹿児島鉄道高等学校、鹿児島商工高等学校と改称、
鹿児島純心女子短期大学開校、鹿児島商科短期大学、鹿児島経
済大学に昇格改称○二二日日本ガス、賃上げを要求してストに
突入（一四日に解決）○一六日都元町に戦後二番目の大火（一
六五戸、一七一世帯被災人員六一七人）○この月市内にインフ
ルエンザ流行、届出患者、三二七人○五月一日農政部会を廃
止、農業振興部会を振興部会と改む○三日鹿児島市、ナポリ市
姉妹都市盟約宣言○四日曙陸橋竣工○一四日鹿児島、ナポリ姉
妹都市盟約式、コツピニー駐日イタリア大使夫妻、ハルグロー
グ、ロンドンタイムズ東京支局長夫妻等来鹿、山形屋五階劇場
で開催○六月五日全労鹿児島地方会議発足○一六日英艦、サウ
スペリ号入港○この月市役所前に市交通局バス操車場の営業所
を設置○七月一日鹿児島港に外材（フィリピン、ラワン材）初
入荷○一五日農業委員選挙○八月一日泉町朝日公園児童図書館
に「心配ごと相談所」開設○四日米艦ホーチハイ号、インター
ビアス号、インクサックト号、ドシヤルテイ号入港○二四日郡
元町仮設住宅火災（三〇戸、三一世帯、被災人員一一二人）○
九月一日市交通局組合、組合幹部のあり方に反発、電車課員三
三五人脱退、鹿児島市交通局企業労働組合を組織○一〇日天保
山に市職員寮「天保山荘」開設○二九日橋本建設大臣一行来鹿

○一〇月四日南条農林大臣一行来鹿○一〇日鴨池動物園内で鹿
児島新報主催「世界風俗博覧会」を開催（十一月二十七日まで）
○二一日ナポリ通り命名式○二二日飯野海運社長俣野健輔寄贈
の鹿児島県体育館の開館式を挙行○十一月三日中央卸売市場開
設二五周年記念式を挙行○八日池田総理大臣来鹿、鹿児島、ナ
ポリ姉妹都市盟約式参加のため、鹿児島大学水産学部練習船か
ごしま丸出港○二月九日ナポリ市、マーカダンテ劇場で姉妹
都市盟約式挙行、使節団員二九人参加○この月天文館通り二丁
目のアーケード完成、照国高等商業学校、鹿児島照国高等学校
と改称

昭和三十六年（一九六一） 一月一二日ナポリ親善使節団解団式○二

一日「中洲校区子どもを守る会」発足○三一日米艦、コゴダ号
入港○この月子供愛護運動の地域愛護会次々に結成（五月まで）
○二月一二日鹿児島ライオンズクラブ、山形屋劇場で国際本部
加盟認承状伝達式を挙行○二三日県総評、大幅賃上げ物価値上
げ反対、右翼テロ責任追求などを要求して市内目抜通りをデモ
○二七日九州一円に大地震（日向灘地震）○この月市内、魚貝
類販売店、店舗改善三カ年計画始まる○三月一日市内商店街午
後九時閉店を一齐に実施○二三日天文館通りで火災（映画館な
ど四棟全焼）○二六日ラジオ南日本放送会館落成○二九日英国
公使ウオナー来鹿○三〇日市立病院新築棟落成○四月一日交
通局所管の鴨池動物園及び運動場を市教育委員会に移管○二八

日ナポリ市東洋大学部長マルチエル・ムソチヨリ来鹿、米艦デ
リバー号入港○五月五日市子供愛護会推進委員会を県体育館で
開催○二七日英艦、カリンドラ号入港○この月市民憲章制定
○六月八日鹿児島大学自治会の政防法反対及び学生部次長制反
対のデモで学生三人検束される○一〇日県下で初の合同労組
「鹿児島市印章業従業員組合」結成○一二日県工業開発調査会の
調査団来鹿○二一日県下私鉄五社（南国、南鉄、三州、林田、
種子島）二四時間ストに突入○二九日県公衆衛生組合発足○七
月一日ナポリ通り記念碑除幕式挙行、西鹿児島・博多間デー
ゼル急行フェニックス運行、義宮殿下奄美大島で昆虫採集のた
めご来鹿○九日鹿児島海上防災連絡会発足○一〇日全日空フレ
ンドシツプ機、東京―大阪―宮崎―鹿児島ラインに就航、鹿児
島県消防学校開校○一八日南日本高等無線学校、学園の民主化
を叫んでスト突入○九月二〇日全日空、鹿児島沖縄ライン就航
○この月吉留食品株式会社、五二人の解雇で労使対立○一〇月
二日郡元町新川港大火（七一九戸、七七四世帯焼失、被災者二
九一三人）○一五日メキシコ大使来鹿○二〇日九州縦貫道路期
成会の結成総会、東京で開催（会長寺園知事）○二七日鹿児島
県警及び鹿児島署、暴力団の一斉手入れを実施（暴力団幹部一
三人逮捕）○一月二日南海郵船賃上げ要求のストに突入（八
日解決）○六日市、谷山市、郡山町、吉田村の合併構想を発表
○八日鹿大医学部衛生学教室、空気中の塵から一平方米当り八

二万一〇〇〇M.C.の放射能を検出○二日五代友厚の銅像除
幕式○二三日丸屋デパート開店○二月七日九州高速自動車道
建設推進協議会発足○八日平瀬実武市長に、イタリア政府より
勲功章オルディネ・アルメリツト贈呈される、鹿児島県警及び
鹿児島署、第二次暴力団手入れ実施○九日県防犯組合連合会が
中心となつて暴力追放協議会発足○二六日ユーゴスラビヤ大使
夫妻来鹿○二八日ザビエル記念碑完成

昭和三七年（一九六二）一月一日第一〇管区海上保安本部発足○三

日健康保険鹿児島保養所錦江苑落成○二月三日東亜航空、鹿
児島―徳之島―喜界ラインに就航○一〇日海上自衛隊練習艦も
み以下三隻入港○一六日NHK鹿児島放送会館落成○三月七日
新上橋歩道橋竣工○二一日南日本放送労組、賃上げを要求して
五時間のストに入り二十五日には無期限ストに入り、二八日解
決○二二日大島運輸株式会社の波之上丸（二二四四屯）沖縄
航路に就航、市設観光案内所西駅前完成○二三日旭相互銀行
従組賃上げ要求争議に突入、二九日解決○二八日海上自衛隊練
習艦隊てるづき以下四隻入港○二九日鹿児島相互信用金庫従組
賃上げ要求して争議に突入、四月一九日解決○三〇日磯の異人
館と集成館、重要文化財と指定される○四月一日鴨池動物園、
電車軌道以北の土地二七〇〇坪を買却、動物舎を南西側に移
転○七日鹿児島新港埋立工事着工、野尻町の桜島病院火災、七
棟焼失○八日NHK鹿児島教育テレビ開局○一〇日県下私鉄六

社(南国、林田、南鉄、三州、種子島、奄美)二四時間ストに突入○二八日市中央卸売市場、果実卸売場木造二階建一棟全焼
○五月七日皇太子御夫妻、赤十字奉仕団九州各県連合大会(八日、県体育館で開催)ご出席のためご来鹿○一三日東南アジア観光団来鹿○一九日英艦リール号入港○二一日城山のクス伐採事件調査のため文化財保護委員会事務局次長一行来鹿、国際火山学会の火山学者四四人桜島視察のため来鹿○六月九日商工会議所、経済同友会等経済四団体は「鴨池の拡張を急げ」と空港問題について、共同声明発表○一四日自治省、鹿児島市を住居表示法に基づき、整備都市に指定○一五日文化財保護委員会、城山を現状にかえせと関係者に勧告○七月一三日夏休みを鹿児島で過ごすためアメリカ留学生来鹿○二二日鹿児島港まつり、祝賀パレード举行○この月西駅前観光案内所から観光バス運行を開始○八月二二日台風一三号来襲○この月食品衛生指導員制度採用、監視員と同行巡回指導を開始○九月一日コレラ菌、沖縄に侵入、鹿児島検疫所非常体制を固める○一〇日寺園県知事、平瀬市長鶴鳴館で空港問題について協議○一五日入港中の米海軍ミサイル軽巡洋艦トベカ号の乗組員三人、登山禁止の桜島で遭難、一人死亡○一七日鹿児島県国際航空路開設期成会総会を鶴鳴館で開催○一八日アジア財団寄贈の鹿大学生会館大集会堂落成○二〇日中華民国長崎領事来鹿○この月鹿児島市老人クラブ連合会結成、老人憩いの家「ことぶき荘」開設○一〇月四日

年表

西郷南洲翁八五年忌を記念する「西郷隆盛展」を山形屋で開催
○五日城山遊楽園開園○一日ロサンゼルス観光団一行来鹿○一七日善意銀行、自治会館内に開店○三〇日京大桜島観測所開所○一十一月一日照国海運の大型タンカー伊勢丸(七万吨)入港○一四日市中央卸売市場の果実売り場完成(二六日業務開始)
○一八日新上橋から城山登山道に水銀灯四〇基点灯、鹿児島・熊本間の電話即時通話となる、市内一周駅伝大会開催○二〇日薬師町の照国高等学校新校舎落成、紫原団地の産業労働者住宅落成○二二日岐阜県羽島ライオンズクラブ製作の「薩摩義士木曾川治水工事遺蹟めぐり」の映画完成、平田公園で報告祭を挙行○一二月三日県立短期大学の新校舎落成○六日鹿児島県漁業公社発足(社長寺園知事)○一八日内之浦町東大宇宙空間観測所、ロケットカッパ八型一一号機の打上げ観測に成功、フランス大使一行来鹿

昭和三八年(一九六三) 一月六日阪神築港株式会社の第五寿丸、乗組員六人を受けて吹雪の鹿児島港外で沈没○一五日玉童高等学校体育館焼失○一八日第一回南日本交通診断を高見馬場交差点で施行○二五日日高教共催全国教研集会を県体育館で一人人の参加者を得て開催(一八日まで)○二月二日坂元町上の原の宅地造成地で土砂崩れのため三人死亡○一五日海上保安庁の測量船拓洋丸入港○一七日鹿児島大学附属中学校の新校舎、郡元町に落成○三月一日錦江町の市水道局庁舎新築落成、補助金や手

九六一

数料改定に対し、市議会の態度を不満として市の汚物処理業者
 スト突入(五日まで)○三日第二桜島丸、鹿兒島桜島間に就航○
 六日鹿兒島県蘭検定所郡元町に落成○一日ライシヤワー駐日
 米大使来鹿○二日南日本大博覧会を磯公園文化センターで開
 催(五月二〇日まで)○三一日県下私鉄五社労組二四時間スト
 に突入○四月一日県立鹿兒島中央高等学校開校(県立短期大学
 内に併設)○六日武中学校、武岡台地の鉄筋新校舎へ移転○一
 七日県知事、県議会議員選挙、寺園勝志無投票知事当選○一八
 日西鹿兒島駅前広場に噴水池完成○二九日平瀬実武(第一五代)
 市長、任期満了退任○三〇日市長、市議会議員選挙○五月一日
 三ツ井卯三男(第一六代)市長に当選○三日鹿兒島大学、学生
 二人桜島北岳で遭難○九日鹿兒島電話局③局開設○一四日大久
 保利通八五年祭を加治屋町誕生地で挙行○一七日浜平勇吉(第
 二三代)市議会議長就任○二四日英、米、仏など一三方国の
 駐在武官一三人、多賀山の東郷墓地に参拝、鹿兒島大学学生二
 人、北アルプス鹿島槍ヶ岳で遭難○七月五日日銀鹿兒島支店で
 偽千円札を発見、鹿兒島大学水産学部練習船かごしま丸四一人
 の実習学生をのせてハワイに向け出航○一五日富士航空の東京
 —高松—大分—鹿兒島間航空ライン開設、農業委員選挙○八月
 一三日防災商店街柿本寺ビル落成○一八日薩英戦争百年記念奉
 賛会(会長寺園知事)及び南日本新聞社共催の薩英戦争百年記
 念祭を祇園洲の記念碑前で挙行○二四日山形県鶴岡市から南洲

翁の遺跡をたずねて六〇人観光団来鹿○九月一七日鹿兒島県大
 型空港調査会発足○一〇月一七日市水道局河頭浄水場建設工事
 起工式○一八日鹿兒島大学桜島地震観測所開所式○一〇月一日
 鹿兒島大学に宇宙観測協力委員会発足○六日鹿兒島国旗掲揚推
 進協議会発足、消防会館山下町に落成○一二日日本陸運織田コ
 ーチ、オリンピック候補選手団一〇〇人來鹿、鴨池競技場で合
 宿練習○二七日鹿兒島大学教育学部記念会館落成○三〇日玉竜
 高等学校体育館落成○この月若葉寮に集団赤痢発生、患者四人
 人、鹿兒島県住宅公社設立○一二月五日鹿兒島信用金庫本店ビ
 ル六日町に竣工○一日鹿兒島相互信用金庫本店ビル泉町に新
 築落成、東大鹿兒島宇宙観測所ラムダ二型二号機打上げ日本初
 の大型ロケット実験に成功、高度四一〇キロ、米国につぐ記録
 ○二一日南海郵船株式会社のあかね丸、鹿兒島垂水間の航路に
 就航

昭和三九年(一九六四) 一月一二日桜島大爆発五〇周年記念行事
 を挙行○二三日鹿兒島税務署庁舎改築工事落成○二六日鹿兒島
 電話局、全国即時網編入○二八日米海軍冷凍補給艦ゼリマ号入
 港○この月鹿兒島地方に暖冬異変の気候続く○二月三日登山禁
 示の桜島で、爆発のため高校生一一人中七人が重軽傷○六日県
 鹿兒島谷山臨海工業地帯の造成計画を公表○二七日富士航空の
 鹿兒島発東京行コンベア二四〇型双発旅客機、大分空港外で墜
 落死者二〇人重軽傷二二人、大半が県出身の観光客○三月三日

鹿大教育学部附属中学校の体育館落成○この月鶴丸高等学校、薬師町の新校舎に移転、鹿児島中央高等学校、鶴丸高校跡に移転○四月一日持木町に東桜島保育園開園、郡元町真砂の公益質舗を廃止、県立日新高等学校（定時制）中央高等学校内に併設○五日日本ガス賃上げ要求でストに突入（三四日目に妥結）○五月十五日「平和憲法を守る国民大行進」を盛りあげる、護憲県民集会を県庁前広場で開催○一七日東京九段坂上に再建された大山元帥の銅像除幕式○二〇日下荒田町に血液銀行開設○三一日市交通局労組、企業合理化計画に反対して始発から四十分間の実力行使○六月一五日市交通局労組再び始発から三時間の実力行使○一七日「防犯灯で街を明るくする運動」鹿児島地区推進委員会結成大会を挙行○二九日市交通局、全局労組の実力行使に対し解雇二人停職八人戒告三〇八人の処分を発表○七月一五日「社会を明るくする運動」の愛の大行進、市民六〇〇〇人の参加を得て挙行○八月一日台風一一号来襲○五日西郷南洲のゆかりの地庄内（山形県）へ鹿児島島の遺風をたずねる使節団（団長三ツ井卯三男）五八人出発○この月日本脳炎県下に流行○九月一日清滝川駐車場開設、南薩鉄道株式会社と三州自動車株式会社が合併、鹿児島交通株式会社発足○五日第一〇管区海上保安本部の新庁舎落成○九日オリンピック東京大会の聖火沖繩から鹿児島空港に到着○一八日納屋通り三五〇年祭挙行○二四日台風二〇号来襲、大隅半島に上陸、死者六人、行方不明一

人、住家全半壊一八二棟、浸水家屋二二〇棟、被害額一二九億円（県内）○一〇月二日鴨池動物園の夢の子供遊園地完成○二四日「メキシコ文化博覧会」鴨池動物園で開催（一月三日まで）○一月三日鹿児島空港の総合ターミナル落成○二四日海上保安大学練習巡視船こじま入港○二月横山精神病院入院患者に集団赤痢発生、患者二二人

昭和四〇年（一九六五） 一月六日鹿児島空港拡張工事に着工○一六日赤穂義臣伝輪説会（旧暦一二月一四日）○二月一日市庁舎別館建設の具体案決定、県下初の農村集団自動電話吉野町に完成（二三〇個）○二日県総評主催米原子力潜水艦寄港反対県民集会を市役所前で開催○一日鹿児島紀元節奉祝会、照国神社で紀元節式典を挙行、終つて日の丸市中行進○一三日県総評主催最低賃金制確立県民集会を市役所前で開催○二五日郡元町新川大火（一〇八棟一八八世帯四三四人罹災、損害七五〇〇万円）○三月二四日旧歩兵第四五連隊を記念する鹿児島連隊碑の除幕式を下伊敷町旧兵営跡で挙行○三一日市立乳児院前に彫刻家安藤照の碑、長田町南洲墓地に縄文前期遺跡の碑を建立、田上町に市コンポスト工場（じんかい高速堆肥処理施設）落成○四月一日紫原小学校開校、鹿児島実践学園幼稚園教員養成所、鹿児島女子短期大学に転換開校○五日市立園芸高校と農芸高等学校を統合、県に移管県立鹿児島農業高校と改称坂元町の新校舎に移転○一〇日岐阜県羽島市と大垣市から薩摩義士頭彰団来鹿○

一四日明るく正しい選挙推進協議会発足○二五日沖繩返還要求全国大会を自治会館で開催○二八日県下の私鉄バス二四時間ストに突入○五月九日鶴岡市の西郷南洲翁の遺跡をたずねる会の一行四六人来鹿○二二日鹿児島開発事業団発足(理事長三ツ井市長)○二五日鹿児島大学附属図書館開館、宝曆治水薩摩義士の彰徳慰霊祭、岐阜県からの代表者参列して平田公園で開催○二七日浜平勇吉(第三三代)市議会議長辞任、中尾武夫(第二四代)市議会議長就任○三〇日東郷元帥墓前祭を多賀山公園で開催○六月五日国内航空のYS一真珠号、鹿児島東京ラインに就航○七日鹿児島鉄道管理局、鹿児島客車基地(唐湊操車場)起工式を挙行○八日鹿児島大学と県立短期大学の教官有志二〇〇人の、北ベトナム爆撃の中止を訴える声明を発表○九日社会党、共産党、県総評などによるベトナム戦争反対の統一鹿児島集会を市役所前で開催○一五日上精市収入役辞任、堀内恭一助役辞任○一六日山下速夫収入役就任○二五日鹿大一般教養部自治会の学生六〇〇人、佐藤政策に反対して学内で抗議集会を開き、ベトナム戦争、日韓会談調印反対の決議文を採択、鹿児島空港までデモ行進を実施○二六日曾我どんの傘焼き(旧暦五月二八日)○七月一日島津斉彬公が創案した「日の丸」を記念して、照国神社で国旗祭を開催、「町を美しくする運動」が始まる(一七日まで)○一三日鹿児島中央、天文館両公園に夜間照明を施設○一六日県は県民に第三日曜日を「家庭の日」として呼びかける○二四・二五日祇園祭○八月五日台風一五号来襲、薩摩半島西岸沿いに北上、死者二人、住家の全半壊六七三〇棟、浸水家屋四二三棟、被害額二二〇億円(県内)○一三日鹿児島青年会議所はライオンズ広場(甲突川べり)に噴水その他施設の起工式を挙行○九月一八日ロサンゼルス鹿児島県人会郷土訪問、観光団来鹿○二六日県立鶴丸高等学校、薬師町に新築落成○一〇月一日鹿児島本線經由新大阪、西鹿児島間特急「あかつき号」、京都、西鹿児島間特急「かもめ号」、日豊本線經由東京西鹿児島間特急「富士号」運行開始○六日県反戦青年委員会、市役所前で日韓条約批准、ベトナム戦争反対の集会を開き、続いてデモ行進○八日妙円寺詣り(旧暦九月一四日)○一〇日鹿児島・谷山両市合併協議会設置○一一日市庁舎別館新築工事着工○一三日東桜島町宮元大火(五四棟焼失)○二五日鹿児島開発事業団、吉野町雀が宮大明ケ丘で宅地造成に着工、郡元町新川大火(二六棟三七世帯一五〇人罹災)○三〇日自治会館で経済企画庁主催の第一回「日経済企画庁(現地)の声をきく会」を開催、藤山長官来鹿○一十一月一日内、三農業共済組合が合併、鹿児島市農業共済組合発足、鹿児島新港北岸完工○二四日鹿児島青年会議所は「ライオンズ広場」を市への贈呈式挙行○二七日全国海員スト突入、鹿児島でも二二隻参加○この月鹿児島県住宅公社を鹿児島県住宅供給公社と改称○一二月四日鹿児島市戦災復興二〇周年記念復興祭を実施

昭和四一年（一九六六） 一月一九日坂元町の団地造成現場で崖崩

れのため、七名死亡、二人重軽傷○二月一六日鹿兒島交通系四社（鹿兒島交通、種子島・屋久島・奄美交通）二四時間ストに突入す○二七日吉野中学校庭で「やればできる碑」の除幕式挙行○三月一二日明治百年を記念して、山口青年会議所と鹿兒島青年会議所は兄弟の盟約をす○一九日武町の県工業試験場の大火、工場全部を焼失す○二四日県下の戦没者の霊を一堂に集めた鹿兒島戦没者慰霊碑の建典祭を、永吉町の陸軍墓地で挙行○二九日冬に逆もどり、市内に霰降る○四月四日鹿兒島港で積かえ中の蜂の巣箱を落し、十万匹の蜂により二百余人刺され四人入院す○九日市内に集中豪雨、床上浸水六〇戸○一七日鴨池海岸での「貴様と俺の碑」の除幕式挙行○二三日ライオンズ国際協会の九州地区合同大会開催（二四日まで）○二六日市内に集中豪雨、一〇〇ミリを突破○五月一日南・武・玉江の各小学校にカギツ子学級開設○二五日ゴミ収集の民間委託に反対して市民集会を開き、決議文を採択デモ行進を行う（六月二日から民間委託を実施）○六月三日鹿兒島大学山岳部のキナバル登山隊の第一陣が北ボルネオ高峰へ出発○一七日連結電車の試運転行わる○二六日鹿兒島市第一回身障者体育大会開催○七月一九日鹿兒島大学診療団施療のため沖繩へ（二十九日に帰鹿）○二三日第一五回全国仏教青年大会開催○二五日蚊のいないモデル地区常盤町の子供会、墓地のぼうふら退治実施○二九日市交通局

年表

二年ぶりに脱退者一九人が復帰して労組統一○三一日愛護会對抗ソフトボール大会、鴨池陸上競技場で開会式○八月三日鹿兒島警察署、民間協力者十人を表彰○一〇月五日鹿兒島県明治百年記念事業委員会発足○一五日繁華街天文館一带に防化テレビ設置○一〇月一七日鹿兒島市婦連、結成二十年記念祭挙行○二二日鹿兒島大学で郷土史「玉里文庫」の目録完成○二三日原良町校区民、正しい選挙、白バラ推進会開催○二九日鹿兒島県と米国ジョージア州との盟約式、アトランダ市で調印○一二月四日市政モニター、市主婦ら四人に委嘱○八日城南町で深夜二五世帯を焼失、第十四回九州地区大学文化連合行事開催（二二日まで）○一〇日市営バス、紫原団地に営業路線運行開始○二七日新制中学校発足二十周年記念式挙行（於県文化センター）○三〇日中国の核実験の影響で、市内で強い放射能検出

昭和四二年（一九六七）

二月一日郡元町に県下で二つ目の日本赤十字血液センター完成○二日第十回鹿兒島県社会教育大会○二三日市農業青年同志会総会開催○二五日鹿兒島本線（東市来―鹿兒島間）複線化の起工式（総工費六五億）○二七日市庁舎別館開館○三月一日市電「乗り換え券」制度を「乗り切り」制度に改正○五日市医師会、日曜診療当番制を採用○六日市別館の窓口事務、昼休みの受付開始○七日別館新議事堂で鹿兒島市最後の議会開始○九日鹿兒島県の県章決定（入選者山口昇）○一〇日谷山市議会、最後の議会開始○一二日市立玉江小学校の校

九六五

- 舎講堂落成式挙行○二〇日市営バス、吉野町大明ガ丘団地に営業路線開始○この月新屋敷町のロータリー交通安全のため廃止
- 四月一日市営バス、田上町中園地区へ延長運行開始、帯の交通災害共済制度開始、新港埋め立て地に、鹿児島市中央市場、魚類市場完成、落成式挙行○五日市立伊敷小学校、農芸高校跡に新校舎完成移転、山下町の合同庁舎の一部完成、九州財務局鹿児島財務部移転○二二日鹿児島県明治百年記念第一回常任委員会開催○市の交通災害共済加入者二万名を突破○二二日二九日の鹿児島市との合併を前に、谷山市役所の閉庁式と合併記念式を挙行○二九日鹿児島市、谷山市合併、新しく鹿児島市発足
- 五月一八日鹿児島市親子読書会発会式挙行（於県立図書館）
- 二二日新しく発足した初代鹿児島市長に末吉利雄当選○二五日九州体育協会会長会議で、昭和四十七年国体は鹿児島開催と決定○二六日磯の「紡績百年記念碑」除幕式挙行○六月一〇日新屋敷町交差点に九州で初めての四現式信号登場○七月四日市立病院、脳神経外科診療開始○八月九日集中豪雨のため彦四郎川氾濫、宇宿町、郡元町一帯約七百戸が浸水、土砂流入の被害を生ず○九月九日市は七〇才以上（一万三六九三名）の老人に全国で初めての市営市バスの無料優待バスの贈呈式を挙行○電車ワンマンカー運行開始○一日松原町で五棟九世帯の火災、水道局一部類焼、市立美術館所蔵の桐野利秋愛用の刀の鑑盗まる（昭四三・二・二九熊本県本渡市で発見）○二四日西郷南洲翁に
- 日本棋院から名与七段追贈○一〇月七日西駅前「朝市商店街」を「一番街」と改称○二二日赤崎海門の記念碑、上福元町で除幕式挙行○二九日高崎正風の記念碑、冷水町で除幕式挙行○一月一日上町地区に恵美須、車、和泉屋、栄、向江の五町名が消え、大竜、上本の二町誕生○二九日鹿児島銀行武町支店宮田通出張所に正午前強盗浸入、八五万円を奪う○二月二六日市では公害防止のため「公害対策協議会」を開催
- 昭和四十三年（一九六八） 一月一六日明治百年記念として南洲公園の「明治の森」に記念植樹を行う○二月七日沖繩の即時返還を要求する統一集合、市役所前で開催○一八日第一回青年文化祭中央公民館で開催○三月一〇日鹿児島郵便局管内一般郵便物の日曜配達廃止を実施○二四日丸屋デパート三階貴金属売場で客を装う女三人組に三二〇万円相当のダイヤ指輪盗まる○四月五日皇太子殿下ご夫妻、ご来鹿○六日鹿児島県明治百年記念式典（於県体育館）「日本の開眼、鹿児島百年展」開幕○一五日修学旅行中の伊敷中学三年生、熊本県宇土市松山の国道三号線で追突事故、二人負傷○二六日鹿児島・谷山両市合併後初めての市議会議員選挙、浜平勇吉議員一三期連続当選（日本新記録）○五月一日鹿児島県柔道会長林岩三、講道館九段に昇格○二七日鹿児島郵便局、鹿児島中央郵便局に昇格、谷山郵便局は鹿児島南郵便局と改称○三一日西鹿児島駅地区再開発推進協議会発足○六月一日米国駐日大使V・アレキンス・ジョンソン

大使市役所訪問、財団法人鹿児島県開発公社発足○七日県大型空港建設推進協議会で十三塚原に空港建設決定○一日鹿児島銀行中央市場支店から現送中の大洋水産株式会社職員四五〇万円強奪される○七月一日道路公団鹿児島事務所開設（鹿児島県庁内）○二六日黒神町でヒッピー四部族の祭典「かごしまフェスティバル」開催（一三日日まで）○八月一日市長の諮問機關、企画調査審議会設置○九月一日市役所谷山支所に「無料法律相談所」開設○一六日県立図書館内に鹿児島県維新資料編さん所発足○一〇月一日西鹿児島駅発特急「なは」の初運行祝賀会挙行（於西鹿児島駅）○九日市消防署、高層ビル消火のためハシゴ車購入○二四日照国、南洲両神社奉賛会の明治百年記念式典挙行（於中央公民館）○一月一日市の木（クス）市の花（キョウチクトウ）制定式開催○一九日鹿児島市スポーツ審議会発足○二八日全国優良読書グループとして上福元町の「青い表」選ばれる○一二月九日鹿児島・谷山臨海工業地帯二号用地理立て着工○二〇日鹿児島テレビ放送株式会社、社屋上棟式現地で行行（宇宿町紫原台地）

昭和四十四年（一九六九）

一月一日鹿児島テレビ放送株式会社

テレビ塔完成○一七日八幡地区振興会に第一六回環境衛生賞として、厚生大臣賞及び毎日新聞社賞贈らる○二四日東千石町で出火（二世帯一四〇〇平方メートル焼失）鹿児島市九州縦貫自動車道建設促進協力会発足○三一日西田公益質舗、営業閉鎖○二月五

日昭和四十七年の「太陽国体」の準備委員会発足○三月三日ダイヤル市外通話用のボックス公衆電話出現（鹿大法文学部前、中郡電停前、騎射場バス停前、天文館電停前）○五日市交通局労組スト、電車二七本、バス一本ストツプ、天文館の火事、六〇

〇平方メートル焼失、損害四〇〇〇万円○二九日鹿児島テレビ放送株式会社落成開局式（四月一日から正式放送）○四月一日谷山警察署閉庁、鹿児島南警察署誕生、市立病院、公営企業法の全面適用をうけ、管理運営面も独立○四日西鹿児島民衆駅設立準備委員会事務局開局、県住宅公社の原良団地の起工式挙行○二日市内に於て一六時二〇分地震、震度三（震源地日向灘）○二七日沖繩奪還、安保粉砕、四・二七鹿児島県実行委員会に対し、警察側規制に乗り出し三名を公務執行妨害で逮捕○五月二三日「大衆立法」反対に、鹿大生二〇〇〇名市中デモ行進○この月鹿児島音楽文化協会設立○六月一日唐湊陸橋の開通式○二七日鹿児島県印刷センター共同組合設立総会開催○三〇日二九日から豪雨により崖崩れ、水害のため県下の死者四三名、行方不明三名、負傷者七三名、電車一二両完水○七月五日豪雨のため河頭浄水場に濁流、一〇万世帯断水○一〇日市内で一〇〇〇ミリの豪雨、一八名の死者を出す○八月三日ボーイング737鹿児島、大阪間、就航○九月一日城山頂上の広場を市営有料駐車場に開放○二七日鴨池運動公園起工式（於与次郎方浜埋立地）○一〇月一日市交通局、広告電車の運転開始○一日鹿児島鉄

道管理局販売センター（西鹿兒島駅構内）に配置された電子計算機始動○一月一日県の飼犬取締条例施行○七日鹿兒島、鶴岡両市の兄弟都市盟約式挙行（於南洲神社）○二日鹿兒島中央郵便局に自動読み取り機搬入○二八日納屋通り、カラ―舗装開通式挙行○二月三日午前一時、市立清水小学校北側校舎出火、七教室七五〇平方米焼失

昭和四十五年（一九七〇） 二月二日与次郎ガ浜埋立地に「鹿兒島国際観光株式会社」設立○三月二八日市立竜水小学校、七年の歴史を閉じて廃校○三〇日与次郎ガ浜の埋立工事完工式挙行○三一日南林寺公益質舗閉鎖